

官報

號外

昭和四年三月十九日 火曜日

内閣印刷局

○第五十六回 帝國議會衆議院議事速記録第三十五號

政府ノ保護監督ヲ受ケル會社及組合ノ會
計検査ニ關スル建議案

提出者

蘇原 和市君

山本 慶平君

上條 信若

著本 太吉君

竹内

鳳吉君

(以上三月十八日提出)

第十五衆議院議員選舉法中改正法律
案(小久江美代吉君外四名提出) 第一讀會

<p

刑法九十五條ハ舊刑法百三十九條第一項ヲ
改正致シタモノデゴザイマシテ、舊刑法三

於キマシテハ、官吏が法律規則又ハ行政司
法官署ノ命令ヲ執行スルニ當テ、之ニ對シテ
暴行脅迫ヲ加ヘ、其職務執行ヲ妨害シタル
者ヲ罰スト云フコトニナフテ居タノデアリ
マス、所ガ刑法ガ改正セラル、ニ當リマシ
テ、此區域ヲ擴メマシテ、官吏ニ限ラズ、
廣ク一般ノ公務員ノ職務ノ執行ヲ妨害シタル
者ヲ罰スルト云フコトニ、範圍ヲ擴張セ
ラレタノデアリマス、而シテ舊刑法ハ御承
知ノ通り、官權ノ盛ナル時ニ制定セラレタル
モノデアリマシテ、官吏侮辱罪ト云フモノ
ガアツタ當時ノ規定デアリマス、而シテ現行
刑法改正草案ニ於キマシテモ、官吏侮辱罪ト
云フモノガアツタノデアリマスルガ、是ハ
衆議院ニ於テ皆様御承知ノ通りニ削除セラ
レタノデアリマス、此官權萬能ノ餘沫ヲ受
ケテ制定シタル所ノ改正案其モノニ於キマ
シテ、此公務員ノ職務執行妨害トシテ、即
チ舊刑法ヨリモ、其範圍ヲ廣メマシタル所
ノ、此草案ニ於キマシテハ、既ニ官吏侮辱罪ト
云フモノヲ削除致シタ以上ハ、此職務執
行妨害罪ニ付テノ刑ニ付テモ、宜シクナ
ヲ輕ク規定スペキガ當然デアルニ拘ラズ、
此官權萬能ノ趣旨ノ下ニ立脚セラレタル所
ノ改正案其モノヲ、其儘ヲ鵜呑ミニシテ、
體刑ダニニ規定セラレタノデアリマス、併
ナガラ此公務員ノ職務ヲ執行スルニ當テ、
果シテ之ガ公務員ノ正當ナル職務ノ執行デ
アルカ、是ハ異式ノモノデアルカ、職務ノ執行
其モノガ不當デアルカ、是ハ形式ヲ具ヘ
テ居ナイカト云フコトガ、常ニ争フ起スノ
デアリマス、其争ガアルカ爲ニ、職務ノ執行
行ヲ妨害シタトカ、拒ンダトカ云フ時ニ
當テ、之ニ常ニ體刑ヲ科スルト云フコト
ハ、如何ニモ道理ニ適ハヌコトデアルト思
リマス、他ノ法律ヲ參照致シテ見マシテ
メテ輕微ナ、如何ニモ氣ノ毒ナ事情ノ下ニ
條、織物消費稅法ノ第十八條第四號、假置

場法第十八條家畜市場法第十九條、蠶絲業
法第四十二條、銳砲火藥類取緝法第十八
條、酒造稅法第三十條、酒精及酒精含有飲
料稅法第二十一條、酒母、膠及鴉片稅法第
十二條、煙草專賣法第六十二條、鹽專賣法
第三十三條、軍需工農勤員法第二十一條第
五款、是等ノモノヲ參照改シテ見マシテモ

此職務執行妨害罪ノ種々ノ情狀ノ經緯廿四

第五 借家法中改正法律案
代吉君外二名提出

小久江美
第一讀會

エトヲ得ヌ

附則

本法施行前ニ爲シタル賃貸借ノ既ニ經過

タル期間ハ第三條第一項ノ期間ニ算入ス

本法施行前ニ賃貸人ノ解約ノ申入アリタ

場合ニ於テハ賃貸借ハ既ニ経過シタル

〔一松定吉君登壇〕

一松定吉君 只今上程サレマシタ借家法
又王法津案、又王、理由ニ付キマソテ、

正清律第八改正の理由二種事由三種
カラ簡単ニ説明ヲ申上ダマス、諸君御承

通リ、借家爭議ト云フモノガ年々歳々其道ノマンテ、非常ニ昔家ヲ故シテ居リ

新富ニ借家有致シ元利ノ
人者ト、貸家主トノ間ニ於キマシテノ爭

方絶工ナイノデアリマス、其事ハ多ク賃
留ノ存續期間ノ爭ニナリマスルシ、又賃

一付キマシテノ爭ガ起リマスルシ、敷金問

二付テ多ク争ガ起ルノデアリマス、ソレ
ノ家屋ノ明渡シ問題ニ付キマシテ、非常

訴訟沙汰ガ多クアルノデアリマス、斯ノ

ヤ訴訟沙汰ヲ成タケ少クシテ、家主ト借
主トノ間ニ於テノ協調ノ精神ニ基イテ總

ノ事ヲ解決致シタイ、又一面ニハ中產階

以下ニ屬シテ居リマスル人ニノ借家ニ關シテノ事ニ對シテ、幾分恩惠的ニセヲ保

シヤウ、其代リ家ヲ貸シテ居リマスル人

ノ方ニ於キマシテモ、場合ニ依リマシテ
ガノ権利ヲ十分保護シテヤラナケレバナ

メト云フ意味ニ於キマシテ、相當ノ期間

於テハ家ヲ明渡サナケレバナラヌト云ア
クナ裁判上ノ命令ヲ附與シテ、家ヲ貸シ

居ルト云フ方面ニ保護ヲシテヤラウト云

精神ニ於キマシテ、現ニ行ハレテ原ル備

テハ、中ニ以テ縣道ニスルコトガ出來ナイト云フヤウナ現状ニアルノデアリマス、爲ニ現在ニ於キマシテ一間ノ國縣道モナイ町村一町ハアリマセヌガ、山村ニ於キマシテ、全國ニ於テハ少クトモ百以上ハアルダ

ラウト思フノデアリマス、是等ノ村落ニ至リマスレバ、此道路ニ對シマシテハ一面國縣道ノ負擔ヲナシ、一面町村道ノ負擔ヲナス爲ニ、道路ニ對シマシテハ二重ノ負擔ヲセナケレハナラヌヤウナ狀態ニナシテ居ルノデゴザイマス、殊ニ是等ノ町村ニ於キマシテハ、義務教育費國庫交付金ノ査定ニ方リマシテ、貧弱町村トシテ取扱ハル、ヤウナ村落ガ非常ニ多イノデアリマス、斯様ナ村落ニ對シマシテハ道路ノ認定ヲ與ヘ、一面此產業ノ開發ト共ニ、負擔ノ輕減ヲ圖リタ伊ト思フノデアリマス、即チ本案ヲ提出シタ所以デアリマスカラ、ドウゾ御協賛アラシコトヲ願ヒマス

○原惣兵衛君 本案ハ坂東幸太郎君外三名提出、衆議院議員選舉法中改正法律案以下十四件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第十八、町村有建物火災保険相互組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、岩崎一高君

第八 町村有建物火災保険相互組合法案(岩崎一高君外十六名提出)

第一讀會

町村有建物火災保険相互組合法案

第一條 町村ハ其ノ所有ニ係ル建築物保管ノ爲他ノ町村ト共同シテ保険業法第

二條ノ規定ニ依ラサル火災保険ノ相互組合ヲ設置スルコトヲ得

第二條 本法施行ニ關シテハ別ニ規定スルモノヲ除クノ外一般保険業法ノ規定

ヲ準用ス
附 則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

定ム
〔岩崎一高君登壇〕
○岩崎一高君 只今上程ニナリマシタ町村有建物火災保険相互組合法案ニ付キマシテ、概要提出ノ理由ヲ説明申上げマス、先づ本案ニ付キマシテ、其趣旨トスル所、其目的トスル所ニ付キマシテ、概括的ニ申上

ダマスト、全國ノ町村一万二千ノモノカ寄集リマシテ、火災相互保険機關ヲ設ケテ、保険ノ事業ヲ開始セントスル爲ニ、現行ノ保険業法ノ第二條ノ規定ニ據ラザル所ノ單行法律ヲ制定致シマシテ、此目的ヲ達シタイト考へテ居ルノデアリマス、即チ本案ニ依リマシテ、此町村ガ常ニ火災ノ爲ニ累セラル、コトヲ防ギ、所謂町村財政ノ動搖ヲ未然ニ防ぐト云フコト、共ニ、町村財政ノ安固ヲ圖リタイト云フノニアルノデアリマス、之ヲ言換へマスレバ、町村住民ヲシテ斯ウ云フ趣旨ニ外ナラナインデアリマス、御承知ノ通リ全國一万二千ノ町村ニ於キマシテ、其公營三屬スル建物ノ數ハ約十五万棟アルノデアリマス、其見積價格ハ約五億万圓ニ達シテ居ルノデアル、ソコデ年々此町村ノ中ニ火災ニ罹ルモノガ幾許アルカト申シマスレバ、約一千八十棟バカリ火災ニ罹リマシテ、其損害ハ八十二万圓内外ニナッテ居ルノデアリマス、此火災ニ一度罹タ町村ノ慘状申シマスルモノハ、今更私が茲ニ申上ゲル迄モナク悲惨ナモノデアリマス、然ラバ町村ニ於キマシテ、此保険機關ヲ如何様ニ利用シテ居ルカト申シマスレバ、一万二千ノ町村ニ於キマシテ、僅ニ三千八百町村シカウナ實狀デアルノデアリマス、然ラバ町村ニ於キマシテ、此保険機關ヲ如何様ニ利用シテ居ルカト申シマスレバ、一万二千ノ町村ノ中ニ於キマシテ、僅ニ一千八百町村シカウナ實狀デアルノデアリマス、五億万圓ノ建物ニ對シマシテ、僅ニ一億八千万圓シカ保険ノ契約ヲ致シテ居ラヌノデアリ

マス、斯様ニ保険加入ニ對スル成績ガ惡ノハ何故デアルカト申シマスレバ、決シテ此町村民ニ自覺ガナインデハナイ、無關心ナノデハナインデアリマス、唯、今日町村ノ實狀カラ申シマスレバ、御承知ノ通り町村ニハ獨立ノ財源ト云フモノガナイ爲ニ、洵ルニ年々歲々教育費其他のモノガ增加致シテ來マスルガ爲ニ、町村ノ財政ト云フモノハ、洵ニ逼迫ヲ致シテ居ルノデアル、此逼迫ヲ致シテ居ルト云フコトガ、町村ノ者ガ保険ニ加入スルト云フ所ノ、所謂障壁ヲ爲シテ居ルノデアリマス、又今日ノ町村ガ各ナッテ居ルノデアル、故ニ此全國ノ町村ガ建物ニ對シテ全部保険契約ヲ致スト云フコト此一千圓ニ對シテ四圓八十錢ト云フ高率ニハ、比較的安率デアリマスガ、ソレデモニナリマスルト、殆ド二百五十萬圓ト云フモノヲ要スルノデアル、之ガ町村ト致シマシテ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、又今日保険ヲ町村ニ於テヤリマスル場所ニ、又今日保険ヲ町村ニ於テヤリマスル場合ニ於キマシテハ、何シロ田舎ノコトデアリマスルガ爲ニ、各保険會社ニ於ケル信用度が分ラナイノデアル、ノミナラズ一ツノ町村内ニ於キマシテハ、保険會社ガ數會社モアルノデアリマスルガ爲ニ、色ニナ因縁情質ガ其處ニ起リマシテ、一ツノ會社ニ這入ルコトガ出來ナイ、例へバ、一ツノ役場、學校ノ保険ヲ附ケマスルニ於キマシテモ、二三ノ會社、多キハ數會社ニ瓦ルト云フヤウナ事デアリマシテ、甚ダ其手續萬端ガ煩シタイト思ヒナガラ、保険ニ加入ヲスルコトヲ困難ト致シテ居ルノガ今日ノ實狀アリマス、然ラバ本案ニ依テ、此町村ガ相互組合ヲ作シテ保険事業ヲ開始スルト云フコトニナリマスル、如何ナル利益ガアルカト申シマスルニ、第一保険率ガ非常ニ安クナカル爲ニ、自然ト此町村ハ保険ニ加入ヲ致スル次第デアリマス(拍手)

○原惣兵衛君 本案ハ土屋清三郎君提出ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外十七件ノ委員ニ併託セラレンヲ望ミマス

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○原惣兵衛君 三度議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ日程ヲ變更シ、此際淺原健三君提出、警察權行使ニ關スルモノヲ除クノ外一般保険業法ノ規定

スル緊急質問ノ趣旨辯明ヲ許可セラレント

ヲ望ミマス

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、警察權行使ニ關スル緊急質問ノ趣旨辯明ヲ許シマス——淺原健三君

警察權行使ニ關スル緊急質問(淺原健三君提出)

〔淺原健三君登壇〕

〔大臣ガ居ナイト呼フ者アリ〕

○議長(川原茂輔君) 内務大臣ハ差支ガアリマスカラ次官ヲ呼ビニヤテ居リマス、政

府委員ハ居リマスカラ……

○淺原健三君 警察權行使ニ關スル私ノ緊急質問トハ、去ル五日夜十時十五分、兇漢

ノ毒刃ニ斃レタ同志山本宣治君ノ死ニ關スル、一切ノ内務當局ノ態度ト處置ニ對シテ

御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス、内務

大臣ガ貴族院ダサウデアリマシテ、政務次

官ガ今御出ニナリツ、アルサウデアリマスカラ、政務次官ノ御出席マデ暫ク待テ居リマス、——便宜上要點ヲ四ツ二分ケテ御尋致シマス、第一ハ山本宣治君ノ葬儀ニ關スル點デアリマス、山本君ノ葬儀ハ、御存知ノ通り第一回ハ東京ニ於テ、去ル八日本

郷區寺大佛教青年會館ニ於テ行ハレタノデアリマスルガ、其時ハ民政黨ノ諸君モ參列シテ戴キ、第一控室ノ方モ多數來テ戴キ、政友會ノ方モ、新黨俱樂部ノ方モ御出デ下

スッテ居ル、故ニ直接現場ニ御出デ下ヌタ

方ハ、恐ラク御承知デアラウト思フノデアリマス、アノ告別式ハグルリ百數十名ノ制服ノ巡查ニ依テ護衛セラレ、而モ其告別式

止ノ連發デアタ、サウシテ最後ニハ巡查ガ

祭壇ノ壇上ニ駆上テ、泥靴ノ儘檢束ヲ演ジ

タ、田中總理大臣ハ同日ニ行ハレタ日比谷ニ於ケル一俳優澤田正二郎ノ葬儀ニ弔詞

ヲ御讀ミニナツタガ、其足デ衆議院議員山本宣治ガ葬儀ヲ、巡查ノ泥靴ト檢束ニ依テ踩

踏セラレタ、併シ私ハ今ソレヲ申上ダヤウ

トスルノデハナインデアリマス、同シク十

五日青山斎場ニ於ケル勞農葬、ソレモ申上

ダヤウトスルノデハナインデアリマス、或

ハ大阪ニ於ケル勞農葬、ソレモ申上ダヤウ

トスルノデハナインデアリマス、同シク十

ハ、山本宣治君ノ生レ故郷デアル京都府下

宇治ニ於ケル母ト、妻ト、孤兒トニ依テ守ラ

レタル、アノ本葬ニ對スル警察當局ノ取締

ノ態度デアリマス、私ハ其本葬ニ參列シタ

ル者デアリマスルガ、十五日午前九時、京

都府下宇治ノ山本宣治君ノ自宅花屋敷ヲ葬

列ハ出タ、サウシテ八町ノ田舎路ヲ辿テ宇

治驛ニ出タ、葬列ニ參加シマシタ人員ハ

七十二名デアリマス、而モ警察當局ハ、組

合旗又ハ團旗ナラバ卒サ知ラズ、母親ノ持

テル一弔旗サヘモ掲揚ヲ禁ジテ、一尺四方

ノ唯僅ナル白木ノ箱ノミヲ持テ寂シク葬

送ヲ爲シ、而モ其葬儀ニ參列シタル人員ノ

種別ヲ私ハ申上ダテ見マスト、其中ニハ母

ト、妻ト、四人ノ孤兒及親族ノ婦人、皆合シ

テ十八名、親族ノ男十二名、子供七名、合

シテ所謂血族ノ參列者三十七名、宇治町ノ

町總代ト稱スベキ有志十名、合セテ四十七

名、ソレニ友人、同志、各無產團體カラ選

バレタル葬儀委員二十五名參列、合セテ七

十二名ノ葬儀デアリマス、此葬列ガ花屋敷

ノ家ヲ出テ、八町ノ田舎路ヲ辿テ、宇治驛

ノ手前半丁許リノ所ニ字治警察署ガ在ル、

其警察署ノ門前ニ差鬼タ時ニ、中カラ突如

逃ゲル、女ハ泣イテ逃ゲル、親族ノ人達ハ

トシテ六十名ノ武装セル警官ガ躍リ出シテ

葬列ノ眞中ニ突入シタ、サウシテ打ツ、蹴

ル、殴ルノ檢束騒ギデアル、子供ハ泣イテ

逃ゲル、女ハ泣イテ逃ゲル、親族ノ人達ハ

唯茫然トシテソレ見ルノミデアル、而モ

遺骨ヲ持テ居ル山本宣治君ノ義弟山中氏

ハ混亂ノ中心トナッテ、山本宣治君ノ遺骨ヲ

抱イタ儘路傍ニ打倒サレ、サウシテ二十名

ノ檢束者ヲ出シタノデアリマス、故ニ葬儀

委員ハ残シタ者僅ニ五名、アトハ女子供バカ

リデアル、私ハ望月サンニ御尋シタイノデ

アル、望月サンハ自由黨以來官僚藩閥ト闘

テ、一抹ノ義憤ヲ其血管ノ中ニ持テ居ラレ

ル人デアルガ故ニ、私ハ望月サンノ人間的

血脉ニ之ヲ御尋シタイト思ツタノデアリマ

ス、併シ今貴族院ニ御出デニナッテ居ルサ

ウデアリマスカラ、已ムナク秋田サンニ御

尋スル、山本宣治ノ死ニ——山本宣治ノ屍

ニ——死ンダ山本宣治ニ何ノ罪ガアル、——

山本宣治ノ遺骨ニ侮辱ヲ與フル程ソレ程何

ノ罪ガアル、誰デモ同シデアリマス、葬列

傍ニ倒サレルト云フヤウナ、ソナ見窄ラ

シイ姿ヲ誰ガ喜ブデアラウ、オ母サント奥

ガ蹠躡セラレ、土足ニ掛ケラレ、遺骨ガ路

傍ニ倒サレルト云フヤウナ、ソナ見窄ラ

滴ノ涙ヲモ零サレナイ人デアルケレドモ、

シイ姿ヲ誰ガ喜ブデアラウ、オ母サント奥

ガ蹠躡セラレ、土足ニ掛ケラレ、遺骨ガ路

カラ京都基督教青年會館ニ至ルマデハ、遺骨及母堂、未亡人、子供ヲ乗セル十數臺ノ自動車が要ル、其自動車係モ亦檢束デ

アル、故ニ自動車ガ一臺モ集ルベキ苦ハナ

イ、ソコデ私達ガ駆出シテ、漸ク圓タク十

六臺ヲ集メテ、サウシテ遺骨ヲ青年會館ニ

送リ付ケタ、而モ民政黨ノ諸君ハ、澤山ア

ニナツテ居タガ故ニ思ハレタデアリマセウ

ガ、アノ佛教會館ノ時ノ告別式ハ、兎ニモ

角ニモ臨監席席ノ下ニ臨監席ガ

京都ニ於ケル青年會館ハ何事デアル、僅カ三

坪ニ足ラナイ演壇ノ上ニ、所狹キマデニ衆

議院議長、又ハ演口民政黨總裁、僕民政黨幹事長、第一控室、其他ノ有志カラ贈ラレタル

堆キ花輪ノ置カレテアル三坪足ラノ所

ニ、骨ヲ離レテ一尺、遺骨ト共ニ臨監ガ佩劍

ノ柄ヲ握テ立テ居ル、祭壇ノ下ニ臨監席ガ

アルノデナイ、祭壇ト並ンデ臨監席ガ作ラ

レテ居ル、此一事ヲ以テスルモ、之ガ死者

ニ對スル禮儀ト思ハレバ、中止スルノハ當然デヤナ

ハ片端カラ中止、中止以外ハ僅ニ五六人デ

アル、或ハ次官ハ仰シヤルカモ知レナイ、

不穩ナ事ガアレバ、中止スルノハ當然デヤナ

イカ、葬儀ニ名ヲ藉リ不穩ナル宣傳ヲナサ

ントスル虞ガアルガ故ニ、弔辭申電ニ中止

アル、或ハヘルト仰シヤルカモ知レマセウ

ニ、私ハ豫メ申電ハ京都府特高課ノ許可ヲ

受ケタ、然ニ京都府特高課ハ是ハ不穩ナ

リトシテ中止ヲ命ジタノデアリマス、ソレヲ讀上ダテ見

テ居ルナラバ、斷乎トシテ宇治警察署長ヲ

處分セラレシコトヲ望ムノデアリマス、内務當

手故ニ此一點ハ秋田サンノ明瞭ニシテ率

直ナル御答辯ヲ御願スルノデアリマス、ソレヲ讀上ダテ見

テ、私ハ豫メ申電ハ京都府特高課ノ許可ヲ

受ケタ、然ニ京都府特高課ハ是ハ不穩ナ

リトシテ中止ヲ命ジタノデアリマス、ソレヲ讀上ダテ見

テ、私ハ豫メ申電ハ京都府特高課ノ許可ヲ

死ハ不穏デアルカラ中止、山本君ノ死ハ横

死ハナカタカ、病死デアルカ、山本氏ノ

死ハ不穏デアルカラ中止、山本君ノ死ハ横

ナイカ、然ルニ「横死ヲ悼ム」トハ不穩デアルカラ、唯悼ムダケ讀メ、何ト云フ侮辱デアル、何ト云フ非常識、何ト云フ沒情義ナル、「山本ノ横死ヲ悼ム」其「横死」ガイケナイ「山本ノ悼ム」左様ニ讀メ「同志山本ノ横死ヲ悼ム」ハキリ言云フ非常識カ、何ト云フ沒情義デアル、山本ノ横死ヲ悼ム」其「横死」ガイケ本ノ治安ヲ扱フ内務當局ノ常識カ（ハキリヤレ）ト呼ヒ發言スル者多シ）ハキリ言ハナクテ分ラナケレバモウ一遍申シマス、山本君ノ死ハ——山本君ノ死ハ吾々ニ所デアル、御靜ニ御聽キ願ヒタイノデアリマス、内務省ノ常識程度ヲ御披露シテ居ルノデアリマス、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」是ハレルコトハ、吾々トシテ斷ジテ忍ビ得ザル不穏ダカラ中止デアル、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」是ハ勇敢悲壯ノ死デナカッタカ、平和ナマス、内務省ノ常識程度ヲ御披露シテ居ルノデアリマス、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」是ハ不穏ダカラ中止デアル、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、死ヲ悼ム」「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、中止是カ常識ト思フカ、當リ前思フカ、キデアル、中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、モト滑稽ナモノニ斯ンナガアリマス「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」此「児刃ニ斃レシ」ガイケナイ、然ラバ児刃デナカッタトシタラ何デアッタノカ、「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」児刃ガ不穏デアルト云テ中止デアル嵐吹ク香川ノ空ヨリ同志山本氏ノ死ヲ悲シム、嵐吹ク香川ノ空「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、香川ニハ嵐ガ絶對ニナインデアリマスカラ、香川八年中晴天ラシイ「死ヲ悼ム」大衆ハ泣ク、瞑セヨ「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、中止「反動ノ魔ノ手ニ斃レタ同志山本ノ死ヲ悼ム」此「反動ノ魔ノ手」ガイケナイ、中止デアル、時間ノ經濟上止メマスガ、皆ソレデアリマス、私ハ秋田サンノ直接其場ニ御出デニナラナイ下僚ノ報告ヲ以テ、假令間違テ居シテモ、無茶デモ、無暴デモ、何デモ彼テモ擁護シナケレバナラヌト云フ官僚的ノ御氣質ニ御尋シテ居ルノデハナイ、秋

田サンソレ自體ノ甘イモ辛イモ喰分ケテ居ラレル苦勞人ノ心ニ對シテ、之ガ常識トシリヤレ」ト呼ヒ發言スル者多シ）ハキリ言ハナクテ分ラナケレバモウ一遍申シマス、山本君ノ死ハ——山本君ノ死ハ吾々ニ所デアル、御靜ニ御聽キ願ヒタイノデアリマス、内務省ノ常識程度ヲ御披露シテ居ルノデアリマス、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」是ハレルコトハ、吾々トシテ斷ジテ忍ビ得ザル不穏ダカラ中止デアル、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、死ヲ悼ム」「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、中止是カ常識ト思フカ、當リ前思フカ、キデアル、中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、モト滑稽ナモノニ斯ンナガアリマス「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」此「児刃ニ斃レシ」ガイケナイ、然ラバ児刃デナカッタトシタラ何デアッタノカ、「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」児刃ガ不穏デアルト云テ中止デアル嵐吹ク香川ノ空ヨリ同志山本氏ノ死ヲ悲シム、嵐吹ク香川ノ空「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、香川ニハ嵐ガ絶對ニナインデアリマスカラ、香川八年中晴天ラシイ「死ヲ悼ム」大衆ハ泣ク、瞑セヨ「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、中止「反動ノ魔ノ手ニ斃レタ同志山本ノ死ヲ悼ム」此「反動ノ魔ノ手」ガイケナイ、中止デアル、時間ノ經濟上止メマスガ、皆ソレデアリマス、私ハ秋田サンノ直接其場ニ御出デニナラナイ下僚ノ報告ヲ以テ、假令間違テ居シテモ、無茶デモ、無暴デモ、何デモ彼テモ擁護シナケレバナラヌト云フ官僚的ノ御氣質ニ御尋シテ居ルノデハナイ、秋

田サンソレ自體ノ甘イモ辛イモ喰分ケテ居ラレル苦勞人ノ心ニ對シテ、之ガ常識トシリヤレ」ト呼ヒ發言スル者多シ）ハキリ言ハナクテ分ラナケレバモウ一遍申シマス、山本君ノ死ハ——山本君ノ死ハ吾々ニ所デアル、御靜ニ御聽キ願ヒタイノデアリマス、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」是ハレルコトハ、吾々トシテ斷ジテ忍ビ得ザル不穏ダカラ中止デアル、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、死ヲ悼ム」「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、中止是カ常識ト思フカ、當リ前思フカ、キデアル、中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、モト滑稽ナモノニ斯ンナガアリマス「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」此「児刃ニ斃レシ」ガイケナイ、然ラバ児刃デナカッタトシタラ何デアッタノカ、「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」児刃ガ不穏デアルト云テ中止デアル嵐吹ク香川ノ空ヨリ同志山本氏ノ死ヲ悲シム、嵐吹ク香川ノ空「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、香川ニハ嵐ガ絶對ニナインデアリマスカラ、香川八年中晴天ラシイ「死ヲ悼ム」大衆ハ泣ク、瞑セヨ「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、中止「反動ノ魔ノ手ニ斃レタ同志山本ノ死ヲ悼ム」此「反動ノ魔ノ手」ガイケナイ、中止デアル、時間ノ經濟上止メマスガ、皆ソレデアリマス、私ハ秋田サンノ直接其場ニ御出デニナラナイ下僚ノ報告ヲ以テ、假令間違テ居シテモ、無茶デモ、無暴デモ、何デモ彼テモ擁護シナケレバナラヌト云フ官僚的ノ御氣質ニ御尋シテ居ルノデハナイ、秋

田サンソレ自體ノ甘イモ辛イモ喰分ケテ居ラレル苦勞人ノ心ニ對シテ、之ガ常識トシリヤレ」ト呼ヒ發言スル者多シ）ハキリ言ハナクテ分ラナケレバモウ一遍申シマス、山本君ノ死ハ——山本君ノ死ハ吾々ニ所デアル、御靜ニ御聽キ願ヒタイノデアリマス、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」是ハレルコトハ、吾々トシテ断ジテ忍ビ得ザル不穏ダカラ中止デアル、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、死ヲ悼ム」「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、中止是カ常識ト思フカ、當リ前思フカ、キデアル、中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、モト滑稽ナモノニ斯ンナガアリマス「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」此「児刃ニ斃レシ」ガイケナイ、然ラバ児刃デナカッタトシタラ何デアッタノカ、「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」児刃ガ不穏デアルト云テ中止デアル嵐吹ク香川ノ空ヨリ同志山本氏ノ死ヲ悲シム、嵐吹ク香川ノ空「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、香川ニハ嵐ガ絶對ニナインデアリマスカラ、香川八年中晴天ラシイ「死ヲ悼ム」大衆ハ泣ク、瞑セヨ「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、中止「反動ノ魔ノ手ニ斃レタ同志山本ノ死ヲ悼ム」此「反動ノ魔ノ手」ガイケナイ、中止デアル、時間ノ經濟上止メマスガ、皆ソレデアリマス、私ハ秋田サンノ直接其場ニ御出デニナラナイ下僚ノ報告ヲ以テ、假令間違テ居シテモ、無茶デモ、無暴デモ、何デモ彼テモ擁護シナケレバナラヌト云フ官僚的ノ御氣質ニ御尋シテ居ルノデハナイ、秋

田サンソレ自體ノ甘イモ辛イモ喰分ケテ居ラレル苦勞人ノ心ニ對シテ、之ガ常識トシリヤレ」ト呼ヒ發言スル者多シ）ハキリ言ハナクテ分ラナケレバモウ一遍申シマス、山本君ノ死ハ——山本君ノ死ハ吾々ニ所デアル、御靜ニ御聽キ願ヒタイノデアリマス、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」是ハレルコトハ、吾々トシテ断ジテ忍ビ得ザル不穏ダカラ中止デアル、「勇敢悲壯ノ死ヲ悼ム」中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、死ヲ悼ム」「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、中止是カ常識ト思フカ、當リ前思フカ、キデアル、中止「勞働者ノ旗ノ下」ガ不穏デアル、モト滑稽ナモノニ斯ンナガアリマス「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」此「児刃ニ斃レシ」ガイケナイ、然ラバ児刃デナカッタトシタラ何デアッタノカ、「我等無產大衆ノ爲メ児刃ニ斃レシ君ノ靈ヲ悼ム」児刃ガ不穏デアルト云テ中止デアル嵐吹ク香川ノ空ヨリ同志山本氏ノ死ヲ悲シム、嵐吹ク香川ノ空「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、香川ニハ嵐ガ絶對ニナインデアリマスカラ、香川八年中晴天ラシイ「死ヲ悼ム」大衆ハ泣ク、瞑セヨ「大衆ハ泣ク」ガイケナイ、中止「反動ノ魔ノ手ニ斃レタ同志山本ノ死ヲ悼ム」此「反動ノ魔ノ手」ガイケナイ、中止デアル、時間ノ經濟上止メマスガ、皆ソレデアリマス、私ハ秋田サンノ直接其場ニ御出デニナラナイ下僚ノ報告ヲ以テ、假令間違テ居シテモ、無茶デモ、無暴デモ、何デモ彼テモ擁護シナケレバナラヌト云フ官僚的ノ御氣質ニ御尋シテ居ルノデハナイ、秋

テ居ル、サウシテ翌日ノ午前、十七日ノ午前、原宿ノ爭議團本部ニ、大和民勞會ト稱スル反動團體ガ四十五、六人棍棒ヲ携ヘテ本部ヲ襲撃シテ居ル、サウシテ本部ノ立退ヲ要求シ、高野、丸山、桑木ノ三人ヲ亂打シテ居ル、サウシテ丸山ハ遂ニ殴打セラレタ結果氣絶シテ居ル、或ハ水ヲ被セタリ、華ヲ飲マセタリシテ、其氣絶ハ取返シ得タケレドモ、此三人トモ非常ナ重傷デアル、然ルニ千駄ヶ谷署ハ此三人ヲ其儘引致シテ、保護檢束ト云フ名ニ依リ行政檢束ヲ爲シテ居ル、而モ二人ノ中ノ丸山ハ重傷デアルが故ニ、是非治療ヲ爲スガ爲ニ歸シテ吳レトニ云フコトヲ懇願スルケレドモ、警察署ハ之ヲ歸サナイ、察スルニ何故歸サナイカト云フニ、負傷者ヲ歸セバ大和民勞會ノ暴行が明瞭ニナルガ故ニ、大和民勞會ハ自動車五臺ニ分乗シテ、四、五十人ガ府下中野町鍋屋横町ニ居住スル所ノ組合員ヲ矢張毆行シテ居ル、或ハ大和民勞會ノ藤代天放ト云フ人ハ、私達日本大衆黨ノ所屬モトノ常任執行委員ニアタ鈴木茂三郎、林要ノ二人ヲ突殺スゾト、二人ノ面前デ言明シテ居ル、或ハ此爭議ノ仲裁ニ入党タ人ニ對シテ、大和民勞會京橋支部長ト云フノハ、此爭議ハ血ヲ以テ解決シナケレバ止ミマセヌト言明シテ居ル、反動團體ハ常ニ斯ノ如キ暴言ヲ平氣デ吐ク者デアリマス、而モ斯ノ如キ暴言ガ平氣ニ吐カレテ行クト云フコトハ、單り内務當局ガ反動團體ノ跋扈跳梁ヲ許サレテ居ルカラデアル、別箇ノ問題カモ知レマセヌガ、田中サンノ内閣ガ出來テ以來ホド、此全國ニ反動團體ノ跋扈シタ時代ハナイノデアリマス(拍手)故ニ本當ニ嚴肅ニ反動團體ヲ御取締ニナルナラバ、彼ノ七生義團ノ新聞紙ノ如キモ、當然前以テ御取締ニナルベキ苦デアル、前以テ御取締ニナ、テ居ルナラバ、山本君ノ死ハ絶対ニ救フコトハ出來ヌクトモ、少クモ幾分ハ救ヒ得ルコトガ出来ハシナカタカト思ヒマス、私ハアナタ方

ノ警戒ガ足ラナカフタト云フノデハナイ、事
實貴方ノ責任ト御怨ミスルノデハナイ、唯
新聞紙取締ノ法律的責任ヲ帶ブル所ノ内務
大臣ガ、何故ニ斯ノ如キ無茶ノ宣言ヲ書イ
テ居ル新聞紙ヲ其儘放任シタカト云フコト
デアリマス、故ニ斯ノ如キ新聞紙ガ現レテ
居ルト云フコトハ、警保局ノ圖書課ノ檢閱
ガ杜撰デハナカフタカ、ソンナ杜撰ナ檢閱ヲ
爲サル警保局圖書課長ハ、當然内務大臣ハ
處分セラルベキ筈デアル、然ルニ秋田次官
ハ處置スルト云フコトハ、警保局ノ圖書課ノ檢閱
ハ何デアルカ、處置ト云フノハ處分デハナ
イ、私ハ處分デナクテハイケナイ、斷乎ト
シテ處分セラルベキデアルト云フコトヲ申
上ゲテ置キマシタガ、今日迄未ダ處分ノ形
ガ見ラレナイ、然ラバ、處置ト處分トハ違テ
居ルノカ、秋田サンノ仰シヤッタ處置ト云
フノハドンナコトデアルカ、是モ序ニ御尋
シテ置クノデアリマス、更ニ本件ガ起リマ
シテカラ、警視廳ノ態度タルヤ實ニ奇怪至
極ト思フ、山本氏ノ死ハ五日ノ夜十時十五
分デアツテ、六日ノ新聞即チ七日ノ日附ノ夕
刊ニハ、正當防衛ナルカノ如キ記事ヲ報知
ト日日ニ載セテ居ル、正當防衛ニ依テ犯人
ガ山本君ヲ刺殺シタト云フガ如キ先入主ヲ
民衆ニ與ヘ、犯人ニ同情ヲ爲サシメ、山本
君ニ同情ヲ失ハセルト云フガ如キ、意識的
計畫的デアラウト誤解サレルヤウナ記事
ヲ、警視廳ノ諸君ハ發表セラレテ居ル、正
當防衛ナリト言ッタ其根據ハ果シテ何處ニ
アルノカ、秋田サンハ正當防衛トハ言ハ十
カタト仰シヤルケレドモソレハ鬼怯ノ遁
ダ口上デアリマス、自分ノ都合ノ好イ時分
ニハ新聞紙ヲ唯一ノ材料トシ、都合ガ惡クナ
レバ新聞ヲ否定スル、自分ガ在野黨ノ時
此演壇ニ立テ質問スル場合ニハ新聞ガ唯
ガ好イ時ニハ新聞紙ヲ材料トシ、都合ガ惡
一ノ材料デアル、然ルニ一度在野黨ヲ離レ
テ與黨トナリ、政府ノ官吏トナレバ、新聞
ヲ、是ハ日本ノ政治家ノ從來ノ傳統的ノ一
ツノ卑屈ナル精神デアリマス、私ハ警視廳

ケ其意見ヲ發表セズシテ、第三者ノ新聞記者ガソンナヤウナ事ヲ書ク理窟ハナイト思フ、當然警視廳が正當防衛ノ如ク、傷害致死ノ如ク談話シタルコトガ、新聞紙ニ必然的ニ現レタト思フノデアリマス、或ハ警視廳ガ此事件ニ對シテ殊更正當防衛ノ如キ談話ヲ爲シタノデハナイカ、其明ナル證據ハ所謂斬奸狀ノ内容ガ發表サレテ居ルコトデアリマス、秋田サンハ斬奸狀ノ内容ヲ發表シタル覺エナシト言フ、若シ警視廳デ斬奸狀ノ内容ヲ發表シナカッタラバ、アノ五項目ニ分ツテ居ル事柄ガ各新聞ニ現ハレル譯ハナイ、若シ新聞記者ノ想像ニ依リ、若シ第三者ノ想像ノミニ依テ、アノ詫事ガ出來タモノトスルナラバ、各新聞ガ一樣ニナル筈ハナイ、然ルニ新聞ニハ五項目ノ全體ニ亘ツテ、同一文字、同一文句ヲ使シテアル所ヲ見ルナラバ、貴方が何ト御否定ニナッテモ、警視廳ガ斬奸狀ノ内容ヲ總括シテ、ソレヲ五項目ニ分ツテ發表シタト云フコトハ否定シ難イ事實ト思フ、若シ警視廳當局ガ發表シナカッタノナラバ、何ガ故ニアンナ一トハ常識デハ判斷スルコトハ出來マセヌ、確ニ警視廳ノ當局ガ發表シタモノデアルト思フ、斬奸狀ノ内容ノミナラズ、更ニ進ンデ犯人ノ陳述マデ發表シテ居ル、故ニ若シ警視廳當局ガ發表シタノデナイト云フナラバ、私ハ斬奸狀ノ全文ノ御發表ヲ願ヒタイ、斬奸狀ノ全文ヲ御發表ニナックナラバ、五項目ノ外ニモウ少シ別ノ内容ガアッタラウト思フ、然ルニ秋田サンハ、斬奸狀ノ全文ハ事豫審中デアルカラ發表出来ナイト言フ、若シ斬奸狀ノ内容ハ事豫審中デアルカラ發表シナイト云フナラバ、何故事ノ豫審中ニ屬スル犯人ノ陳述書ヲ發表シタノデアルカ、犯人ノ陳述書ヲ發表シ、或ハ斬奸狀ノ一部ヲ發表シナガラ、全部ノ都合ノ惡イコトハ、事ヲ豫審中ニ藉口シテ發表セザルガ如キハ、甚シイ通辭ト言ハザルヲ得ナイ、故ニ私ハソレ等ノモノハ發表ナサルベキモノデアルト存ズル、何トナレバ警視廳ハ、風説ノ傳フル所ニ依レバ、犯人ト因果關係

ヲ持テ居リ、計畫的ニ犯人擁護ノ態度ニ、
アノ暗殺事件ニハ出テ居ルト云フ誤解ガア
ル、其誤解ヲ明瞭ニスル爲ニハ、當然一切
ノ犯罪經過ヲ御發表ニナルベキト思フ、又
其警視廳ノ報告ニ基イテ、六日ノ本會議ニ
於ケル内務大臣ノ御報告ハ實ニ不謹慎、輕
卒ノ甚シキモノデアル、内務大臣ハ何ガ故
ニ山本君ガ暗殺セラレタカト云フ經過ヲ報
告セラレタ、其本會議ノ速記錄ニ依ルト、
犯人ハ平素同代議士ノ行爲ニ關シ、自己ノ
信念ト相容レザル點ニ付キ、辭任勸告書ヲ
提示シテ同代議士ノ反省ヲ求メ、其自決ヲ
促シタルガ動機トナツテ双方口論ヲナシ、其
結果犯人ハ突如携帯セル凶器ヲ以テ山本代
議士ヲ死ニ至ラシメタト云フ風ニ言ハレ
タ、口論シテ雙方喧嘩ノ後、遂ニ犯人ハ殺ス
積リデ來タノデハナイケレモ、口論ノ結
果殺スニ至タト云フノハ、確ニ犯人擁護デ
アル、斯ノ如キ犯人擁護、庇護のモノ、
是ガ一國ノ内務大臣ガ衆議院ノ本會議ニ於
ケル責任アル報告ノ一節デアルト云フコト
ガ出來ルカドウカ(拍手)是ハ内務大臣ガ初
カラ帝國議會ニ於テ、此犯人ハ暗殺ノ意忠
ヲ以テ臨シダモノデハナク、行掛リ上遂ニ
暗殺ヲスルニ至タモノナリト云フ保證ヲ、
シテ裁判長ノ宣言以外ニ犯人ヲ擁護セズ、
犯人ヲ憎惡スルガ如キ先入主ト持タセヌ所
ニ精神ガアルノデアリマス、陪審法ノ精神ハ、陪審官ヲ
臣ガ本會議ニ於テ、是ハ計畫的暗殺ニアラ
ズ、咄嗟ノ児行ナリト云フダ如キ口吻ヲ御
用ヒニナフタト云フコトハ、陪審ノ精神ニモ
反スルモノデハナイカト思フ、望月サンノ
此御報告ハ、警視廳ノ報告ヲ基礎トセラレテ
居ルノデアル、即チ内務省ノ警保局ガ警視
廳ノ報告ヲ受ケテ、ソレヲ内務大臣ニ取次
ノ事件ニ對スル態度ハ、決シテ公明正大、
純ダトハ言ヘナイ、其處ニ一抹ノ暗影ガ
其儘此處デ御説明ニナツクノデアル、然ルニ
其内務大臣ノ報告ノ源デアル警視廳ノ今回
ノ事件ニ對スル態度ハ、決シテ公明正大、

アルト云フ疑惑ヲ吾々ハ持テ居ル、其警視廳が報告シタコトヲ、其儘内務大臣が承ケ繼ギ、而モ決定的、斷定的、三雙方口論ヲナシ、其結果犯人ハ斯ル行爲三出デタノデアルト云フ如キ、輕率ナル御辯明ヲナサツテ居ル、秋田サンハ委員會ニ於テ雙方口論ト云フコトハ喧嘩ト云フコトデハナイト、斯ウ云フ御答辯ニナツテ居ル、併シ口論ガ喧嘩デナイトスレバ何デアル、詫詰デアルカ、談話ヲ内務大臣ハ口論ト言ハレルノデアルカ、談話スルコトヲ口論ト言ハレタノナラバ、内務大臣ハ日本語ヲ御存知ナイト謂ハナケレバナラヌ、口論トハ少クトモ鬭争デアル、爭鬭デアル、争鬪のナル口論ヲシテ、双方感情が激シテ、茲ニ初メテ隠シ持タル短刀ヲ以テ突刺シタ、斯ウ云フ風ノ内務大臣ノ御説明ガ全國ノ新聞ニ掲載セラレマスト、日本國民ノ持ツ第一ノ印象先入主ハ、犯人ハ殺ス計畫デ行シタノデハナクシテ、山本ノ應對振ガ挑戰的デアッタガ故ニ、遂ニ殺人ノ御説明ガ全國ノ新聞ニ掲載セラレマス、第一ハ、山本代議士ノ葬儀ニ付テ警察官、人民新聞ナルモノノ記事ニ相當關係ヲ持ツ、第二ハ、山本代議士ノ葬儀ニ付テ警察官、人民新聞ナルモノノ記事ニ相當關係ヲ持ツ、第三ハ、此事件が起

當局ノ取締ニ關スルコトデアリマス、第四ハ、山本代議士ガ横死セラレマシタ其原因ガ、人民新聞ナルモノノ記事ニ相當關係ヲ持ツ、第五ハ、山本宣治君ノ彼ノ児變ヲ見マシタ後ニ期スルト云フコトハ、當局トシテハ正ニ當然ノ措置アルノデアリマス、然ルニ三月五日山本宣治君ノ彼ノ児變ヲ見マシタ後ニ期スルト云フコトヲ想像セラレマシタ後ニ分子ハ、前ニ申シマシタヤウナ計畫ヲ遂行上、之ヲ利用スルト云フコトガ最も得策デアルト云フコトヲ想像セラレマシタ後ニマシテ、山本君ノ葬儀ト所謂渡政農業ト併合致シマシテ、且ツ此機會ニ於テ當初ヨリ所期シテ居リマス不穩計畫實行ノ爲ニ、只今はカラ申上げマスヤウナ危激ナル指令、檄等ヲ發行シ、又ハ色々ナ記事ヲ掲載致シマシテ、サウシテ一般大衆ニ向テ宣傳、煽動致スト云フコトニ狂奔ヲ致シタノデアリマス、如何ナル檄、如何ナル指令ヲ出シタカ、御参考ノ爲ニ之ヲ申上げテ見タイノデアリマス、即チ三月七日政獲勞農同盟本部ノ指令、十五日ノ勞働葬ニ關シテ其ガ正ニ祕密結社日本共產黨ノ檢舉ノ一年周年ニ於テ日本共產黨、所謂祕密結社日本共產黨、之ヲ當局ガ一齊ニ檢舉致シマシタ其當局者ニ向テ傳フル者ガアッタノデアリマス、而シテ事實ニ於テ憂フベキ現象ノアッタ云フコトモ争フコトガ出來ナイ情況デアリマシタ、即チ政治的自由獲得勞農同盟、斯様ナモノヲ發行致シタノ是ノ要旨ヲ申上げマスレバ、第一、東京スルコト、第二、當日掲グル「スローガン」ニ於テハ三月十五日青山斎場ニ於テ山本宣治ノ階級葬ヲ舉行シ、併セテ渡政農業ヲ執行スルコト、即チ渡政之輔ノ葬儀ヲ執行

實行ヲ策謀致シテ居ルト云フコトヲ、頻ニ當局者ニ向テ傳フル者ガアッタノデアリマス、而シテ事實ニ於テ憂フベキ現象ノアッタ云フコトモ争フコトガ出來ナイ情況デアリマシタ、即チ政治的自由獲得勞農同盟、斯様ナモノヲ發行致シタノ是ノ要旨ヲ申上げマスレバ、第一、東京スルコト、第二、當日掲グル「スローガン」ニ於テハ三月十五日青山斎場ニ於テ山本宣治ノ階級葬ヲ舉行シ、併セテ渡政農業ヲ執行スルコト、即チ渡政之輔ノ葬儀ヲ執行セヨノ如キ、檄ト申シマスカ「スローガン」又日本勞働組合全國協議會、是ハ舊日本勞

働組合評議會ノ後身デアリマス、及無產者新聞社等ノ一派ハ三月十五日ヲ期シテ、之ヲ記念スルガ爲ニ不穩ナル運動ノ實行ヲ策スルト共ニ、曩ニ臺灣ニ於キマシテ警察官輔ナル者ノ爲ニ、所謂渡政勞働者農民葬ト云フ名ヲ以テ、全國的ニ極メテ急激ナル威力運動ヲ決行致サウト致シマシテ、色々ノ指令或ハ檄等ヲ發シマシテ、著々其準備ノ歩ヲ進メツ、アリマシタノデアリマスカラ、斯ノ如キ不穩過激ノ計畫ニ對シマシテ、斯ノ如キ不穩過激ノ計畫ニ對シマシテ、色ニノ威運動ヲ決行致サウト致シマシテ、色ニノ殺致シマシタ所ノ日本共產黨領袖渡邊政之輔ナル者ノ爲ニ、所謂渡政勞働者農民葬ト云フ名ヲ以テ、全國的ニ極メテ急激ナル威力運動ヲ決行致サウト致シマシテ、色ニノ殺致シマシタ所ノ日本共產黨領袖渡邊政之輔ナル者ノ爲ニ、所謂渡政勞働者農民葬ト呼フ者アリ極メテ嚴肅ナル意味ヲ以テ、當議場ニ於テ政府ニ對スル御質問デアリマス、友ヲ思フノ至情極メテ熱烈ナル者ニ非ザレバ、斯ノ如キ御質問ガアル筈モナインデゴザイマス、御尋ノ要點ハ四箇條ニアリマスカ、第一ハ、山本代議士ノ葬儀ニ付テ警察官、第二ハ、山本代議士ニ御質問ハズ、逆襲的呐喊行動ニ出デ、指揮者ノ命ニ服從シテ勇敢ナルノ自衛團ヲ指揮シテ元威運動ヲ實行スルコト、三、市威運動ノ際ハ反對團體ニ對スルト官憲ニ對スルト問ハズ、逆襲的呐喊行動ニ出デ、指揮者ノ命ニ服從シテ勇敢ナルノ自衛團ヲ指揮シテ元威運動ヲ實行スルコト、二、全國各地ニ於テハ大工場其他ニ「ストライキ」ヲ決行セシメ、右ノ自衛團ヲ組織セシメ、團員ヲ軍隊的規律ノ下ニ訓練ヲ行ヒ、其指導下ニ一大元威運動ヲ決行スルコト、二、全國各地ニ於テハ大工場其他ニ「ストライキ」ヲ決行セシメ、右ノ自衛團ヲ組織セシメ、團員ヲ軍隊的規律ノ下ニ訓練ヲ行ヒ、其指導下ニ一大元威運動ヲ決行スルコト、三、市威運動ノ際ハ反對團體ニ對スルコト、四、無產者新聞ノ第二百十一號ニ斯様ナ記事ヲ掲テアル、總チ是ハ其要點ダケヲ申上げルノデアリマス、一、革命的勞働者農民ハ渡政勞働祭ヲ機会トシテ、最モ嚴格ナル規律ノ下ニ絶對ニ官憲ノ手ノ届カヌ非合

フコトハ、正ニ當然ノ次第デ職司上已ムヲ得ザル結果ニ出ヅルモノデアルト云フコトニ、御諒承ヲ得チケレバナラヌノデアリマス（拍手）當日ノ事ニ付テハ、京都府知事ヨリ報告ガ參ッテ居ルノデアリマス、即チ葬儀ノ當日午前九時三十分ニ、遺族其他ガ遺骨ヲ捧ゲテ宇治ノ驛ヲ發シ、十時三十分京都驛ニ著シ、約百五十名位ノ出迎ヲ受ケ、十六七臺ノ自動車ヲ連ネテ

〔川原議長席ヲ退キ清瀬副議長代リ著席〕
三條基督教青年會館ニ參リ、此葬儀ヲ開催セラレタノデアルガ、葬儀ハ比較的平穏ニ行ハレタノデアリマスガ、併ナガラ山本宣治君ノ宅ヨリ宇治驛ニ到ルマデノ間ニ於キマシテ、所謂前衛隊ト稱スルモノガ、腕ヲ組ンデ行列ニ附纏ウテ威儀的行動ニ出デ、其行列ヲ亂サントスルガ如キ行動ニ出デ、又前夜來祕密本部ニ在リタル所ノ學生等ダ、葬式ヲ「デモンストレー・ション」ニ變ヘルト云フ「ビラ」ヲ造リマシタモノヲ發見ヲ致シ、又出發前驛ニ於テハ革命ノ歌ヲ唱ヘルト云フヤウナコトノ報告ヲモ聞込ンダノデアル、之ガ爲ニ公安ヲ紊ルノ虞レアルコトヲ感ジタルガ爲メ、帝大ノ學生柴田義夫外同學生四名、三高ノ生徒阪野敏郎外九名ヲ檢舉致シタ、又京都驛ニ於テ遺骨ノ後ヲ追行シテ示威的運動ヲシヤウトシタ所ノ學生二三名ヲ檢束シタ、又労働者等ニシテ公安ヲ害スル虞アリト認メタ者、之ヲ若干檢束ヲ致シタ、累計四十名ノ人ヲ檢束ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、斯ノ如ク此前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ附添フテ示威的行動ニ出タ、之ヲ警察ガ取締ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フト、其前ニ發行致シマシタ所ノ斯ウ云フ宣傳「ビラ」ガアッタノデアル、即チ十五日前十時京都驛ニ腕ヲ組ンデ押寄セロ!! 山宣勞働者農民葬ヲ死ヲ賭シテ守レ!! 云々ト、是ハ可ナリ長宣傳文デアリマスガ、讀上ダマスレバ相當諸君ノ御注意ヲ煩ス利益モアラウカト思ヒマスケレドモ、直接御答ニ必要ナコトデモアリマス

セヌカラ略シマスルガ、要スルニ宇治驛ニ於テ前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ付添フテ來タ、是ガ一度此宣傳ビラノ宣傳致シテ居ル文句ト相符合スル點デアリマスルカラ、此點ニ鑑ミマシテ警察トシテハ、相當ノ取締ヲ加ヘタ次第デアルノデアリマス、決シテ必要ガ無イノニ山本代議士ノ葬儀、極メテ嚴肅ナルベキ葬儀ニ對シテ、殊更敬虔ノ念ヲ缺クガ如キ舉動ヲ致サウト云フ次第デハナイノデアルト云フコトダケハ御諒解ヲ得タイノデアリマス、又基督教青年會館ニ於テ臨監ノ警察官が極メテ狭イ所ノ式壇ヲ汚シタト云フヤウナ御話モゴザイマシタガ、決シテ左様ナ事實ハ無イノデゴザイマシテ、臨監ノ警察官ハ花輪ノ蔭ニ隠レテ臨監ノ警察官が極メテ狭イ所ノ式壇ヲ汚シタト云フヤウナコトヲ致シタナラバ、或ハ宣カタマモ知ラント私ハ思ヒマス、思ヒマスルガ、アレヲ禁止シナインガ不都合ダト云フ譯ニ書課ニ於ケル檢閱係ノ者ガアノ新聞ヲ當時ハ發賣頒布ヲ差止メ或ハ禁止ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトヲ致シタナラバ、或ハ宣カタマシテハナイノデアリマスガ、警視廳當局ハ斷ジテ正當防衛云々ノ話ヲ新聞記者ニ向テ致シタ事實ハナインノデアリマス、是ハ決シテ嘘イタノデアリマスガ、第三ニハ、警視廳當局ガ正當防衛云々ノ事ヲ新聞ニ發表シタト云フ御咎デアリマスケレドモ、是ハ過日モ委員會ニ於キマシテ、淺原サンニ御答ヲ致シテ嘘ニ致シテ居ルタクト云フ報告ニナツテ居ルノデゴザイマス、其他警察官が弔辭トカ弔電トカノ檢閱ヲ致シマシテ甚ダ非常識ナル檢閱ヲ致シタ、即チ横死ト云フヤウナ文字ヲ削レトカ、其他之ニ類スル所ノ甚ダ無意味ナル中止ナドヲ致シタト云フコトニ付テ御咎ガアリマシタケレドモ、只今淺原サンノ仰報告ニナツタトハ思ハヌノデアリマスカラ、セニナリマシタ、又御讀上ニナリマシタ所ノ電文等ヲ拜見致シマシテ、是ハ實ニ淺原君が事實ニアラザルコトヲ當壇上ニ於テ御ガアリマシタケレドモ、只今淺原サンノ仰報告ニナツタトハ思ハヌノデアリマスカラ、セニナリマシテ、尚ホ警察當局ニ向テ相當調査ヲ加ヘマシタ上、改メテ淺原君ニ御答ヲニ恩ハル、點モ必ズシモ無キニアラズト思フノデアリマスルニヨリ、此點ハ私ノ職責ヲ害スル虞アリト認メタ者、之ヲ若干檢束ヲ致シタ、累計四十名ノ人ヲ檢束ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、斯ノ如ク此前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ附添フテ示威的行動ニ出タ、之ヲ警察ガ取締ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フト、其前ニ發行致シマシタ所ノ斯ウ云フ宣傳「ビラ」ガアッタノデアル、即チ十五日前十時京都驛ニ腕ヲ組ンデ押寄セロ!! 山宣勞働者農民葬ヲ死ヲ賭シテ守レ!! 云々ト、是ハ可ナリ長宣傳文デアリマスガ、讀上ダマスレバ相當諸君ノ御注意ヲ煩ス利益モアラウカト思ヒマスケレドモ、直接御答ニ必要ナコトデモアリマス

セヌカラ略シマスルガ、要スルニ宇治驛ニ於テ前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ付添フテ來タ、是ガ一度此宣傳ビラノ宣傳致シテ居ル文句ト相符合スル點デアリマスルカラ、此點ニ鑑ミマシテ警察トシテハ、相當ノ取締ヲ加ヘマシタ、處ガ正當防衛デハアリマス、即チ當日特別検査課長有松氏ノ處へ新規記者ガ參リマシテ、アノ事件ハ正當防衛デハナラスト云フコトデ、之ヲ明ニ記事ヲ差止メテ置イタ所ノ用意モアタノデアリマス、即チ當日特別検査課長有松氏ノ處へ新規記者ヲセザルノミナラズ、左様ナ間違ガアリマス、即チ横死ト云フヤウナ文字ヲ削レトカ、其他之ニ類スル所ノ甚ダ無意味ナル中止ナドヲ致シタト云フコトニ付テ御咎ガアリマシタケレドモ、只今淺原サンノ仰報告ニナツタトハ思ハヌノデアリマスカラ、セニナリマシテ、尚ホ警察當局ニ向テ相當調査ヲ加ヘマシタ上、改メテ淺原君ニ御答ヲニ恩ハル、點モ必ズシモ無キニアラズト思フノデアリマスルニヨリ、此點ハ私ノ職責ヲ害スル虞アリト認メタ者、之ヲ若干檢束ヲ致シタ、累計四十名ノ人ヲ檢束ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、斯ノ如ク此前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ附添フテ示威的行動ニ出タ、之ヲ警察ガ取締ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フト、其前ニ發行致シマシタ所ノ斯ウ云フ宣傳「ビラ」ガアッタノデアル、即チ十五日前十時京都驛ニ腕ヲ組ンデ押寄セロ!! 山宣勞働者農民葬ヲ死ヲ賭シテ守レ!! 云々ト、是ハ可ナリ長宣傳文デアリマスガ、讀上ダマスレバ相當諸君ノ御注意ヲ煩ス利益モアラウカト思ヒマスケレドモ、直接御答ニ必要ナコトデモアリマス

セヌカラ略シマスルガ、要スルニ宇治驛ニ於テ前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ付添フテ來タ、是ガ一度此宣傳ビラノ宣傳致シテ居ル文句ト相符合スル點デアリマスルカラ、此點ニ鑑ミマシテ警察トシテハ、相當ノ取締ヲ加ヘマシタ、處ガ正當防衛デハアリマス、即チ當日特別検査課長有松氏ノ處へ新規記者ヲセザルノミナラズ、左様ナ間違ガアリマス、即チ横死ト云フヤウナ文字ヲ削レトカ、其他之ニ類スル所ノ甚ダ無意味ナル中止ナドヲ致シタト云フコトニ付テ御咎ガアリマシタケレドモ、只今淺原サンノ仰報告ニナツタトハ思ハヌノデアリマスカラ、セニナリマシテ、尚ホ警察當局ニ向テ相當調査ヲ加ヘマシタ上、改メテ淺原君ニ御答ヲニ恩ハル、點モ必ズシモ無キニアラズト思フノデアリマスルニヨリ、此點ハ私ノ職責ヲ害スル虞アリト認メタ者、之ヲ若干檢束ヲ致シタ、累計四十名ノ人ヲ檢束ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、斯ノ如ク此前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ付添フテ示威的行動ニ出タ、之ヲ警察ガ取締ヲ致シタト云フ報告ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フト、其前ニ發行致シマシタ所ノ斯ウ云フ宣傳「ビラ」ガアッタノデアル、即チ十五日前十時京都驛ニ腕ヲ組ンデ押寄セロ!! 山宣勞働者農民葬ヲ死ヲ賭シテ守レ!! 云々ト、是ハ可ナリ長宣傳文デアリマスガ、讀上ダマスレバ相當諸君ノ御注意ヲ煩ス利益モアラウカト思ヒマスケレドモ、直接御答ニ必要ナコトデモアリマス

セヌカラ略シマスルガ、要スルニ宇治驛ニ於テ前衛隊ガ腕ヲ組ンデ行列ニ付添フテ來タ、是ガ一度此宣傳ビラノ宣傳致シテ居ル文句ト相符合スル點デアリマスルカラ、此點ニ鑑ミマシテ警察トシテハ、相當ノ取締ヲ加ヘマシタ、處ガ正當防衛デハアリマス、即チ當日特別検査課長有松氏ノ處へ新規記者ヲセザルノミナラズ、左様ナ間違ガアリマス、即チ横死ト云フヤウナ文字ヲ削レトカ、其他之ニ類スル所ノ甚ダ無意味ナル中止ナドヲ致シタト云フコトニ付テ御咎ガアリマシタケレドモ、只今淺原サンニ御答ヲ致シテ、阿良原君カラ委員會ニ御提供ニナリマス

斯ノ如ク警視廳トシテハ、是等ノ事ニ付キ
マシテハ相當注意ヲ致シテ居ル、即チ正當
防衛云々ト警視廳官憲ガ話ヲシタト云フコ
トデアリマシテハ、他日陪審ニ關シテ或ハ
豫斷ヲ與ヘルト云フヤウナ結果ヲ生ジテ
ハナラスト云フコトニ付テ、周到ナル
用意ヲ致シテ居ルノデアリマス、決シ
テ輕シタ正當防衛云々ト云フヤ
ウナ事ヲ申シタ事實ハナイノデアリマス、又
是ハ事實十分ニ調査ヲ致シタ結果、私ハ確
信ヲ以テ御答ヲ致シ得ルノデアリマス、又
淺原サンノ所謂斬奸狀、事實ハ自決勸告書
デアリマス、此自決勸告書ト云フモノヲ新
聞ニ發表シタル事實モ決シテナイノデアリ
マス、ナイニモ拘ラズ各新聞ガ一樣ニ其
要點五箇條ヲ掲載シテ居ルノハドウカ、是ハ
甚ダ疑フベキ點ガアル、是ハ恐らく新聞
記者ニ警視廳ガ洩シタノデアラウト云フ事
ヲ御想像ニナシテ居ルノデアリマスガ、是ハ
單ナル淺原サンノ御想像デアリマシテ、警
視廳當局ハ決シテ之ヲ發表シタル事實ハナ
イノデアリマス、然ラバ何ガ故ニ之が新聞
ニ出タカ、是ハ洵ニ不思議ナル出來事ノ一
ツデアリマスルケレドモ、警視廳ガ洩シタ
爲ニ出タノデナクシテ、其他ノ理由ガアル
モノト御承知ヲ願ハナケレバナラヌノデア
リマス、又之ガ全文ヲ發表セヨト云フ御話モ
ゴザイマスルガ、是ハ淺原サンノ仰セラレ
ル通り、事豫審中ニ關スルモノノデアリマス
カラ、此處ニ之ヲ發表スルコトハ出來マセ
ヌ、又第四點ノ内務大臣ガ當議場ニ於テ
當日ノ出來事ニ關シテ御報告致シマシタル
デアリマスルガ、兎ニ角其口論ノアッタト云
云ト云フ、此口論、口論トハ即チ喧嘩デア
ルト云フ御話デアリマスケレドモ、口論必
シモ喧嘩デハナイ、口論ハ即チ口論デア
リマス、口争ヒデアル、喧嘩デアル場合モ
アリマセウ、又喧嘩ト云フ程度ニ至ラザル
場合モアリマセウ、ソレハ事實ハ種々様々
デアリマスルガ、兎ニ角其口論ノアッタト云
フコトハ事實デアル、是ハ各種ノ證據、各
種ノ證憑ニ依テソレヲ判斷シ得ルノデアリ
マス、即チ口論ハアッタノデアル、口論ノ未

児行ガアツタ、是モ正ニ事實デアリマス、事實ヲ事實トシテ報告ヲ受ケタ内務大臣ハ、極メテ平明ニ、率直ニ、當議場ニ御報告ヲ致シタノテアル、之ガ將來或ハ豫審判事ノ豫斷ヲ制シヤウト云フ事、或ハ陪審ノ場合ニ於テ陪審員ノ豫斷ヲ制シヤウト云フヤウナ、左様ナ考ヲ以テ内務大臣ハ御報告致シニ罹ラレタ、逸早ク取敢ズ事實ヲ報告スベキコトハ内務大臣トシテハ其義務デアルト云フコトニ考ヘマシテ、率直ニ平明ニ事實ヲ當議場ニ御報告致シタノデアリマシテ、其處ニ何等不純ナル動機ハナインデアリマス、有ノ儘ニ御報告致シタ、隨テ口論ノアントタト云フ事モ事實、児行ノアツタト云フ事モ事實デアリマスカラ、其事實ヲ有ノ儘ニ茲ニ御報告致シタニ過ギマセヌ、隨テ今淺原サンガ口論ト児行トノ間ニ何カ關係ガアルカノ如キ意味合ニナルノデハナイカト云フ、極メテ煎ジ詰メタ御話ガアリマシタニ至テハ、私ハ却テ是ハ迷惑ニ存スルノデアリマスルカ故ニ、先日或ル委員會ノ席上ニ於テ、此點ニ付キ淺原サンノ御質問ガアリマシタ場合ニ、只今ノ此口論ト児行トノ間ニハ決シテ因果關係ヲ想像セシムルト云フヤウナ意味合ヲ以テ内務大臣ハ報告致シタモノデハアリマセヌト、ハッキリ申上ゲテ置イタノデアリマス、サウシテ茲ニ率直ニ取消ヲセヨト云フ御詰デアリマスルケレドモ、必シモ取消ラヌルニハ及バスト思フ、此意味合ヲ極メテ明瞭ニ申上ゲタナラバ、ソレデ當議場ノ御了解ヲ得、隨テ總テノ國民ノ御了解ヲ得ルニ於テ何等私ハ差支ナイモノト思フノデアリマス（拍手）隨テ私ハ折角ノ御要求テアリマスルケレドモ、事實ヲ茲ニ釋明スルノ程度ニ止メテ、之ガ取消ヲ致スコトハ致サヌ積リデアリマス、大體御質問ニナリマシタ四箇條ニ付テ御答ヲ致シタ積リデアリマスルガ、尙本足リマセヌ點カゴザイマシタナラバ、重ネテ御質問ニ接シマシテ御答ヲ致シタイト存ジマス

報告書ニ依テ仰シヤラレタノデアル、花環ノ蔭シテ居ル、ソレハ私ノ方デ言シタノデアル、恐らく大阪ノ毎日朝日ノ京都版ノ寫眞版ヲ見レバ、花環ノ蔭デハイ、花環ノ前ニ何トカ云フ警部ガ柄ヲ握リテ立ツテ居ル姿ガ載シテ居ル筈デアル、故ニソレハ報告ノ違デアリマス、由來政務官ノ御答辯ハ、事務官ノ報告ガアレバ、ソレフ全科玉條ニシテ御答辯ナサレル、サウシテ議場ニ於ケル議員ノ質問ハ之ヲ一蹴シテ、自己ノ部下ノ報告ハ總デヲ眞實ナリトシテ御答辯ナサル癖カラアル、是ハ間違テ居ルト思フ、私ガ嘘ヲ言テ居ルカ、京都府特高課ノ報告ガ嘘デアルカ、秋田サンハ現状ニ御臨ミニナラナカッタガ故ニ、其報告ヲ眞情トシテ今處ニ御答辯ナサルコトハ、餘リニ事實ニ反シテ居ル、花環ノ蔭デハアリマセス、花環ノ前デアリマス、花環ノ蔭デ佩劍モ見エズ、顔モ見ヘズ、靜ニ中止サレルナラバ、又何ヲカ言ハニヤデアリマス、サウデナクシテ、雪前ニ立ツテ中止ヲヤルト云フコトハ、無禮デアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、貴方ハ之ヲ御覽ニナッテ居ナイト云フ競輪時ガアルゾ、今日ノ無産運動ヲ抑壓スルニハ幹部中樞ヲ斃サナケレバナラヌ、其處分方法ハ何ゾヤト言ヘバ、即チ無産運動ハ幹部中樞ノ人物ヲ殺サナケレバ駄目タト云テ書イテアル、此新聞ヲマダ此位デハ發禁アリマス、即チ是程明瞭ナモノガ發禁ニナラナイト云フナラバ、發禁二十ル記事ハ火焼リトデモ書カナケレバ發禁ニ爲サラナイノデアルカ、疎トデモ書カナケレバ發禁ニナ

爲サラナインデアルカ、明瞭ニ斬ルト稱シ、
刺スト稱シ、殺スト稱シテ居ルノヲ見ナイ
カラト仰シヤルガ、私ハ委員會ノ後ニ御覽ニ
ナッタコトデアラウ、斯ウ申上ダテ居ルノデア
リマス、委員會以前ニ御覽ニナッタコトガアル
ト申上ダテ居ルノデハナイノデアリマスアノ
質問後ニ恐ラク御覽ニナッタ故ニ、不穩當ダ
リマスレバ、ソレハ秋田サンノ正義感ト私
ノ正義感ト違フノデアリマスカラ、是以上
ソレヲ秋田サンハノ位ノ程度デハ發禁ニ
ナラナインガ當然デアルト云フ御答辯ニアリ
マスレバ、ソレハ秋田サンノ正義感ト私
ノ正義感ト違フノデアリマスカラ、是以上
追窮シテ質問スル必要モナイノデアリマ
ス、第三ノ警視廳當局ノ所謂自決勸告書ノ
内容ヲ發表シタルコトナシ、アレハ新聞紙ガ
何等カノ方法ニ依テ發見シタノデアリ、想
像シタノデアラウト云フ御答辯ニアリマ
ス、是ハ委員會ニ於ケル御答辯ト同ジモノ
デアリマシテ、言葉ハ鄭重デアリ、言廻ハ
シハ巧妙デアルケレドモ、秋田サンノ御答
辯ニ一抹ノ誠意モナイ、唯旨ク答辯ヲ言廻
ハシテ、警視廳當局ノ落度ヲ庇護爲サルコ
トハ歴然タルモノデアル、私ハソレニ對シ
何ボ聲ヲ大ニシテ御尋シテモ無駄デアリマ
ス、故ニ其點モ御尋致シマセヌ、第四ノ口
論ハ…（冷靜ニヤレ」ト呼フ者アリ）冷靜
ナンデアリマス

○副議長(清瀬一郎君)　内務次官ノ御答辯ノ一
節ニ、口論ハ口論デアッテ、必シモ鬭争、喧嘩ノ意味ヲ含ムモノデナイト云フ再度ノ御
説明デアリマス、私ハソレモ秋田サント根
本的ニ見解ヲ異ニ致シマス、故ニ以上三點
ハ御尋致シマセヌ、唯、第一ノオ母サント
奥サント子供ニ依テ衛ラレタ葬儀ニ對スル
態度デアリマス、而モ二十五名ハ花屋敷ノ中
自宅カラ警備トシテ出で行クノデアリマ
ス——若シソレガ不穩當デアツタナラバ、花
屋敷ノ自宅ニ於テ葬列ニ參加スルコトヲ中
止ナセバ宜カタノデアル、今秋田サンノ
御説明ニ依レバ、途中カラ這入ラモノデ
アルカノ如ク仰シヤテ居ルノデアリマス
ケレドモ

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君)　静肅ニナサイ

○浅原健三君(續)　併シ途中カラ參加シタ
ノデハナイノデアリマス、花屋敷ノ自宅カラ
一縁ニ行クテ居ルノデアリマス、前以テ何
ガ故ニ検束ナサラナカッタコトヲ御尋致シテ居ルノデアリマス、第一ノ點ニ
對スルコトダケモウ一遍明瞭ニ御答辯ヲ御
願致シマス

○副議長(清瀬一郎君)　静肅ニ願ヒマ
ス——静肅ニ願ヒマス

〔議長不公平ダト呼ヒ其他發言スル
者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君)　静肅ニ願ヒマ
ス——静肅ニ願ヒマス——小保君、注意シ
マス

○政府委員(秋田清君)(續)　淺原代議士ガ
國和君トニハ退場ヲ命ジマス——静肅ニ願
ヒマス

三、第四ニ付テハ、重ネテ答辯ヲ要シナイ
ト云フ御詫アル、唯第一點ノ葬儀ニ對シ
テ警察ガ取締ヲ加ヘマシタル一點ニ局限シ
テ、再度御質疑ダアノタノデアリマス、隨テ
私モ此點ニ限、テ御答ヲ申上ダマス、警察ガ
葬儀ニ對シテ相當警戒ヲ致シマシタル所ノ事
情ハ、先刻申上ダマシタ通りデアリマス、
尙ホ私ハ先刻ハ讀上ダマセナカツタガ、葬儀
ガ花屋敷ヲ出テ宇治驛ヘ達シマシタル際、
「ビラ」ヲ盛ニ、アノ京都市ノ附近及阪神方
面ニ撒布致シマシタル事實トヲ照シ合セマ
シテ、警察ガ相當ノ警戒ヲ加ヘルコトノ餘
儀十カツタ云フコトニ御了解ヲ得タ
思フノデアリマス、隨テ今モウ一度、先刻
ハ讀ミマセナカツタケレドモ之ヲ讀ミマス、
山宣勞働者農民葬實行委員會ト云フ名前
デ以テ撒布シタ所ノ宣傳「ビラ」デアリマス
「十五日午前十時京都驛ニ腕ヲクンデ押シ
ヨセロ、山宣勞働者農民葬ヲ死ヲ賭シテ守
レ、五日反動恐怖政治ノ犠牲トナツテ児凡
倒レタ我等ノ代議士山宣ノ勞働者農民葬ハ
十五日三條青年會館デ決行スル、遺骨ハ午
前十時京都驛ニ著ク、ワガ戰鬪的勞働者農
民諸君ハ同時刻マニ驛前廣場ニ大舉シテ迎
ヘヨ、而シテ遺骨ヲ守ニテ青年會館マニ「デ
モ」ダ、時アタカモ三月十五日、ワレラノ
憶出深キ復讐ノ日ダ、憶ヘ昨年ノ三月十五
日事件ヲ、一年前數千ノ勞働者農民ノ前衛
ヲ奪ハレタ日、輝ケル指導者ノ逝ケル日、
コノ意義深キ日ニワレラノ勞働者農民葬
ダ、全戰鬪的勞働者農民諸君ハ勞働者農民
葬ヲ死ヲ以テ守レ、鬪争ヲ以テ山宣ヲ中ヘ
ヲ奪ハレタ日、輝ケル指導者ノ逝ケル日、
ノタタキツブセ、山宣勞働者農民葬實行委
員會、責任者早川忠孝」云々ト云フ、此宣
傳「ビラ」ヲ盛ニ撒布致シタノデアリマス、
此宣傳「ビラ」ノ中ニ腕ヲ組ンデ押寄セロト
云フコトガ嬖頭ニ掲ゲテアリマスガ、之ニ
相應ズルヤウニ、其葬儀ノ場合ニ腕ヲ組ン
デ前衛家ト再シテ葬列ヲ亂シテ將ニ春

事ヲ慧起サンカノ如キ虞アル舉動ダアツタ
ト云フコトガ事實デアルノデアリマス、達
原君ハ私ガ唯警察官ノ報生ヲ、鷄鶴返シニ當
議場ニ於テ述ベルト云フコトヲ御非難ニ當
成リマスケレドモ、責任ヲ持ツ所ノ當局ト
致シマシテ、其責任ヲ持ツテ居リマス所ノ
部下ノ報告ヲ信ゼズシテ、何ヲ根據ニ當議場
ニ責任ヲ持ツテノ御答辯ガ出來ルテアリマス、達
セウカ（拍手）責任アル部下ノ報告ヲ信ゼ
ズ、漫然當議場ニ罷出テ、當壇上ニ立チマ
シタナラバ、漫然無意味ノ報告ヲ致シ、答
辯ヲ致スヨリ外ニ何モヤリヤウガナイ、私
ハ私ノ信ズル大海原京都府知事ノ責任アル
答辯ヲ基礎トシテ御答ヲ申上ゲルト云フコ
トハ、是ハ止ムヲ得ナイノデアリマス、斯
様ナ次第デゴザイマシテ、當日頗ル危險ナ
ル狀態ガアリマシタガ爲ニ、之ニ向シテ相當
警察トシテ取締ヲ加ヘルト云フコトハ、泡
ニ止ムヲ得ナカツノデアリマス、此止ムヲ
得又取締ノ結果ト致シマシテ、立場ヲ異ニ
スル淺原氏ガ、恰モ警察當局ガ山本君ノ死
ニ對シテ敬虔ノ念ヲ缺キ、葬儀ニ向シテ侮辱
ヲ加ヘタガ如キ御感想ヲ起サレタト云フコ
トハ、淺原君トシテハ蓋シ止ムヲ得ザルヨ
トデアルカハ知リマセケレドモ、當局ト
シテ決シテ此山本代議士ノ死ニ對シテ侮辱
ヲ加フルガ如キ意味ヲ以テシタモノハナ
クシテ、當然取締ヲ爲スベキ警察上ノ必要
止ムヲ得又手段ノ結果デアルト云フコトニ
御詒承ヲ願ヒタイノデアリマス（拍手）其他
人民新聞ノ點、及正當防衛トカ、或口論
ノ點云々ト云フコトニ付テ、批評的ノ御話
ハゴザイマシタガ、重ネテ質問ハ致サヌト
云フ御話デアリマスカラ、強テ私ハ爭フ好
ミマセヌノデ、冒頭、申上ダタル通り御答
辯ハ省略致シテ置キマス（拍手）
○原惣兵衛君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ
提出致シマス、即チ此際日程ヲ變更シ、政
府提出製鹽地整理ニ關スル法律案ヲ議題ト
爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メ
ラレンコトヲ望ミマス
○副議長（清瀬一郎君） 原君ノ動議ニ御異

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ

マス、仍テ日程ハ變更サレマシタ——此際

議長ヨリ一言辯明致シマス、議長ハ退場ハ

成ベク命ジナイ方針デアッタノデアリマス、

議員ノ審議權ヲ奪ヒマス、然ルニ先刻ハ問

題ノ性質上、如何ニモ議場ノ嚴肅ヲ要スル

場合ト考ヘマシタ、仍テ津雲君、西方君ニ

遺憾ナカラ退場ヲ命ジタノデアリマス、此

際入場ヲ許シマス——製鹽地整理ニ關スル

法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長

ノ報告ヲ求メマス——委員長吉木陽君

製鹽地整理ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一製鹽地整理ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於て別紙ノ通修正スヘキモノ

ト議決致候此段及報告候也

昭和四年三月十八日

委員長 吉木 陽

〔別紙〕

衆議院議長川原茂輔殿

希望條項

一政府ハ今回整理スヘキ製鹽地ノ選擇決

定ニ際シテハ單ニ其ノ生産能率ノ良否

ノミニ準據セス特ニ整理ニ依リ生スル

失職者ノ轉業ノ難易、整理後ノ土地ノ利

用關係及其地方ノ盛衰消長ニ對スル

關係等ヲ深く考慮シ社會政策的見地ニ

立脚シテ取捨シキヲ得ムコトニ特ニ

留意セラレムコトヲ望ム

一本案ハ鹽制上並食糧問題對策上未タ充

分ナラサルモノアリ依テ政府ハ向後尙

供給消費ノ兩方面ヨリ徹底的考究ヲ遂

ケ以テ我カ鹽制ノ根本策ヲ確立セラレ

ムコトヲ望ム

空氣ニ非常ニ溫度ヲ多イト云ア爲ニ、自ラ

ニ於キマシテハ、四回委員會ヲ開催致シマ

シテ、御熱心ニ質問應答ガアッタノデアリマ

ス、是等ノ詳シヨトハ速記錄ニ於テ御了

解ヲ得タイト恩フノデアリマス、私ハ其重

要ナル部分ヲ極メテ簡單ニ御説明申上ゲル

ニ止メタイト思フノデアリマス、鹽ノ專賣

制度ハ、明治三十七八年ノ當時國費ガ多端

デアリマシタ爲ニ、國費ノ財源ヲ得ルト云

フコトガツノ目的デアリ、又當時内地ノ

製鹽ガ衰退ニ傾カントシテ居ツタノデ、其製

鹽ニ保護ヲシ、鹽ノ價格、數量等ノ調節ヲ

スルト云フヤウナ目的デ、專賣制度ト云フ

モノガ始メラレタモノデアリマス、然ルニ

其後大正七年ノ頃ニナリマシテ、或ハ勞働

賃銀デアルトカ、或ハ單價ト云フヤウナモ

ノガ非常ニ暴騰致シマシタガ爲ニ、内地ノ

製鹽ノ費用ヲ非常ニ要スルコト、ナリマシ

タ、隨テ賠償價格モ非常ニ高メナケレバナ

ラヌコトニナリマシテ、從來ノ所謂收益主

義ト云フモノヲ放棄シナケレバナラヌヤウ

十狀態ニ相成タノデアリマス、然ルニ

リ、鹽ハ生活ノ必需品アリマスルカラ、

諸物價ガ暴騰シタニ相應ジテ鹽ノ價格ヲ高

メルコトハ、事情之ヲ許シマセヌ爲ニ、收

益主義ト云フモノヲ放棄シテ、唯專賣事業

ハ内地製鹽ノ維持改善及配給ノ圓滑價格

ノ低廉、統一等ヲバ圖ラナケレバナラヌト云

フヤウナコトニ、其目的ガ自ラ變更サレルコ

トニ相成タノデアリマス、斯ウ云フ變更ガ

アリマシタカラ、質問應答ニ於キマシテヘ

鹽專賣ニ對スル根本ノ御議論ガ盛ニ行ハレ

タノデアリマス、即チ鹽專賣ト云フモノヲ

此儘繼續シテ行カナケレバナラヌモノニア

リマシタカラ、或ハ鹽ヲ管理スルト云フヤウナ方

法デハ旨ク行カナイノデアル、又關稅ノ方

法等ニ依テ内地ノ製鹽ヲ保護シテ行クト云

フヤウナ方法ハドウデアルカ、又自由ノ競

争ニ委シテ置イタラドウデアラウカト云フ

ヤウナ意味合ノ質問ガアリマシタ、而シテ

政府ノ御答辯ニ依ルト、日本内地ノ製鹽ハ

東州方面ノ鹽ヨリモ其經費ヲ多額ニ要ス

ルト云フヤウナ狀態ニナシテ居ル、殊ニ亞弗

利加方面ニ出來ル所ノ天然鹽ニ比シテハ、

到底其價格ニ於テ競爭スルヤウナ譯ニハ參

テアラウト云フコトデアリマシタ、更ニ

ラヌ狀態ニアル、而モ之ヲ自由ノ競爭ニ委

シテ置イタナラバ、内地ノ製鹽ハ勿論、關

東州ニ於ケル所ノ製鹽モ遂ニ廢滅ニ歸スル

デアラウト云フコトデアリマシタ、關東州方面カラ原料

鹽トシテ得ルモノハ、内地ニ於テ一圓二錢

シテモ危險デアルガ故ニ、ドウシテモ内地ニ

利加方面迄ニ近キ將來ニ於テハ進メテ行ク

コトガ出來ルト云フコトデアリマシタ、更ニ

原料鹽ニ付テ考ヘマスト、内地ニ於テ製ス

ル鹽ハ、矢張原料鹽ニシテモ二圓八十錢ヲ

トニテアラウト云フヤウナ譯ニハ參

テアラウト云フコトデアリマシテニアル

シテ置イタナラバ、生活ノ必需品デアル

所ノ鹽ヲ亞弗利加、其他ノ外國ノ供給ニ仰

グコトハ、是ハ一旦緩急ノアル場合ヲ考慮

シテモ危險デアルガ故ニ、ドウシテモ内地ニ

及關東州ニ於テ此鹽ヲ得ルト云フヤウナコ

トニナラナケレバ、ナラヌト云フ意味合カ

ラ、之ヲ自由競爭ニ任ズルコトハ、絕對ニ

出來ナイト云フヤウナ御話デアッタノデア

リマス、ソコデ關東州ノ鹽ト、内地ノ鹽ノ生

產費ノ割合ハドウ云フヤウニナシテ居ルカ、

斯ウ云フ意味ノ質問ニ對シマシテ、内地ニ

於ケル鹽ハ、其需要ノ方面カラ考ヘルト、

之ヲ二通りニ分ケテ考ヘナラヌト云フ

コトデアリマシタ、而シテ飲食品トシテノ

デアリマス、一ソハ、食料品トシテノ鹽、

一ソハ味噌醬油等ノ原料品トシテノ鹽、此

二通りニ分ケテ考ヘナラヌト云フ

コトデアリマシタ、而シテ飲食品トシテノ

鹽ハ、内地ノ生產費ハ、其平均價格ガ百斤

一千五百斤出來ル所ノ鹽田ヲ、一千五百斤

萬斤得テ居ルノガ現在ノ狀態デアリマス

アリマス、而シテ現ニ内地ニ製造シテ居ルモノ

鹽トシテ得ルモノハ、關東州ノ鹽ニ比シマスレ

バ二倍以上ノ高價ナモノニ相成ル譯デア

リマス、ソコデ關東州ノ鹽ト、内地ノ鹽ノ需要ノ

要スルノデアリマス、關東州方面カラ原料

鹽トシテ得ルモノハ、關東州ノ鹽ニ比シマスレ

バ二倍以上ノ高價ナモノニ相成ル譯デア

リマス、ソコデ關東州ノ鹽ト、内地ニ於ケル鹽

ノ支ヘテ居ル、斯ウ云フ狀態ニナシテ居ルモノ

ノデアリマス、サウ云フ狀態ニナシテ居ルモノ

ガ十億五千万斤、關東州方面カラ四億五千

萬斤得テ居ルノガ現在ノ狀態デアリマス、

一億五千万斤ダケハ内地製品ニ依テ、原料

料ノ支ヘテ居ル、斯ウ云フ狀態ニナシテ居ルモノ

ノデアリマス、サウ云フ狀態ニナシテ居ルモノ

シテモ自然又量ガ増シテ來ル、サウ云フ場合ニハ、現在整理致シタ鹽田ヲ再ビ鹽田ニシナケレバナラヌ必要モ生ジハシナイカト云フ意味、御尋モアタノデアリマス、之ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ、現在ノ九億万斤ダケニ整理致シテ置クナラバ、是等ノ鹽田ニ改良ヲ加ヘ、其煎熬方法等ニモ進歩改良ヲ加ヘタナラバ、向フ二三十箇年間ハ日本ノ人口増殖ニ對シテ、食用鹽ヲ供給スルニハ十分デアルト云フ御答辯デアッタノデアリマス、更ニソレデハ其整理ノ方法ハドウ云フ風ニ爲サルノデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ於テハ、現在日本ノ鹽田ニ於キマシテ、一段歩當リノ平均ガ十八万三千斤出來テ居ルサウデアリマス、此平均十八万三千斤以下ノ鹽田全部ヲ調べテ見マシタ所ガ、二千八百町歩アルサウデアリマス、ソコデ、十州鹽田ニ於キマシテハ、更ニ是ヨリ一万斤程生産ガ低イ、十七万斤以下ノ鹽田ヲ調查致シマシテ、結局二千三百町歩ヲ整理スベキ鹽田トシテ選り出シテ、其中一千町歩ヲ更ニ選り出スコトニスルト云フ御詰デアリマシタ、是ニ於テカ質問者ノ方ニ於キマシテハ、鹽田ハ最近ニ出來タモノデナク、封建時代カラ古イ歴史ノアルモノデアッテ、其從業者等モ、親モ子モ此業ニ從事シテ居ルト云フ關係ニアルモノデアリマスカラ、茲デ鹽田ヲ澤山整理スルト云フコトニナックナラバ、勞働者ノ失業者ガ生ジ、是等ガ非常ニ困リハシナイカ、又整理シタ後ノ土地ノ利用ト云フモノガ全然出來ナイ、只今ノ鹽田ガ海ニ變ルト云フコトヲ出来テモ困ル、此點ニ付テモ十分ノ考慮ノ付テ貴ハナケレバナラヌ、又地方ノ產業ノ點ニ付テモ考ヘテ貰ハナケレバナラヌト云フ御詰モアタノデアリマス、之ニ付キマシテモ、政府ニ於キマシテハ、十分ニ此點ヲ考慮致シテ整理スル方針デアルトノ御詰デアリマシタ、更ニ整理ノ金額ハ全體ニ於テ一千三百万圓ヲ要スルノデアリマスガ、其分配ノ關係ハ製鹽業者ニ對スル交付金ガ六十六万圓、土地ニ對スル交付金ガ九百六十萬圓、建物ニ對スル交付金ガ六十五万六

千圓、設備器具機械ニ對スル交付金ガ七十萬圓位ナ割合デ交付スルト云フコトデアッタノデアリマス、政府ニ於ケル原案ハ、製鹽業者ニ對シテ一箇年ノ賠償金額ノ三割ダケヲ拂渡スル、其内一割ハ失業勞働者ニ對シテ製鹽業者カラ拂渡ヲスルト云フコトニ致スト云フノガ、原案デアッタノデアリマス、是モ質問應答ノ結果、一割ト云フコトハ約平均四十五圓位ノモノヲ一人ノ勞働者ニ渡スコトニ當ル、是デハ餘リ少キニ失スルト云フコトデ、之ヲ增加スルト云フ御意見ガアッタノデアリマス、ソコデ此三割ト云フコト更ニ五分ダケ種シテ、三割五分ニ修正シヤウト云フ意見ガ出マシテ、是ハ満場一致ノ贊成ヲ得タ譯デアルノデアリマス、此修正ノ結果ト致シマシテ、第六條ニ對シテ製鹽業者ニ對スル交付金ハ、國債證券ノ額面金額ニ滿タザル端數ノモノハ現金デ交付スルト云フ條項ニ「交付金」ノ下ニ「一部」ト云フ文字ヲ加ヘル修正意見ガ出マシタ、此修正意見ニ對シテハ、各派満場一致デ修正ニ贊成致サレマシタ、其殘餘ノ法律案ハ、之ヲ全部満場一致可決確定サレマシタガ、今申上ゲマシタヤウナ事情デアリマスルノデ、堤君ヨリ左ノ希望條項ノ御意見ガアリマンタ、其希望條項ハ次ノ通りデアリマス、「政府ハ今回整理スヘキ製鹽地ノ選擇決定ニ際シテハ單ニ其生産能率ノ良否ノミニ準據セス特ニ整理ニ依リ生スル失職者ノ轉業ノ難易、整理後ノ土地ノ利用關係及其ノ地方ノ盛衰消長ニ對スル關係等ヲ深ク考慮シ社會政策的見地ニ立脚シテ取捨宜シキヲ得ムコトニ特ニ留意セラレムコトヲ望ム、二、本案ハ鹽制上並食糧問題對策上未タ充分ナラサルモノアリ依テ政府ハ向後尙供給消費ノ兩方面ヨリ徹底的攻撃ヲ遂ケ以テ我カ鹽制ノ根本策ヲ確立セラレムコトヲ望ム」斯ウ云フ希望條項ガ出マシテ、是亦滿場一致決定サレタノデアリマス、更ニ改ム、第六條第二項但書中「交付金」ノ下

ニ「ノ一部」ヲ加フ右ノ通り決定セラレマシタ、ドウゾ滿場御同意アランコトヲ希望シナケレバナラヌ必要モ生ジハシナイカト云フ意味、御尋モアタノデアリマス、之ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ、現在ノ九億万斤ダケニ整理致シテ置クナラバ、是等ノ鹽田ニ改良ヲ加ヘ、其煎熬方法等ニモ進歩改良ヲ加ヘタナラバ、向フ二三十箇年間ハ日本ノ人口増殖ニ對シテ、食用鹽ヲ供給スルニハ十分デアルト云フ御答辯デアッタノデアリマス、更ニソレデハ其整理ノ方法ハドウ云フ風ニ爲サルノデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ於テハ、現在日本ノ鹽田ニ於キマシテ、一段歩當リノ平均ガ十八万三千斤出來テ居ルサウデアリマス、此平均十八万三千斤以下ノ鹽田全部ヲ調べテ見マシタ所ガ、二千八百町歩アルサウデアリマス、ソコデ、十州鹽田ニ於キマシテハ、更ニ是ヨリ一万斤程生産ガ低イ、十七万斤以下ノ鹽田ヲ調查致シマシテ、結局二千三百町歩ヲ整理スベキ鹽田トシテ選り出シテ、其中一千町歩ヲ更ニ選り出スコトニスルト云フ御詰デアリマシタ、是ニ於テカ質問者ノ方ニ於キマシテハ、鹽田ハ最近ニ出來タモノデナク、封建時代カラ古イ歴史ノアルモノデアッテ、其從業者等モ、親モ子モ此業ニ從事シテ居ルト云フ關係ニアルモノデアリマスカラ、茲デ鹽田ヲ澤山整理スルト云フコトニナックナラバ、勞働者ノ失業者ガ生ジ、是等ガ非常ニ困リハシナイカ、又整理シタ後ノ土地ノ利用ト云フモノガ全然出來ナイ、只今ノ鹽田ガ海ニ變ルト云フコトヲ考慮致シテ整理スル方針デアルトノ御詰デアリマス、「政府ハ今回整理スヘキ製鹽地ノ選擇決定ニ際シテハ單ニ其生産能率ノ良否ノミニ準據セス特ニ整理ニ依リ生スル失職者ノ轉業ノ難易、整理後ノ土地ノ利用關係及其ノ地方ノ盛衰消長ニ對スル關係等ヲ深ク考慮シ社會政策的見地ニ立脚シテ取捨宜シキヲ得ムコトニ特ニ留意セラレムコトヲ望ム」斯ウ云フ希望條項ガ出マシテ、是亦滿場一致決定サレタノデアリマス、更ニ改ム、第六條第二項但書中「交付金」ノ下

ニ「ノ一部」ヲ加フ右ノ通り決定セラレマシタ、ドウゾ滿場御同意アランコトヲ希望シナケレバナラヌ必要モ生ジハシナイカト云フ意味、御尋モアタノデアリマス、之ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ、現在ノ九億万斤ダケニ整理致シテ置クナラバ、是等ノ鹽田ニ改良ヲ加ヘ、其煎熬方法等ニモ進歩改良ヲ加ヘタナラバ、向フ二三十箇年間ハ日本ノ人口増殖ニ對シテ、食用鹽ヲ供給スルニハ十分デアルト云フ御答辯デアッタノデアリマス、更ニソレデハ其整理ノ方法ハドウ云フ風ニ爲サルノデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ於テハ、現在日本ノ鹽田ニ於キマシテ、一段歩當リノ平均ガ十八万三千斤出來テ居ルサウデアリマス、此平均十八万三千斤以下ノ鹽田全部ヲ調べテ見マシタ所ガ、二千八百町歩アルサウデアリマス、ソコデ、十州鹽田ニ於キマシテハ、更ニ是ヨリ一万斤程生産ガ低イ、十七万斤以下ノ鹽田ヲ調查致シマシテ、結局二千三百町歩ヲ整理スベキ鹽田トシテ選り出シテ、其中一千町歩ヲ更ニ選り出スコトニスルト云フ御詰デアリマシタ、是ニ於テカ質問者ノ方ニ於キマシテハ、鹽田ハ最近ニ出來タモノデナク、封建時代カラ古イ歴史ノアルモノデアッテ、其從業者等モ、親モ子モ此業ニ從事シテ居ルト云フ關係ニアルモノデアリマスカラ、茲デ鹽田ヲ澤山整理スルト云フコトニナックナラバ、勞働者ノ失業者ガ生ジ、是等ガ非常ニ困リハシナイカ、又整理シタ後ノ土地ノ利用ト云フモノガ全然出來ナイ、只今ノ鹽田ガ海ニ變ルト云フコトヲ考慮致シテ整理スル方針デアルトノ御詰デアリマス、「政府ハ今回整理スヘキ製鹽地ノ選擇決定ニ際シテハ單ニ其生産能率ノ良否ノミニ準據セス特ニ整理ニ依リ生スル失職者ノ轉業ノ難易、整理後ノ土地ノ利用關係及其ノ地方ノ盛衰消長ニ對スル關係等ヲ深ク考慮シ社會政策的見地ニ立脚シテ取捨宜シキヲ得ムコトニ特ニ留意セラレムコトヲ望ム」斯ウ云フ希望條項ガ出マシテ、是亦滿場一致決定サレタノデアリマス、更ニ改ム、第六條第二項但書中「交付金」ノ下ニ「ノ一部」ヲ加フ右ノ通り決定セラレマシタ、ドウゾ滿場御同意アランコトヲ希望シナケレバナラヌ必要モ生ジハシナイカト云フ意味、御尋モアタノデアリマス、之ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ、現在ノ九億万斤ダケニ整理致シテ置クナラバ、是等ノ鹽田ニ改良ヲ加ヘ、其煎熬方法等ニモ進歩改良ヲ加ヘタナラバ、向フ二三十箇年間ハ日本ノ人口増殖ニ對シテ、食用鹽ヲ供給スルニハ十分デアルト云フ御答辯デアッタノデアリマス、更ニソレデハ其整理ノ方法ハドウ云フ風ニ爲サルノデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ニ於テハ、現在日本ノ鹽田ニ於キマシテ、一段歩當リノ平均ガ十八万三千斤出來テ居ルサウデアリマス、此平均十八万三千斤以下ノ鹽田全部ヲ調べテ見マシタ所ガ、二千八百町歩アルサウデアリマス、ソコデ、十州鹽田ニ於キマシテハ、更ニ是ヨリ一万斤程生産ガ低イ、十七万斤以下ノ鹽田ヲ調查致シマシテ、結局二千三百町歩ヲ整理スベキ鹽田トシテ選り出シテ、其中一千町歩ヲ更ニ選り出スコトニスルト云フ御詰デアリマシタ、是ニ於テカ質問者ノ方ニ於キマシテハ、鹽田ハ最近ニ出來タモノデナク、封建時代カラ古イ歴史ノアルモノデアッテ、其從業者等モ、親モ子モ此業ニ從事シテ居ルト云フ關係ニアルモノデアリマスカラ、茲デ鹽田ヲ澤山整理スルト云フコトニナックナラバ、勞働者ノ失業者ガ生ジ、是等ガ非常ニ困リハシナイカ、又整理シタ後ノ土地ノ利用ト云フモノガ全然出來ナイ、只今ノ鹽田ガ海ニ變ルト云フコトヲ考慮致シテ整理スル方針デアルトノ御詰デアリマス、「政府ハ今回整理スヘキ製鹽地ノ選擇決定ニ際シテハ單ニ其生産能率ノ良否ノミニ準據セス特ニ整理ニ依リ生スル失職者ノ轉業ノ難易、整理後ノ土地ノ利用關係及其ノ地方ノ盛衰消長ニ對スル關係等ヲ深ク考慮シ社會政策的見地ニ立脚シテ取捨宜シキヲ得ムコトニ特ニ留意セラレムコトヲ望ム」斯ウ云フ希望條項ガ出マシテ、是亦滿場一致決定サレタノデアリマス、更ニ改ム、第六條第二項但書中「交付金」ノ下

デアリマス、次ニ第一項ノ今回ノ整理ニ付
テデアリマス、整理ニ當リマシテ單ニ生産
能率ノ良否ノミニ依ラズ失職者ノ轉業ノ難
易、整理セラレタ土地ノ利用、土地ノ盛衰
消長ヲ考慮シテ欲シイト云フコトハ、最モ
政府ハ此點ヲ慎重ニ願ヒタク、如何トナラ
バ此案ノ成立致シマシタ結果トシテ、茲ニ
約二百萬圓バカリノ金が生ミ出サレテ、其
金ニ依テ即チ消費者ガ利益ヲ得ルト云フコ
トニナルノデアリマス、其消費者ガ如何ニ
シテ二百十幾万圓ノ利益ヲ得ア、ソレダケ
安イ物ガ使ヘルカト云フコトヲ考ヘマス時
ニ、同時ニ其範圍ニ於テ此度一千町歩ノ鹽
田所有者ガ自テ欲スルニ非ズシテ所有地ヲ
賣ラネハナラヌ、而シテ從業者ト製造業者
トヲ合セテ一萬四千幾百人ト云フモノノ失
職犠牲者ヲ出スコトニナル、茲ニ此悲慘ナ
ル結果ヲ生ミ出シタト云フコトヲ吾々ハ忘
レルコトガ出来ナイノデアリマス、家族ヲ
合セマスト、恐クハ五六万人ノ者ノ失職者
ガ出来ルノデアリマス、是ノ救濟ト云フコ
トハ極メデ慎重ナケレバナラナイト思フ
ノデアリマス、國家ハ自テノ生存ニ關スル
問題ニ於キマシテハ、國民ニ對シ如何ナル
犠牲モ要求シナケレバナラヌノハ當然デア
リマス、併ナガラ左様デナイ國家ノ自ラノ
生存以外ノ場合ニ於キマシテハ、凡ソ人命
ニ關スルコト、並ニ人人ノ生業ヲ奪フト云フ
コトニ對シテハ、國家ハ極メテ慎重デアッテ
欲シイ、此點カラ考ヘテ見マスト斯様ナ不
景氣ノドン底ニ於テ轉業困難ノ時ニ於テ此
失職者ヲ出スガ如キ此法案ノ整理ハ、私ハ
其整理ノ時機トシテ當ヲ得タモノノナニ、
此點ヲ痛切ニ考ヘタノデアリマスケレドモ
モ、前申シタヤウニ事情已ムヲ得ナイ情勢
ニ在ル、是ニ於テ吾々ハ止ムヲ得ズ然ラバ
次善ノ方法トシテ、幾分ナリトモ此犠牲者
ニ對スル所ノ犠牲ノ度ヲ少クスル賠償額ヲ
モ、前申シタヤウニ事情已ムヲ得ナイ情勢
ニ在ル、是ニ於テ吾々ハ止ムヲ得ズ然ラバ
ノガ三割五分ト云フ增加ニ依テ、本案ノ結
末ヲ告グルト云フコトニ到、タ次第デゴザ

イマス、デアリマスガ故ニ此二項ノ希望係
項ノ精神ニ付キマシテ、政府ハ十分慎重ニ
丁寧懇切ニ御振ヒアランコトヲ重ネテ希望
致シ、以テ本案ニ賛成致ス次第デアリマス
○副議長(清瀬一郎君) 討論ハ終局致シマ
シタ——本案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議ア
リマセヌカ

〔二異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ
マス、本案ノ第一讀會ヲ開クニ決シマシタ
キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り
可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部

チ講題ト致シマス

○副議長(清瀬一郎君) 第二讀會(確定議)
マセヌカラ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報

告ノ通り、即チ委員會ノ修正並ニ原案トモ
可決確定致シマシタ

○原惣兵衛君再ヒ請事日程變更ノ旨急動議ヲ提出致シマス、即ち此際日程ヲ變更シ、政府提出救護法案ヲ議題トナシ、委員長ノ

報告ヲ求メ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミ
マス

カ
○副議長(清瀬一郎君) 御異議アリマセヌ
〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、救護
去矣、第一讀會實行ノ期日ヲ、六月三日

提案ノ第一講會ノ総元開キマス
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長三輪市太郎君

救護法案（政府提出）

報告書 第一講會ノ綱(委員長華生)

一救護法案(政府提出)

昭和四年三月十八日
候此段及報告候也

○星島二郎君　本議會ニ於キマシテ、勞働者災害扶助法案ト、此本救護法案ハ實三社會政策的立法トシマシテ、吾々ハ非常ニ歓迎スル一人デアリマス、唯、會期切迫ノ際ニ於キマシテ、十分ノ質疑應答ガ出來ナカッタコトハ遺憾デアリマシタケレドモ、併シ

○星島二郎君登壇

○星島二郎君　本期議會ニ於キマシテ、勞働者災害扶助法案ト、此本救護法案ハ實三社會政策的立法トシマシテ、吾々ハ非常ニ歓迎スル一人デアリマス、唯、會期切迫ノ際ニ於キマシテ、十分ノ質疑應答ガ出來ナカッタコトハ遺憾デアリマシタケレドモ、併シ

○三輪市太郎君　議題トナリマシタ政府提出救護法案ノ、委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、案其モノハ重大デアルガ、何レノ黨派ニ於テモ此案ニ御反對ノ御方ハナイヤウデアリテ、唯質問ノ場合大ニ論ジラレタル點ハ、施行ノ時期ニ付テ明瞭デナイ爲ニ、此點ニ對シテ御質問ガアリマシタガ、談話會モ開キ、休憩モ二回致シテ、懇談ノ結果、政府ニモ亦了解ヲ得テ、本法ハ昭和五年度ヨリ實施スルト云フコトノ纏リヲ得テ、更ニ又委員會モ開イテ、茲ニ先以テ政府ノ原案ニ對シテハ滿場一致テ可決確定ヲ致シマシタ、ソレカラ附帶決議ヲ致シマシテ、今申シタル妥協ノ付イタ附帶決議案ノ決ヲ採リマシテ、是亦滿場一致デ可決セラレマシタ、尙ホ念ニ爲ニ申シマス、本法ハ昭和五年度ヨリ之ヲ實施スベシ」斯ル附帶決議ヲ致シマシタノデゴザイマス、一人モ異論者ガアリマセヌ、其他ニ民政黨ノ方ニ於テハ此財源ニ付テ、行政財政ノ整理云々ノ御希望モアリマシタガ、是ハ委員會ニ於テハ唯承^クタニ過ギナイノデ、何レ民政黨ヨリ御希望ノ御意見ハ述べラレルコト、信ジマスノデ、此點ハ私ハ省略致シマス、何卒議會モ會期切迫ノ折柄デアリマシテ、今日委員會ヲ開イテ、午前中ヨリ又午後ニ亘^ツテ今申ス如ク急グト共ニ、慎重ニ審議シタ問題デアリマスノデ、ドウカ本會議ニ於テモ速ニ御賛成アランコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君)　討論ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——星島二郎君

○星島二郎君登壇

此色ミノ闘争空氣ノ中ニモ、追ニ本案が必
要ナリシテ現在ノ社會ノ状勢ニ鑑ミマシ
テ、全會一致テ可決サレマシタコトハ、委
員會ニ於キマシテ洵ニ珍ラシイコトデアリ
ヨリ之ヲ實施スベシト云フコトニ付キマシ
テハ、質疑ノ間ニ於キマシテ、多少政府ニ
マス、唯財源ノ如何ニ依リマシテ、來年度
本案ノ一ツノ缺點ハ、何年度ヨリ實施スル
ト云フコトガナカタコトデアリマス、サウ
シテ之ニ付キマシテ、委員會ニ於キマシテ
ハ、五年度ヨリ之ヲ實施スベシト云フ附帶
決議ガアリマシタコトハ、洵ニ當ヲ得タコ
ト、思フノデアリマス、是ハ私一個ノ私見
デアリマスガ、悠久的財源ヲ以テ斯ル救貧
制度ヲ作ルト云フコトハ、最モ必要ナコト
デアリマスカ故ニ、例ヘバ本年度ノ豫算ニ
アリマスヤウニ監獄デ以テ囚徒ノ作ッタ金
デ六百万圓モ國庫ガ儲ケテ居ル、斯ウ云フ
意味ノ金ハ常ニ斯ウ云フ方面ニ使テ行ク
ト云フコトガ、最モ意義アルコト、思フノ
デアリマス、或ハ紙幣ガ焼ケテ非常ニ日本
銀行ガ儲ケテ居ル、或ハ政府ガ儲ケテ居ル、
斯ウ云フヤウナ金ハ須ク斯ウ云フ社會政策
的ノ事ニ用フベシト云フ意味ニ考ヘレバ、
必ず來年度ヨリ或ハ四百万圓程度ノ金ナラ
バ、難ナク豫算ニ計上サレルト思ヒマスカ
ラ、本案ニ賛成スル一人デアリマス

考ヘザルヲ得ヌノデアリマス、然ルニ法律案ヲ拜見致シマスト、其實施期限ハ之ヲ勅令ニ譲^ツテ居ラレルノデアリマシテ、果シテ何レノ時ヨリ之ヲ實施スルノ御誠意ガアルヤ否ヤフ疑ウタノデアリマス、ソユデ今日委員會ノ席上ニ於キマシテ、此點ニ付テ親シク内務大臣及ビ大藏省政府委員ニ御尋^ツ致シタノデアリマスガ、内務大臣及大藏次官ハ、強キ意味ノ誠意ヲ以テ戒ベク早ク之ヲ實行シタイト思フ、唯財政上ノ問題ガアルカラ愈々何時之ヲ實施スルト云フコトハ明言出來ナイト云フ御詫^ツデアリマシタ、私ハ此案ノ提出ヲ非常ニ喜ブ者デアリマスガ、斯ノ如キ法律ヲ發布シテ、而シテ何レノ日ニ實施スルカ分ラヌヤウナコトデハ、却テ貧困者其他救助ヲ受ケル人々ガ、之ガ爲ニ不安ヲ抱ク虞ノアルモノデアリマシテ、是非共此實施期限ニ付テ大體ノ意見ノ在ル所ヲ知ラセテ貰ヒタイ、元ニ此案ハ多年ノ懸案デアリマス、決シテ現政府ノ專賣特許ノ案デハアリマセヌ、歷代ノ内閣ガ此案ヲ提出セントシテ、財源ノ問題デ非常ニ苦シニ躊躇致シテ居^ツタ、然ルニ今日現政府ガ之ヲ提案サレルニ付テハ、十分ノ誠意ガアルモノト認メナケレバナラヌノニ、相變ラズ唯財政ノ緩急ヲ圖^ツテ速ニ之ヲ實施セントスルト云フダケデハ、如何ニモ責任上遺憾ノ點ガ少クナイ、現ニ政府ハ地租及營業収益稅ノ委譲ニ對シテハ、確實ナル財源ガナイニ拘ラズ、豫メ之ヲ各地方ニ於テ宣傳^ツ致シテ、或ハ昭和四年度ヨリ或ハ五年度ヨリ實施スルト言ヒ、又延ビテ六年度ト云フコトニナリマシタガ、併ナカラ免ニ角一^ツ定ノ目途ヲ作^ツテ地租委譲ノ宣傳ヲ十分ニ盡サレタノデアリマス、而シテ此救護法案ノ見當ヲ付ケテ、何時ヨリ實施スルト云フ私ハ寧ロヨリ重要ナル案ト思ヒマス、斯ノ如キ案ヲ御提出ニナル以上ハ、凡ソ財政上アルモノハ、地租委譲ニ比較致シマシテ、アツカラト言^ツテ、無暗ニ斯ノ如キモノヲ御出シニナルノデハ誠意ガ分ラヌ、折角結構

ナ案デアルケレドモ、其實施期ニ付テ政府
ニ具體的ノ意見ガナイトスルナラバ、矢張
是ハ一ツノ人氣取ノ案ニ過ギナイト云フコ
トヲ世間ガ疑シテモ、致方ガナイノデハナイ
カト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレ
ニ付テ段々實施期ニ付テ御尋ヲ致シマシタ
ガ、遂ニ確實ナル御答辯ヲ得ルコトガ出来
ナカツタノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於
キマシテハ、是等ノ質問應答ノ結果デアリ
マセウ、昭和五年度ヨリ之ヲ實施スペシト
云フコトノ意見ヲ付ケテ之ヲ御決議ニナリ
マシタ、吾々ニ於キマシテモ固ヨリ此案ノ
成立ニ付テハ何等意見ハナイノデアリマス
ガ、唯相當ニ金ヲ要スルモノデアリマスカラ
、將來ニ於キマシテ政府ハ行政財政ノ整
理其他ノ方法ニ依リマシテ、恆久的財源ヲ
確立セラレンコトヲ希望スルノデアリマ
ス、此希望ヲ條件ト致シマシテ、茲ニ此案
ニ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス(拍手)
○副議長(清瀬一郎君) 以上ヲ以テ討論ハ
終リマシタ、本案ハ第二讀會ヲ開クニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマ
シタ
〔賛成ト呼フ者アリ〕
○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ議案全部ヲ
セラレンコトヲ望ミマス
議題ト致シマス

遠洋漁業獎勵法中改正法律案
遠洋漁業獎勵法中左ノ通改正ス
第五條第一項第四號ヲ左ノ如ク改メ第
號ヲ第六號ニ改ム

遠洋漁業獎勵法中改正法律案
第五條第一項第四號ヲ左ノ如ク改メ第五號ヲ第六號ニ改ム

四 無線電信裝置評價額
五 評價額ノ十分ノ三以内

〔原耕君登壇〕

○原耕君 上程ヲサレマシタ遠洋漁業獎勵法中改正法律案ニ付テノ提案ノ理由ヲ説明致シマス、此法案ハ漁船ニ設備致シマス所ノ無線電信及電話ノ費用ニ對シテ、政府八十分ノ三ヲフルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、補助金ヲ増額致シマシテ、十分ノ六ニ改メタイト云フノデアリマス、即チ漁村ノ振興費ト認メラルベキ所ノ諸種ノ救難事業ニ對シマシテハ、救命艇ノ如キ、或ハ航路標識ノ如キ、是等ニハ既ニ、十分ノ六カ與ヘラレテアルノデアリマス、獨リ漁船ノミニ限リ十分ノ三ガ與ヘラレテ居リマスコトハ、甚ダ以テ不合理デアリマス、漁船遭難ノ類々ト發シマシテ財物ノ救護、人命ノ救濟、之ニ依テ受ケル所ノ產業上ノ障害ヲ除去致シタイト思フノデアリマス、此補助金ノ恩澤ニ浴スベキ所ノ漁民ノ今日ノ狀態ハ果シテ如何デアルカ、此設備ヲ必要トル所ノ漁船ノ動靜ハ如何デアルカ、之ニ依テ行ハレル所ノ遠洋漁業ナルモノ、習性ハ如何デアルカト云フコトニ付キマシテ、一通ソノ御説明ヲ申上ゲマシテ、皆様ノ御了解ヲ求メルコトハ提案者ノ義務ナリト信ズル者デアリマス、加之漁船ノ問題ハ漁業問題デアリ、而モ日本ノ重ナル産業問題デアリマス、大凡産業中世界各國ニ較ヘマシテ、此産業ダケハ日本ガ大キナ顔ヲシテ歩ケルダケノ重大ナ産業デアルノデアリマス、故ニ暫ク御清聴ヲ煩シタ伊思フ者デアリマス、我國ノ漁業ハ至ラテ不振デアリマス、此結果ト致シマシテ、漁民が疲弊困憊致シテ居リマスコトハ、政府

當局モ認諾ノ通りデアリマス、此原因ヲ熱シ
考ヘテ見マスルノニ、何ト致シマシテモ、
我國沿岸ニ於ケル所ノ魚族一般ガ減少致シ
マシタ結果ナリト信ズル者デアリマス、年
次ノ統計ノ示ス所ニ於テ、如何ニ我國漁民
ノ技術ガ進歩致スニ拘ラズ、漁具、船舶ノ
進歩ヲ圖ラレルニ拘ラズ、而モ資本ガ龐大
致スニ對シマシテ、反比例ノ成績ヲ現シマ
スコトカラ考ヘマシテモ、顯著ナル事實デ
アリマス、而シテ此魚族ノ減少ハ、申ス迄
モナク所謂捕減リニ原因シタモノト思ヒマ
ス、濫獲ノ結果デアリマス、又半面ニ於キ
マシテハ、生物生存ノ情理免レザル所ノ恐
怖心カラ致シマシテ、四方ニ退散致シタコ
トモ、是ガ副因ヲ爲スモノト信ズル者デア
リマス、果シテ此疲弊困憊ノ原因茲ニアリ
ト致シマスレバ、之ガ救濟ナル事柄ハ、唯、
一過性、一時的ノ應急手當デハ、之ガ救濟
セラレルモノデハアリマセヌ、即ト代リ財
源ヲ求メラレルガ如クニ、新ニ豊富ナル代
リ漁場ヲ提供スルコトニ依テ、救濟ノ目的
ハ達成サレルモノト思ヒマス、不幸ニ致シ
マシテ我ガ日本ノ周圍、殊ニ日本海、東支
那海ノ如キハ、既ニ荒廢サレテ居ルノデア
リマス、單リ北海漁業ノ如キハ、隆盛ヲ極
メテ居リマスコトハ、先ツ結構デアリマス
ケレドモ、サリトテ氣候ノ關係カラ致シテ、
尙ホ漁業ノ狀態カラ致シマシテ、日本全體
ノ漁民ヲ此處ニ進メルト云フコトハ不可能
ナコトニ屬スルノデアリマス、況ヤ又人命
ニ天壽ガアルガ如ク、魚族ニモ天命ガアリ
マス、私共ノ視察致シマシタ三十四五年頃
ノ加奈陀ノ晩香坡ノ鮭漁業ハ、洵ニ隆盛ヲ
極メタモノデゴザイマシタガ、今日見ル影
モアリマセヌ、斯ノ如ク漁場ノ歴史ハ繰返
ヘサレテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ北海
隆盛ノ時代ニ於キマシテ、治ニ處シテ亂ヲ
忘レザルガ如クニ、之ガ對策ハ今日ヨリ考
フベキ筈ノモノデアルノデアリマス、少シ
ク南ニ進ミマシテ、南支那海ニ參リマスト
云フト、如何ニモ底魚ノ豊富ナル漁場ガ存
在致シ「トロール」漁業ニ適切ナル場所ガア
ルノデアリマスケレドモ、如何セン海賊ノ

マヌニハ、聽テ「バラオ」本廳ニ於ケル所ノ無縫本局ナドガ、特ニ取扱ヒヲスルコトニ於テ、更ニ目的ヲ達スルノデアリマス、尙ホ之ニ關聯シテ、漁業法、船舶法ノ如キハ根本的ニ立案シナケレバナラヌコトガ多イノデアリマス、併ナカラソレ等ノ法案ガ、既ニ議會ガ終ラントスルノ今日迄現レザルノミナラズ、議員諸君ノ口カラモ、水產トカ漁業トカ云フヤウナ言葉ハ出テ來マセヌ、水產ト云フ言葉ヲ聽カザルノミカ、全クノ噂モ無イヤウナ狀態ハ如何ニモ私ハ不可解ニ打タレテ居ルノデアリマス（簡單）ト呼ブ者アリ）簡單ニ止メヤウト思ウテモ止メラレナイ程、私ハ不可解ニ存ズル次第デアリマス、我ガ日本ノ漁民ガ、而モ日本ノ五分ノ一ヲ占メ、日本ニ於ケル漁村、沿岸ニ沿フ所ノ町村數ハ五分ノ一モアル、而モ昨年ノ總選舉ニ當テハ、諸君ハ漁村ノ振興ヲ絶叫セラレタ方モアルノデアリマス、而モ今日ニ於テ、漁村關係、水產ノ問題ナドガ一ツモ出ナイト云フコトハ、洵ニ矛盾撞著ノ甚シイモノデアリマス、平素先輩ヲ以テ氣取ル偉イ諸君ガ、斯様ナル重大問題ニ付テ一言モ發セラレナイト云フコトハ、不思議ト言ウテモ話ニナラヌ感ジガ致スノデアリマス、政權ノ爭奪モ必要デアラウ、黨派根性モ宜カラウ、ケレドモ我ガ國民生活ニ立脚シタル政治ガ、果シテ行ハレテ居ルヤ否ヤ、少クトモ我ガ日本ノ漁民ニ對シテ公平ヲ缺カザルヤ否ヤ、如何トナレバ我ガ日本國ノ今日アルハ我ガ國體ヲ知ルカラデアル、日本ノ地理地勢ヲ辨ヘルカラデアル、日本ハ海國デアル、海國デアシテ海洋ノ利用、海洋ノ方策ヲ忘ルベキ筈ノモノデナイ、英國ノ今日ノ隆盛モ、和蘭ノ存在モ、皆是海洋ノ賜デアル、而モ不戰條約ハ近ク調印セラレントシテ居ル、此時ニ當テ陸上ノ争ハ困難デアルガ、何ト言テモ經濟界ノ争ハ日ニ一益、盛ニナルコトハ事實ニアル、而モ空中ノ占有、海洋權ノ占有ト云フコトハ、尙ホ一段重キヲ致スト云フコトハ事實デアル、政府當局モ亦適材ヲ適所ニ任用スルノ明ヲ有シナガラ、斯様ニ明ナル間

題ヲ適當ニ解決スルノ努力ニ乞シイコトハ甚ダ遺憾デアル、產業上ノ立國ヲ主張スル所ノ諸君ガ、斯ノ如キ問題ニ尙ホ御親切デアルコトヲ希望スルト共ニ、私共ノ提案ニ付テハ異議ナク速ニ御賛成願ヒタイモノデセラレントコトヲ望ミマス

アリマス、細カイコトハ委員會ニ於テ各論ニ入ル方ガ宜シイト思ヒマス

○副議長(清瀬一郎君) 質疑ノ通告ハアリマセヌ

○青木精一君 本案ハ政府提出國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案ノ委員ニ併託セラレントコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ通り決シマシタ、日程第十一違警罪即決例中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨聲明ヲ許シマス

第十 違警罪即決例中改正法律案(一)
松定吉君外二名提出 第一讀會

違警罪即決例中改正法律案
違警罪即決例中左ノ通改正ス

第二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ言渡ヲ爲シタル時ハ之ト同時ニ之ヲ被告人ノ法定代理人保佐人直系尊屬直系卑屬配偶者被告人ノ属スル家ノ戸主若クハ被告人ノ指定シタル辯護士ノ中適當ト認ムル者ニ通知スヘシ

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ請求ハ被告人ノ爲三前條第二項ニ掲クル者ヨリモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七條ノ二 警察官署ニ檢束引致セラレタル者及ヒ拘留處分ヲ受ケタル者ノ接見及ヒ信書ニ關シテハ刑事訴訟法第十五條第百十一條第百十二條監獄法及ヒ監獄法施行規則中接見及ヒ信書ニ關スル規則ヲ準用ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
〔一 松定吉君登壇〕

タ違警罪即決例中改正法律ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ説明致シマス、諸君モ御存知ノ通り、違警罪即決例ハ明治十八年九月二十四日、布告第三十一號ヲ以テ發布セラレタルモノニアリマシテ、憲法發布以前ニ係ルモノニアリマスルガ爲ニ、時勢ノ進運ニ適應シナイ幾多ノ缺陷ヲ有スルノニアリマス、私共ガ今此法律ニ對シマシテ、之ヲ改正セントスル所以ノモノハ、此時勢ニ適セザル所ノ缺陷ヲ補填シナケレバナラナイト考へテ居ルノニアリマス、先づ第一ニ違警罪即決ヲ受ケマシタル時ニ於キマシテ、受ケタ所ノ被告人ガ、之ヲ自分ノ親族及自己ノ信ズル所ノ辯護士等ニ通知スルコトガ出来マセヌ爲ニ、彼ハ、其即決ノ不當ニアルコトヲ承知シテ居リナガラ、之ニ對シテ救濟ノ方法ヲ知ラナイ者モアルノニアリマス、假ニ之ヲ知シテ居ルト致シマシテモ、其手續ヲスル途ヲ知リマセヌ、若クハ其途ヲ知シテ居リマシテモ、保證金ト云フヤウナモノ、合せナイト云フヤウナ者ガ往々ニシテアルノニアリマス、斯様ナ時ニ於キマシテ、即決ヲ受ケマシタ所ノ被告人ガ、之ヲ自分ガ救濟スルコトガ出来ナイコトニ依テ、非常ニ吾々ノ権利ヲ侵害セラレテ居リマスル場合ニ於テ、此即決致シマシタ官憲ガ、之ヲ其被告人ノ親族若クハ被告人ノ信賴致シマスル所ノ辯護士ニ之ヲ通知セシムルト云フ所ノ義務ヲ持タセルナラバ、此缺陷ヲ補フコトガ出来ルノニアリマス、又斯様ナ通知ヲ受ケタニ拘ラズ、其被告人ノ権利ヲ擁護スルコトガ出来ナイノニアリマス、故ニ斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、其被告人以外者ニ於テモ、正式裁判ノ申立ガ出来ル通知ヲ受ケタニ拘ラズ、其被告人ノ権利ヲト云フ權限ヲ與ヘルト云フコトハ、今日進歩シタル所ノ法國ニ於キマシテハ、當然依リマシテ、拘留セラレタ者ガ、拘留中ニコトデアルト私共ハ考へテ居ルノニアリマス、ソレカラ又今一ツハ此違警罪即決ニト云フ權限ヲ與ヘルト云フコトハ、今日進歩シタル所ノ法國ニ於キマシテハ、當然依リマシテ、拘留セラレタ者ガ、拘留中ニコトデアルト私共ハ考へテ居ルノニアリマス、ソレカラ又今一ツハ此違警罪即決ニ

ナイト云フコトハ、今日豫審ニ廻サレタ被告人ニアリマシテモ、物品ノ收受若クハ信書ノ收受ト云フコトガ許サレテ居ルニモ拘ラズ、違警罪即決ニ依テ處分ヲ受ケマシタ被者ハ、是等ノ物品ノ收受及信書ノ發受ト云フコトモ禁ゼラレテ居リマスルガ爲ニ、非常ニ不便ヲ感ズル次第アルノデアリマス、今現行法ヲ見マスルニ、現行法ニハ此通知ノ義務及被告人以外ノ者ノ正式裁判ヲ申立ツルト云フ権利及信書及物品ノ收受ト云フコトハ、全ク禁止サレテ居ルノデアリマス、故ニ今此即決ヲ受ケマシタル場合ニ於テ、如何ニ焦テモ、如何ニ藻撃イテモ、此不法ナル處分ニ對シテ之ヲ救濟致スコトガ出來ナインデアリマス、又此正式裁判ヲ申立ツルト云フコトヲ、親族若クハ辯護人ガ、其被告人ニ對シテ勸メル爲ニ面會ニ行キマシテモ、面會ヲ許サナイト云フコトニナルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトデアリマスルガ爲ニ、全ク無辜ノ良民ヲ捉ヘマシテ、警察ノ所謂拘留場ニ之ヲ拘置致シマシテ、サウシテ其人ニ對シテノ或ル格別ナル犯罪ヲ取調ベルコトニ利用スルヤウナ弊害ガ非常ニ多イノデアリマス、サウ云フヤウナコトハ、彼ノ刑事訴訟法ニハ、諸君御存知ノ如ク、所謂犯罪ノ嫌疑ノアル者ニ對シテハ、之ニ對シテ強制處分ト云フ途ヲ與ヘテ居リマシテ、検事が裁判官ニ請求致シマスルナラバ、十日間ノ拘留ニ依テ、其間ニ其疑ノアル所ノ犯罪ノ取調ガ出來ルノデアリマス、然ルニ自分が何等身ニ覺エノナイ良民ガ、警察官ノ不法ノ拘留ニ依テ違警罪即決處分ヲ受ケテ、拘留セラレテ取調ヲ受ケルト云フガ如キコトハ、實ニ今日人權ヲ尊重スル時ニ於テ、甚ダ不當ノ處置ノデアリマス、犯罪デモ何デモナイニ拘ラズ、懲意ナル者カラ警察官ガ賴マレ、民事事件ヲ解決スル爲ニ、良民ヲ豚箱ニ打込ンデ、其間ニ於テ民事事件ノ解決ヲ圖ラントスルガ如キコトハ、往々ニシテ全國到ル處

ニ之ヲ見ルノデアリマス、諸君斯ノ如キ不法ナコトガ昭和ノ今日ニ於テ行レテ居ルノデアリマスガ、今之ヲ内務省カラ公表セラレタル統計ニ依リマスト、大正十二年ニハ四十二万何千人ト云フ者ガ、此違警罪即決例ノ處分ヲ受ケテ居リマス、又大正十三年ニハ五十二万餘人、大正十四年ニハ六十三万餘人、大正十五年ニハ六十八万餘人、昭和二年ニハ七十万餘人ト云フ多數ノ者ガ、此違警罪即決例ニ依リマシテ處分ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此中正式裁判ノ申立ヲ致シテ居リマス者ハ、丁度七百三十二人ニ對シテ僅ニ一人ト云フ割合ニシカ當ラナイノデアリマス、而シテ又此正式裁判ノ申立ヲ致シマシタ者ノ中デ、ドレダケノ者ガ無罪ニナツカト言ヒマスルト、四人二分八厘ノ中ニ、一人ト云フ割合ニ無罪ニナツテ居リマス、即チ之ニ依テ如何ニ正式裁判ノ申立ガ阻止セラレテ居ルカト云フコトハ、如何ニ正式裁判ノ申立ニ依リ無罪ガ多イカト云フコトガ分ルノデアリマス、然ルニ斯ノ如ク正式裁判ノ申立ヲシタ者ガ、其大部分無罪ニナルト云フコトノ爲ニ、警察官ハ此正式裁判ノ申立ヲ好マナイノデアリマス、故ニ正式裁判ノ申立ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、オ前ガサウ云フコトヲスルナラバ、オ前ノ親族ヲモ、オ前ノ家内モ警察ニ喚出シテ取調ヲシテヤル、新シイ疊デモ叩ケベシテ埃ガ出ルデハナイカ、ソレバカリデハナイ、是カラドシトオ前ノ周圍ノ者ヲモ取調べテヤルト云フ風ニ、曾シ文句デ正式裁判ノ申立ヲ阻止スルト云フコトガ、全國到ル處ノ警察署ニ於テ行ハレテレテ居ルノデアリマス、諸君ガ斯様ナ事ヲ知ル時ニ於テハ、吾々ノ権利義務ヲ保護スル事ニ重大ナル責任ヲ有セラル、諸君ノ膚ニハ、栗ヲ生ズルノ感ヲ持タルコト、思ヒマス、諸君御承知ノ如ク、我ガ憲法ニ於キマシテハ、其第二十三條ニ於テ「日本臣民ハ法律ニ依ルニ此違警罪即決例ニ名ヲ藉リテ、一定ノ職業アリ、一定ノ住居アル者ヲ、浮浪罪ノ

名義ノ下ニ拘留シ、由テ以テ不當ノ取調ヲ爲スト云フカ如キコトハ、吾々立法府ニアル者ハ、當然之ヲ改メナケレバナラヌデハアリマセヌカ、又憲法第二十四條ニハ「日本臣民ハ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハル、コトナシ」ト規定セラレテ、此憲法ノ精神ヲ蹂躪スルト云フカ如キコトハ、甚ダ不可解千萬デアリマスルガ故ニ、吾々ハ斯ノ如キ不當ナ法律ノ缺陷ヲ補ヒ、而シテ本當ノ法治國民トシテノ權利ヲ擁護シマシタ所以トシカクテハナラナイ、其爲ニ非ヲ提出致シマシタ所以デアリマス、諸君、政黨派ヲ超越致サレマシテ、是非此案ニ御賛成アランコトヲ御願致ス次第デアリマス(拍手)○青木精一君 本案ハ牧野賤男君外二名提出ノ刑法中改正法律案ノ委員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス(拍手)○副議長(清瀬一郎君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ(拍手)○副議長(清瀬一郎君) 本案ハ牧野賤男君外二名提出ノ刑法中改正法律案中ノ第一讀會ヲ開キマス、提案者ノ趣旨聲明ヲ許シマス――千葉三郎君(拍手)

第十一 工場法中改正法律案 (千葉三郎君外五名提出)

第一讀會

工場法中改正法律案

工場法中改正法律案 (千葉三郎君)

工場法中改正法律案

十時ニ至リ、其後一時間ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ引延バスコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ現在最モ寒イ十二月、一月、二月、三月頃ハ、幼年工ヤ女工、ソレガ寄宿舍ニ這入シテ居リマセヌデ、遠クカラ通ウテ居ル人ノ身ニナリマスルト、午前五時ニ就業センガ爲ニハ、ドウシテモ午前四時頃カラ起キマシテ、食事其他ノ用意ヲシナクテハナラナイ、其爲ニ非常ニ労働者ノ保健上種々ノ困難ヲ釀スコトガ多イノデアリマス、ソコデ是ハ午前五時ヨリ就業スベキモノヲ午前六時ト致シマシテ、其代リ午後十時ヲ午後十一時ニ改メ常ニ労働者ノ保健上種々ノ困難ヲ釀スコトガ多イノデアリマス、ソコデ是ハ午前五時十一時迄就業スルコトヲ得ルト云フコトニ致シマシタナラバ、労働者並ニ從業員ノ衛生上、其他生活態ニ便宜ヲ得ルト云フコトハ、労働者側モ希望シテ居ル次第デゴザイマス、何卒本案ハ簡単デ、且ツ労働者ニ對シマシテ大切ナルモノデゴザイマスルノデ、御賛成下サンコトヲ希望致シマス○青木精一君 本案ハ藤原米造君外七名提出ノ産業委員會法案ノ委員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス(拍手)○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第十一、工場法中改正法律案中ノ第一讀會ヲ開キマス、提案者ノ趣旨聲明ヲ許シマス――千葉三郎君(拍手)

第十一 工場法中改正法律案 (千葉三郎君)

第一讀會

工場法中改正法律案

名、住所ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ届出ヅルコトヲ要ス
第三條 勞働組合ノ設立者ハ組合規約ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スベシ
一 名稱
二 目的
三 主タル事務所
四 組合員ノ資格ニ關スル規定
五 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
六 組合ノ大會其ノ他ノ會議ニ關スル規定
ニ關スル規定

七 組合ノ執行機關並其ノ役員ノ權限
八 加入金、組合費ノ徵收方法及會計
九 組合員ノ組合名簿ニ關スル規定
十 組合規約ノ變更ニ關スル規定
十一 組合ノ聯合及合併ニ關スル規定
九 組合員ノ組合名簿ニ關スル規定
十 組合規約ノ變更ニ關スル規定
十一 組合ノ聯合及合併ニ關スル規定

九 組合員ノ組合扶助ノ目的ヲ定メテ招集ス
十 組合規約ノ變更ニ關スル規定
十一 組合ノ聯合及合併ニ關スル規定
九 組合員ノ組合扶助ノ目的ヲ定メテ招集ス
十 組合規約ノ變更ニ關スル規定
十一 組合ノ聯合及合併ニ關スル規定

第一條 本法ニ於テ勞働組合トハ勞働組合ニ維持改善其ノ他被傭者ノ共同ノ利益ヲ増進スル目的トスル被傭者十名以上ノ團體又ハ其ノ聯合ヲ謂フ

第二條 本法ノ適用ヲ受ケムトスル勞働組合ノ設立者ハ組合規約及役員ノ氏

第三條 本法ニ於テ勞働組合ノ組合員ハ其ノ事務員ハ勞働組合ノ組合員タル故ヲ以テ被傭者ヲ解雇又ハ雇傭ノ申込ヲ拒絶スルコトヲ得ズ

第四條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第五條 労働組合ガ雇主又ハ其ノ事務員ハ勞働組合ノ組合員タル故ヲ以テ被傭者ヲ解雇又ハ雇傭ノ申込ヲ拒絶スルコトヲ得ズ

第六條 労働組合ニハ組合員扶助ノ目的ヲ以テ販賣組合、購買組合又ハ生産組合ノ事務ヲ營ム場合ニハ產業組合法ヲ適用セズ

第七條 労働組合ハ勞働紛議ニ付役員ノ他ノ組合員ガ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ゼズ

第八條 雇主又ハ其ノ事務員ハ勞働組合ノ組合員タル故ヲ以テ被傭者ヲ解雇又ハ雇傭ノ申込ヲ拒絶スルコトヲ得ズ

第九條 労働組合ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十條 労働組合ガ雇主又ハ其ノ事務員ハ勞働組合ノ組合員ニ及ボシタル損害ヲ賠償スル責ニ任ゼズ

第十一條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十二條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十三條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十四條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十五條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十六條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十七條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十八條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第十九條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第二十條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

第二十一條 労働組合ノ組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ賠償スル責ニ任ゼズ

八〇〇

第十一條 勞働組合ハ聯合又ハ合併スル

コトヲ得

聯合組合ニハ本法ノ規定ヲ準用ス

第十二條 勞働組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一、組合規約ヲ以テ定メタル解散事由ノ發生

二、解散ノ處分

三、大會ノ決議

第十三條 地方長官勞働組合ノ規約ヲ爲

サムトスルトキハ行政裁判所ニ出訴ス

ルコトヲ要ス

第十四條 地方長官ハ勞働組合ノ規約ヲ爲

ハ決議ガ法令ニ違反スルモノアリト認

サムトスルトキハ警告ヲ發シ若シ應ゼザルコトヲ要ス

第十五條 第八條ノ規定ニ違反シタル雇

主又ハ其ノ事務員ハ千圓以下ノ罰金ニ

二出訴スルコトヲ得

附 則

本法ハ昭和四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ存スル被傭者ノ團體ニ

シテ本法ノ適用ヲ受ケムトスルトキハ本

法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ第二條ノ手

續ニ準ジ届出スルコトヲ要ス

〔鈴木文治君登壇〕

○鈴木文治君 本案ノ趣旨聲明ニ入ルニ先
チマシテ、簡単ニ一應御斷リヲ申上ゲマス
ルコトガアルノデアリマス、ソレハ本案提
出ニ當リマシテ、賛成署名ヲナサレタ方々
ハ、必シモ本案ノ内容其モノニ悉ク賛成ノ
意ヲ表セラレテ居ルノデハナイノデアリマ
ス、併ナガラ本案ヲ議場ニ上程シテ、之ヲ
審議スルト云フコトニ付テハ、何レモ御異
議ガナインデアリマシテ、其意味ニ於テ賛
成セラレタル方々が相當アルノデアリマ
ス、此點ヲ誤解ナイヤウニ一應御断リ申
上げテ置クノデアリマス、本法案ハ勞働問
題解決ノ上ニ關シテ、根本的ノ法案ニアリ
マスルノミナラズ、我國勞働階級ガ手ヅカ
ラ作リマシタル最初ノ勞働立法案ニアリマ

ス、ソレ故ニ私ト致シマシテハ、實ハ勞働

問題ニ關スル各種ノ問題ニ付テ、十分詳細

ニ辯明ヲ致シタイ考デアルノデアリマスル

ケレドモ、今日ハ最早會期切迫ノ折柄デア

リ、諸法案山積ノ有様デアリ、且ツハ勞働

組合法ノ制定如何ト云フガ如キハ、最早今

日繰返シ喋々スルヲ用ヒナイト思フ、勞働

組合法案ノ問題ノ如キハ、最早今日我國民

ノ常識ノ問題デアルト信ジマス、ソレ故ニ

私ハ本法案ノ制定ノ必要如何ト云フヤウナ

問題ニ付テハ多く説明ヲ致シマセヌ、若シ

其必要ガエザイマスルナラバ、後日委員會

ニ於テ御尋ニ應ジテ御答ヲ申上ゲル積リデ

ゴザイマス、此問題ノ如キハ、多年我ガ官

民朝野各方面ニ於テ、既ニ幾度カ論議ヲ繰

返サレテ參リマシタ問題デゴザイマスルノ

ミナラズ、當議場ニ於テモ再三問題トナッテ

居ルノデアリマス、譬へテ申シマスレバ、

大正十一年十二月二十八日ニハ、安達謙藏

氏ノ名前ニ於テ本法案ノ提出ガアルノデア

リマス、更ニ翌年ト申シマシテモ、直ぐ接

近致シテ居ルノデアリマスルガ、大正十二年

ノ一月ニハ、板野友造氏ノ名ニ於テ本法案

ガ提出サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ

第五十一議會ニ於キマシテハ、政府自ラ勞

働組合法案ト云フモノヲ提案セラレテ居ル

ノデアリマシテ、其際ニハ既ニ委員會マデ

回付セラレマシテ、委員會ニ於テ最モ熱心

ナル所ノ討議ガ行ハレタノデアリマス、殊

ニ政友會ノ諸君ハ此問題ニ付テ非常ニ熱心

ニ論議ヲセラレマシテ、政府ノ提出シテ居

ル法案ト云フモノハ、其内容ニ於テ甚シク

保守的デアル、時代後レデアル、苟モ今日

労働組合法案ヲ提出スルナラバ、モット時代

ノ進運ニ鑑ニテ進歩的ナモノヲ提案シナケ

ル、當リマシテ、贊成署名ヲナサレタ方々

ハ、必シモ本案ノ内容其モノニ悉ク賛成ノ

意ヲ表セラレテ居ルノデハナイノデアリマ

ス、併ナガラ本案ヲ議場ニ上程シテ、之ヲ

審議スルト云フコトニ付テハ、何レモ御異

議ガナインデアリマシテ、其意味ニ於テ賛

成セラレタル方々が相當アルノデアリマ

ス、此點ヲ誤解ナイヤウニ一應御断リ申

上げテ置クノデアリマス、本法案ハ勞働問

題解決ノ上ニ關シテ、根本的ノ法案ニアリマ

スルノミナラズ、我國勞働階級ガ手ヅカ

ラ作リマシタル最初ノ勞働立法案ニアリマ

居ル、唯之ヲ如何ナル方法ニ依テ、如何ナ

ル内容ノモノヲ提出スルカト云フコトニ付

テハ、尙ホ慎重ニ審議中デアルト云フ御答

辨ガアツノデアリマスカラ、勞働組合法制

定ノ必要アリト云フコトハ、現政府モ亦認

メテ居ルト承知致シテ差支ナイコト、考ヘ

マス、斯ウ云フヤウナ次第デゴザイマスルカ

ラ、本法案ノ制定ノ必要如何ト云フ問題ノ

如キハ、是ハ院外ニ於ケル朝野有識者ノ間

ニ付テハ多ク説明ヲ致シマセヌ、若シ

其必要ガエザイマスルナラバ、後日委員會

ニ於テ御尋ニ應ジテ御答ヲ申上ゲル積リデ

ゴザイマス、此問題ノ如キハ、多年我ガ官

民朝野各方面ニ於テ、既ニ幾度カ論議ヲ繰

返サレテ參リマシタ問題デゴザイマスルノ

ミナラズ、當議場ニ於テモ再三問題トナッテ

居ルノデアリマス、譬へテ申シマスレバ、

大正十一年十二月二十八日ニハ、安達謙藏

氏ノ名前ニ於テ本法案ノ提出ガアルノデア

リマス、更ニ翌年ト申シマシテモ、直ぐ接

近致シテ居ルノデアリマスルガ、大正十二年

ノ一月ニハ、板野友造氏ノ名ニ於テ本法案

ガ提出サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ

第五十一議會ニ於キマシテハ、政府自ラ勞

働組合法案ト云フモノヲ提案セラレテ居ル

ノデアリマシテ、其際ニハ既ニ委員會マデ

回付セラレマシテ、委員會ニ於テ最モ熱心

ナル所ノ討議ガ行ハレタノデアリマス、殊

ニ政友會ノ諸君ハ此問題ニ付テ非常ニ熱心

ニ論議ヲセラレマシテ、政府ノ提出シテ居

ル法案ト云フモノハ、其内容ニ於テ甚シク

保守的デアル、時代後レデアル、苟モ今日

労働組合法案ヲ提出スルナラバ、モット時代

ノ進運ニ鑑ニテ進歩的ナモノヲ提案シナケ

ル、當リマシテ、贊成署名ヲナサレタ方々

ハ、必シモ本案ノ内容其モノニ悉ク賛成ノ

意ヲ表セラレテ居ルノデハナイノデアリマ

ス、併ナガラ本案ヲ議場ニ上程シテ、之ヲ

審議スルト云フコトニ付テハ、何レモ御異

議ガナインデアリマシテ、其意味ニ於テ賛

成セラレタル方々が相當アルノデアリマ

ス、此點ヲ誤解ナイヤウニ一應御断リ申

上げテ置クノデアリマス、本法案ハ勞働問

題解決ノ上ニ關シテ、根本的ノ法案ニアリマ

スルノミナラズ、我國勞働階級ガ手ヅカ

ラ作リマシタル最初ノ勞働立法案ニアリマ

通所謂筋肉勞働、サウ云フヤウナ肉體勞働

ニ從事スル人ノミニ限ラレテ解釋セラレル

傾向ガアルノデアリマスカラ、私ハ單ニ勞

働者ト云フノミニアラズシテ、雇主ト傭ハ

レ人トノ間ニ於テ雇傭關係ヲ結ンデ居ル際

ニ單一ノ勞働組合ノミニラズ、本法ニ於テ

ハ其單一ノ勞働組合ノ聯合體ヲモ承認シヤ

ウト云フ考ノ下ニ、被傭者ト云フ文字ヲ特ニ用

キタノデアリマス、ソレカラ勞働組合ハ單

ル文句ヲ特ニ最後ニ附加ヘテ居ルノデアリ

マス、ソレカラ勞働組合ノ基本トナリマス

ル所ノ人數ヲ、ドノ程度ニスルカト云フコ

トニ付キマシテハ、色ニノ御意見モアルコ

ト、思フノデアリマスルガ、私ハ本法ニ於

テハ、十名以上ト云フコトニ致シタノデア

リマス、十名以下デモ必シモ勞働組合ノ組

織ガ出来ナイコトデハゴザイマスマイケ

ドモ、併ナガラ先づ切メテ十名デモナケレ

バ、勞働組合トシテノ活潑ナ効モ出來ナイ

ト、思フノデアリマスカラ、十名ト云フコトニ止メ

ルコトガ宜カラウト云フ考ヲ以チマシテ、

十名以上ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、是ハ御

承知ノ通り現行ノ工場法ニ於テモ工場法

ノ適用トシテ、工場ハ原則トシテ十名ト

云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、若シ

云フコトニシテノ基準ヲ求メラ

強イテ十名ト云フコトニシテノ基準ヲ求メラ

レマスナラバ、工場法ノ適用ノ例ニ倣フタ

ト申上ゲテモ宜カラウト考ヘルノデアリマ

ス、ソレカラ尙此問題ニ付テ一言申上ゲ

タイト思ヒマスコトハ、特ニ本法案ニ於キ

マシテハ、職業別組合、產業別組合ト云フ

ヤウナ、サウ云フ區別ヲ認メマセヌ、是ハ

我國ニ於ケル發達ノ過渡期ニアル勞働組合

ノ狀勢カラ見マスルナラバ、暫ク自然ノ發

達ニ任セテ、適當ノ機會ニ於テ若シ必要

ガアルナラバ、産業別組合トカ、或ハ職業

別組合トカト云フコトニ致シテモ、差支ナ

カラウト考ヘマシタク故ニ、極メテ簡單ニ

第一條ニ於キマシテハ、此職業別、產業別

ノ區別ヲ設ケズシテ、概括的ニ第一條ヲ作

リマシタク次第デゴザイマス、ソレカラ第二

ハ、労働組合ノ成立ニ付キマシテハ、第二條ニ規定ガ
合ノ成立ニ付キマシテハ、第二條ニ規定ガ
ゴザイマス、即チ「本法ノ適用ヲ受ケムト
スル労働組合ノ設立者ハ組合規約及役員ノ
氏名、住所ヲ主タル事務所所在地ノ地方長
官ニ届出ヅルコトヲ要ス」斯ウ云フ風ニ致
シテ居ルノゴザイマシテ、労働組合ハ地
方長官ニ對スル届出ヲ以テ此労働組合ガ本
法ノ適用ヲ受クル資格アルコトニ致シタノ
デゴザイマス、是ハ或ハ認可主義トカ、許
可主義トカ、色ニゴザイマスケレドモ、併
ナガラ本法ノ如キニ至リマシテハ、此許可
主義トカ、認可主義トカト云フモノヲ採ル
ベキデナクシテ、簡単十届出ヲ以テ直ニ其
資格ヲ發生スルト認ムルコトヲ適當ト信ジ
マシタルガ故ニ、届出主義ニ致シマシタノ
デゴザイマス、詳細ノコトハ尙ホ委員會ニ
於テ御説明申上ダタイト思ヒマス、第三ニ
ハ、労働組合ノ構成デアリマスガ、是ハ第
三條、第四條ニ規定シテゴザイマス、是ハ
本法案ヲ御讀ミ下サレバ直グ御了解ガ出来
ルコトデアリマスカラ、特ニ説明ヲ省略致
シマス、第四ニハ、労働組合ノ權能デゴザ
イマスガ、是ハ第五條及ビ第六條ニ規定シ
テアルノゴザイマス、即チ第五條ニハ勞
働組合ガ組合員扶助ノ目的ヲ以テ販賣組
合、購買組合又ハ生産組合ノ事務ヲ營ム場
合ニハ産業組合法ヲ適用セズ」斯ウ云フノ
デアリマシテ、労働組合ハ相互扶助ノ機關
レドモ、今日此種ノ産業組合ニハ、産業組
合法ト云フ此法律ガアルノデアリマスル
ガ、一方本法案ニ於テハ、十名以上ノ労働
者ノ團體ニ労働組合ノ資格ヲ認メヤウト云
フノデアリマスカラ、是ハサウ云フ種類ノ
ナルト思フノデアリマスカラ、故ニ産業組
合法ヲ適用スルト云フコトニナリマ
スレバ、頗ル煩瑣ナル手續ヲ掛ケルコトニ
程度ノ低イ小人數ノ労働組合ニモ、亦種類
ノ産業組合ヲ適用スルト云フコトニナリマ

カラ其次ニハ第六條ニ於キマシテ「勞働組合ニ對シテハ印紙稅ヲ免除ス」斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、要スルニ勞働組合ハ營利ノ團體デハナイノデアリマスルカラ、之ニ對シテ所得稅デアルトカ、或ハ此印紙稅ノ如キモノヲ課スルコトハ適當デナイト信ジタノデアリマシテ、之ニ對シテハ免除スルコトニ致シタノデゴザイマス、次ニハ第五デアリマス、第五ハ勞働紛議ニ關スル箇條デゴザイマスガ、是ハ本法ノ第七條ニ簡單ニ記シテゴザイマス、即チ「勞働組合ハ勞働紛議ニ付役員其ノ他ノ組合員ガ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ゼズ」斯ウ云フノデアリマスガ、是ハ御承知デモゴザイマゼウガ、彼ノ英吉利ニ於キマシテ「タフベール」事件ト云フモノガ起シタコトガアルノデアリマス、千九百一年ニ「タフベール」鐵道會社ニ於テ爭議ガ起リマシタ際ニ、其鐵道會社ハ勞働組合ニ對シテ二十万磅ノ損害賠償ノ要求ノ訴訟ヲ起シマシテ、遂ニ一旦第一審ニ於テハ會社側ノ勝利ニ歸シタノデアリマス、是ニ於テ勞働組合側ハ非常ニ驚キマシテ、直ニ斯ノ如キコトノナイヤウナ法案ヲ作ラナケレバナラナイト云フコトニナリマシテ、勞働黨ノ大活躍トナリ、千九百六年ニ英國勞働爭議法第四條ト云フモノヲ作リマシテ、斯ノ如キ場合ニ於テ勞働組合ハ其責ニ任せズト云フ規定ヲ作ルコトニナックタノデアリマスガ、是モ詳シイコトハ若シトハ一回モアリマスレバ、委員會ニ其說明ヲ讓リタイト思フノデアリマス、日本ノ國ニ於テハ今迄斯ウ云フヤウナ事件ニ遭遇シタコニ此箇條ヲ挿入致シタ次第デゴザイマス、次ニハ第六デアリマス、第六ニハ契約ノ自者ノ覆ヘルハ後者ノ戒デアリマスカラ、特ウ云フコトハナカラウト思ヒマスケレドモ、念ノ爲ニ英吉利ノ例ニ倣ヒマシテ、前者ノ覆ヘルハ後者ノ戒デアリマスカラ、特ウ云フコトハナカラウト思ヒマスケレドモ、念ノ爲ニ英吉利ノ例ニ倣ヒマシテ、前

八條、第九條、第十條ニ規定致シタノニアリマシテ、第八條ハ「雇主又ハ其ノ事務員ハ勞働組合ノ組合員タル故ヲ以テ被傭者ヲ解雇シ又ハ雇傭ノ申込ヲ拒絶スルコトヲ得ズ」斯ウ云フノデゴザイマシテ、即チ雇主カ、或ハ雇主ノ代理ヲシテ居ル事務員ト云フヤウナ人ニガ、勞働者ヲ雇入レマスル場合ニ於テ、既ニ勞働者ガ既設ノ勞働組合ニ加入シテ居ルト云フ理由ヲ以テ、雇入ヲ止メルコトモ出來ナイ、又既ニ雇入レテ居ル勞働者ガ後ニ勞働組合ニ加入シタカラト言シテ、其理由ヲ以テ解雇スルコトモ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ規定シテアルノデゴザイマス、是ハ即チ勞働組合員ノ地位ヲ保障スル必要ニ出デタモノト解釋シテ宜シイノデゴザイマス、其次ニハ第九條デゴザイマス「組合員ハ組合規約ノ違反ニ因テ組合又ハ組合員ニ及ボシタル損害ヲ賠償スル責ニノデゴザイマス、是ハ雇傭契約ノ自由ニ對スル一種ノ制限ニナルノデアリマスケレドゴザイマシテ、一言ニシテ申シマスルナラバ、組合員ノ裏切行爲防止ノ必要ニ出タモノデゴザイマス、是ハ雇傭契約ノ自由ニ對スル一種ノ制限ニナルノデアリマスケレドモ、勞働組合ニ於テ若シ斯ノ如キ制裁のノ規定ガアリマセヌラバ、勞働組合ハ勞働組合トシテノ本來ノ職能ヲ全ウスルコトガ出来マセヌガ故ニ、特ニ第九條ニ於テ此規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス、次ニ第十條第十條ハ團體協約ニ關スル規定デゴザイマス、第十九條ヲ讀上ダテ見マスルト「勞働組合ガ雇主又ハ其ノ團體ト勞働協約ヲ締結シタル場合ニ於テ之ニ反スル組合員ト雇主トノ單獨契約條項ハ無効トス」斯ウ云フノデアリマス、即チ勞働組合ハ申ス迄モナク團體交渉ノ機關デアリマス、團體的ニ勞働條件ヲ取引スル機關デアリマス、此意味三於ケル所ノ勞働組合ガ團體交渉ノ結果、或ハ單獨ノ雇主、若クハ雇主ノ團體トノ間ニ一種ノ團體的ノ協約ガ出來ル、團體的ノ協約ガ出来マシタ際ニ於テハ、其團體的ノ協約ガ出来タ後ニハ勞働組合員タル者ハ、其代表者ノ締結シタル所ノ團體協約ニ押ヘラレルノデアリマシテ、其後ニ於テ組合員箇々ガ單

獨三、勝手ニ雇主又ハ雇主ノ團體トノ間ニ
契約ヲスルコトガ出來ナイ、契約ヲ致シマ
シテモ其契約ト云フモノハ無効トスル、斯
ウ云フモノカ即チ第十條ノ規定デアリマ
ス、是ハ内外ニ其例ガ甚ダ多イデゴザイ
マスカラ、若シ必要ガゴザイマスルナラバ、
重ネテ辯明ヲ致スコトヲ辭シマセヌ、其次
ハ第十一條デゴザイマス、第十一條ハ「勞
働組合ハ聯合又ハ合併スルコトヲ得」聯合
組合ニハ本法ノ規定ヲ準用ス、是ハ文字通
リデアリマシテ極メテ明瞭デアルト思ヒマ
スカラ特ニ説明ヲ申上ダマセヌ、第十二條
ハ「勞働組合ノ解散ノ事由ヲ書イテゴザイマ
シテ「勞働組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス」
即チ「ハ組合規約ヲ以テ定メタル解散事
由ノ發生致シタル場合、其次ハ解散ノ處分ヲ
受ケタル場合、第三ニハ大會ノ決議ニ依テ
解散ヲ決議致シタル場合、此三ツノ場合ヲ
定メタノデゴザイマス、而シテ第十三條ニ
於キマシテハ地方長官ト勞働組合ノ解散三
關スル關係ヲ規定致シタノデゴザイマシ
テ、第十三條ヲ簡單ニ讀上ダマスルナラバ
「地方長官勞働組合ノ解散ヲ爲サムトスル
トキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ要ス」
トスウ規定シテゴザイマス、是ハ地方長官
二直ニ勞働組合ノ解散權ヲ認メズシテ、併
ナガラ地方長官ハ勞働組合ヲ監督スルノ必
要上、解散ヲ爲スベキ必要アリト認メタル
場合ニ於テハ、直ニ解散ノ權能ハ持タナイ
ケレドモ、解散スベシト云フ意見デアリマ
スレバ、直ニ其事由ヲ附シテ行政裁判所ニ
出訴スルコトヲ要スト云フコトヲ規定シテ
アルノデゴザイマス、是モ色ニ關係ノ法規
等ガゴザイマスガ、一々ソレヲ申上ダセシ
テハ非常ニ時間ヲ取ルノデゴザイマスカ
ラ、詳細ノ説明ハ委員會ニ譲リタイト思フ
ゼザル場合ニハ其ノ取消・變更ヲ行政裁判
所ニ出訴スルコトヲ得」トスウ規定シテア
ルノデゴザイマス、即チ地方長官ニシテ勞
働組合ノ監督ノ必要上、其勞働組合ノ規約

不可思議ニ感ジテ居ラタノデアリマス、申ス
迄モナタ勞働組合ノ精神ハ、資本主義ノ制
度ノ下ニ於テ、強力ナル立場ニアル資本家
ニ對シテ、勞働者ガ個人單獨ノ力ヲ以テシ
テハ、到底有利ナル勞働條件ヲ獲得スルコ
トガ出來ナイト云フ點カラ發生スルノデア
ル、故ニ勞働者ハ當然多數ノ同一階級、同
一利害ヲ持テ居ル所ノ勞働階級ノ者ガ、互
ニ結束ヲシ、團體的ニ纏ミテ團體取引ヲ資本
家トノ間ニ爲サウトスル所ニ、勞働組合ノ
必要ヲ生ジテ來ルト云フコトハ、是亦申上
ダル迄エナク、藤原君ノ既ニ御諒承ノコト、
信ズルノデアリマス、團體協約ト云フモ
ノ、或ハ勞働協約ト言フテモ宜イノデアリ
マスガ、團體協約若ハ勞働協約ト云フモノ
ハ、此勞働者ト資本家トノ間ノ勞働條件ニ
關スル團體的取引、即チ團體交渉ヲ爲シ、
此團體交渉ノ結果勞資ノ間ニ詰ガ纏レハ、
ソレハ團體協約或ハ勞働協約ガ成立シノデ
アリマシテ、是ハ英吉利ノ例、其他世界各
國ノ例ヲ以テ見マシテモ、勞働組合ノ起源
カラ此事ガ存スルノデアリマス、故ニ團體
協約ヲ認ムルト云フコトハ何等「マルクス」
主義ニモ何ニモ關係ガゴザイマセヌ、私ハ
令ニ々細カイコトヲ申上ダル煩ヲ避ケタイ
ト思フノデアリマスルガ、例ヘバ先年御提
案ニナリマシタ、安達謙藏君ノ御出シニテ
リマシタ勞働組合法案ニモ、板野友造君ノ
御出シニナッタ勞働組合法案ニモ、或ハ政府
自ラ御提案ニナリマシタ所謂社會局案ト申
シマスル勞働組合法案ニモ、團體交渉、若
クハ團體協約ニ關スル規定ガ存在シテ居ル
ノデアリマス、併ナガラ之ヲ以テ何人モ是
等ノサウ云フ方ニガ「マルクス」社會主義ノ
ラウト思フ、故ニ團體協約ノコトガ勞働組
合法案ノ中ニ織込マレテ居ルト云フコト

ハ、労働組合其モノト離スベカラザル
アリト言シテモ差支ナイ、又團體協約ノ規定
アルガ故ニ、労働組合ニ這入ラナイ他ノ労働
者ヲ排斥スル意味デモ何デモゴザイマセ
又、御承知ノ如クニ、労働組合ノ資本家ニ
對スル關係ハ所謂「オープシヨップ」ト「クロ
ーズシヨップ」ト云モノガアルノデア
リマス「クローズシヨップ」ト云フノハ、御
承知ノ通り労働組合員以外ノ者ハ何人モ資
本家ガ之ヲ雇傭シナイト云フコトヲ規定致
シマス、是ガ「クローズシヨップ」デアル「オ
ープンシヨップ」ト申シマスルノハ、即チ労働
組合員モ使フ、又労働組合ニ關スル限りハ
其勢力組合トハ團體交渉ヲヤラウ、團體協
約ヲヤラウ、併ナガラ労働組合員ニアラザ
レバ其他ノ者ハ一切使ハナイト云フコトヲ
セズニ、労働組合員ノ者モ、労働組合員以
外ノ者モ一樣平等ニ使フト云フ立前ニ立
テ居リマスルノガ、是ガ「オープシヨップ」
デアリマス、是ハ労働組合主義者ノ立場カ
ラ申シマスナラバ「クローズシヨップ」ヲ理
想ト致シマスケレドモ、今日ノ日本ノ狀勢
カラ見テ直ニソコニ進ムコトガ出來ナイノ
デアリマスカラ、若シ資本家ト労働組合ト
ノ間ニ十分ニ交渉ヲシ、隔意ナク了解ヲ遂
ゲテ、爲シ得マス場合ニハ、進ンデ所謂「ク
ローズシヨップ」ヲ採リタイト思ヒマスケレ
ドモ、然ラザル限リハ「オープシヨップ」
モ亦已ムヲ得ヌコト、考ヘテ居ルノデアリ
マス、又協調主義トノ問題ニ付テ云々ノ御
辯モ出テ參ルノデアリマスガ、協調トハ何ゾヤ
ト云フコトヲ御尋致シタインデアル、勞資
協調ノ意義判明致シマスナラバ、自ラ其答
説ガアッタノデアリマスガ、協調トハ何ゾヤ
ル事實ヲ否定シ、若クハ溫情主義的ニ致シ
マスノガ勞資協調デアルト致シマスナラ

ハ、私ハ協調主義ニ對シテ反對デアルノミナラズ、協調主義ヲ以テシテハ斷ジテ勞働問題ノ解決ハ期シ得ザルモノト確信シテ疑ハザルモノデアリマス、又勞資抗争云々ノ對立ハ議論ノ問題デハナイ、理想ノ問題デハナイ、勞資對立ハ事實デアリマス、併ニガラ此對立ノ結果必然的ニ起シテ來ル所ノ勞働爭議、其他勞資間ノ抗争カ、若シ何等カノ抗争ノ目的トセラレルニ於テハ、延イテハ社會ノ秩序ヲ紊シ、或ハ國家ノ風紀ノ上ニ大害ヲ及ボスコトガナイ譯デハナイト思フ、隨テ產業界ノ平和ヲ攪亂致シ、又ハ生産能力ヲ衰ヘシメルコトハ當然デアリマス、故ニ國家トシテハ勞資ノ對立ハ事實トシテ認メルノデアル、ケレドモ勞資ノ對立ヲ事實トシテ認メ、如何ニスレバ勞資對立ノ關係ヲ合理的ニ統制シ、其合理的ニ統制ニ依テ、一面ニ於テハ產業界ノ平和ヲ招来シ、一面ニ於テハ國家繁榮ノ基礎ヲ導クベキカラ云フコトヲ考フルノガ、賢明ナル政治家ト信ズルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點カラ申シマスルト、私ハ強イテ對立セシメヤウトスルモノデハナイノデアリマス、勞資ノ對立、關係ハ事實デアリマス、勞資互ニ利害相異ナル立場ニアリマスカラ、自ラ對立ノ生ジテ來ルノハ當然デアリマス、唯對立ノ結果、餘リニ激シイ争鬭ガ起シテ來マスルナラバ、自ラ其弊害ハ之ヲ避ケナケレバナリマセヌノデ、勞働組合法制定ノ必要モ赤ソコニ在ル、國家ガ所謂勞働組合ノ必然性ヲ認め、此勞働組合ノ合理性ヲ認メ、勞働組合ヲ合法的ニ統制シテ、動モスルト陥リ易キ所ノ階級鬭争ノ結果、不測ノ禍ヲ避ケヤウトスルコトノ爲ニ、國家ハ進シテ

ト云フコトヲ仰セニモナリマシタシ、又私モ其意味ニ於テ本法案ヲ提出シタ次第デアリマス、其他色ニ御説ガゴザイマシタガ、ソレカラ其次ニ産業委員會法ニ賛成スルカシナイカト云フ御尋モアリマシタガ、是ハ能タ御説明ヲ承ラナケレバ分リマセヌ、併サガラ今迄承リマシタ所ノ關スル限リニ於テハ、私ハ産業委員會ノ如キハ殆ド何等日本ニ産業界、或ハ労働界ニ實效ヲ齋サベルモノナリト固ク信ズルノデアリマス、又裁國ニ於テ産業組合ノ制度ノ輸入セラレタノハ、彼ノ大戰ノ際ニ於テ英吉利ニ於キマスル「ショップ・コンミチーシステム」「ワーキング・コムニティーシステム」ソレヲ英吉利ヨリ直輸入セズシテ、私ノ知ツテ居ル限リニ於テハ亞米利加ヲ經テ來テ居ル、此大戰中ニ於ケル工場労働者統制ノ爲ニ「ショップ・コムニティーシステム」ワーキング・コムニティーシステム』ト云フモノヲ作リマシタノデアリマスガ、之ヲ最初ニ輸入シ、之ヲ最初ニ模倣致シマシタノハ、所謂亞米利加及加蓬疇ニ於テ農具製造會社ヲ經營シテ居リマスル「ハーベスタン」會社、此ハヨーロッパクニ「會社」ニ於テ最初ニ其業ヲ採入レテ、利用致シマシテ、ソレヲ我日本ノ國ニ翻譯ラシテ輸入セラレタノガ、日本ノ國ニ於テ產業委員會制度ハ、我國ノ工場ニ於タル一種ノ流行的ノ風潮ヲ招來致シマシテ、恐らく今日ニ於テモ其名ノ存シマス産業組合ト云フモノハ、日本全體ニ百四五十ヲ算スルノデアリマス、併ナガラ百四五十存スル所ノ產業

委員會ト云フモノハ、今日殆ド有名無實ノ

有様ニナツテ居ル、是ハ實際ノ事實デゴザイマス、此點カラ申シマシテモ、若シ從來ノ制度ニ依リマシテ產業委員會法ト云フモノヲ御立案ニナツタモノトスレバ、今日殆ド其名前ヲ留ムルモ、其實質ノ無イ產業委員會制度ヲ、今日以後ニ於テ復活ナサラウトスルノデアッテ、其目的トセラル、所ノ勞資ノ間ノ抗争軋轢ヲ極度ニ之ヲ制限シ、出來得能カヲ高メヤウトスル、其御趣旨ハ私大ニ尊重シマスルガ、私ノ過去二十年ノ勞働運動ノ體驗カラ申シマヘルト、日本ノ國ニ於テ如何ニ法律ニ於テ產業委員會制度ヲ御設ケニナルモ、其實行ハ極メテ困難デアルト云フコトヲ、私ハ今日之ヲ明言シテ憚ラナイモノデアリマス、又社會民衆黨ノ綱領云云ト言ハレマシタガ、勿論ゴザイマス、是ハ勿論此點ニ依テ此案ヲ立案セラレタモノト申シテモ宜シノデアリマスガ、此點ガ社會民衆黨ノ綱領ノ中ニアルカラ、此案ヲ出シタノデハナイ、吾々ハ當常平生斯ノ如キ法案ノ必要ナルコトヲ信ジテ居リマスルカラ、一面ニ於テハ社會民衆黨ノ綱領ノ中ニモ現レ、他ノ一面ニ於テハ本議場ニ於テ本案トナツテ現レタノデアリマス、次ニ社會民主主義云々ト云フ御詰デアリマスガ、何レ暇ガアツタラ説明致シマスガ、此席上ニ於テ學術上ノ議論ヲスル必要ハナカラウト思ヒマス、申上ダル迄モナク藤原君トモゴザル方ガ社會民主主義ガ何ダト云フコトヲ御承知ナク御聞キニナツタノデハナイト思ヒマスカラ、是ハ適當ノ機會ニ於テ必要アルナラバ御説明申上ダタイト存ジマス、是ハ嘗テ、甚ダ樂屋落ノヤウナコトヲ申スノデアリマスガ、第一控室ニ於テ個人的ニ對談致シタコトモアルノデアリマス、個人的對

談ナラバ個人的對談トシテ板フノガ適當デ

アルト思ヒマス、私ハ本議場ニ於テ特ニ御答スルコトヲ認メナインデアリマス、最後ニ民政黨ト交渉ガアツタト云フ御詰デアリマスガ、何處デ御聽キニナツタカ知リマセヌガ、私ハ未ダ嘗テ民政黨ト本法案提出ニ付テ御相談致シタコトハアリマセヌ、唯併ナガラ本法案ノ提出ニ付キマシテハ、前ニモ本法案ヲ説明致シマスル場合ニ於テ御断リ申上ダマシタ通り、此内容其モノニ付テ全部ノ賛成ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、私共無產黨ハ僅ニ八名、後ニ七名ニナツタノデアリマス、第一控室ノ同僚諸君ニ於テモ、必シモ本法案ノ内容其モノニ付テ御賛成ニナツテ居ル御方バカリデハナインデアリマスガ、ソレデハ紹介者トシテ到底規定ノ賛成者ヲ得テ、本案ヲ提出スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、嘗テ其先例モアルト云フコトヲ承テ居リマスノデ、唯本法案ヲ上程スルコトニ付テ、議場ニ上セテ論議スルコトニ付テ、賛成ヲシテ貴ヒタイト云フコトニ依テ、漸ク成規ノ賛成者ヲ得タ譯デアリマス、尙ホ此點ニ付テ申上ダマスルナラバ、嘗テ私ハ此案ニ付テ政友會ノ方ニモ民政黨ノ方ニモ、私ノ個人ノ學友モアルシ、又尊敬シテ居ル所ノ私ノ知己友人モアルノデアリマスカラ、サウ云フ進歩の立場ニ居ル所ノ諸君ニ向テ個人的ニモ贊成署名シテ吳レナイカト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、政友會ニ於テモ民政黨ニ於テモ、黨ノ幹部ダソレヲ許サナイト云フヤウナ事實ガアルノデアリマス、故ニ民本法案ノ上程ガ十日許リモ其爲ニ遲レマシタヤウナ事實ガアルノデアリマス、故ニ民政黨ニ交渉云々ト云フコトハ更ニ何モゴザイマセヌ、隨テ勞働組合法案ノ委員會ニ於テ添田氏ガドウ云フヤウナ御問答ガアツタ

カハ知リマセヌガ、其事スラモ伺テ居ラヌ

ヤウナコトデアリ、何等交渉ガナイト云フコトヲ唯、一言申上ダテ置クノデアリマス、尚ホ御尋ガアリマスルナラバ申上ダマスガ、併シ大分御迷惑ダト思ヒマスカラ、私ハ未ダ嘗テ打切ニ致シマシテ、後ハ委員會ニ於テ詳細ニ御答辯申シタイト思ヒマス

〔藤原米造君登壇〕
○藤原米造君 重要ナル點デゴザイマスルカラ、重ネテ極メテ端的ニ私ハ御迷惑致シマス、私ハ總テノ説明ヲ省イテ、端的ニ提案者ノ御意思ヲ伺フテ居ルノデアリマシタガ、提案者ノ御答辯ハ説明多クシテ明瞭ナル結論ヲ伺フコトガ出來ナイノヲ遺憾ト致シマス、此有様デハ一問一答ノ形式ニ依ル外ナイト思ヒマスカラ、委員會ニ於テ伺フコトニ致シマス、唯勞資協調ノ精神ニ付テ疑問ナガラ此問題ニ付テハ、身命ヲ懸ケテヤラウト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス、ソレガ若シ必要ガアリマスルナラバ、又議場ニ於ケル他ノ同僚諸君ニ依テ夜ヲ徹シテ談論スルコトヲ決シテ辭スル者テハアリマセヌ、併ナガラ委員會ニ於テト云フ御説が段々アリマスルノデ、好シニ自カラ論争スルコトハ、私ハ同僚諸君ノ御趣旨ニ副ハヌト思フノデアリマスルカラ、此議場ニ於テハ論争スルコトハ避ケタイト思フケレドモ、決シテ本問題ニ付テノ討論、若クハ論争ヲ避ケル者デハナイト云フコトヲ申上ダルノデアリマス、又團體協約云々ノ問題ニ付テ御尋ガゴザイマスルガ、念ノ爲ニ私ノ手許ニ調べタモノガアリマスルカラ、現在我日本ノ國ニ於テ勞働組合ト資本家トノ間ノ團體協約ノ出來テ居ル實例ヲ申上ダマセウ、御参考ノ爲ニ、第一ニ日本勞働總同盟ト資本家ノ間ニ出來テ居リマスル所ノ團體協約ノ數ハ二十八會社、三十工場、組合ノ數九組合、二十四支部デアリマス、人員ハ合計五千八

サレタノデアル、サウ云フ彌次ガ山本宣治
君暗殺ノ後ハ點打テアリマシテ「發言
スル者多シ」○副議長(清瀬一郎君) 西方
利馬君ト津雲國利君トニ退場ヲ命ジマス
斯ウアル(其通り)「當リ前ダ」ト呼フ者ア
リ)諸君、當リ前ト御恩ヒニナル民政黨ノ
諸君ハ、更ニ靜ニ御聽キヲ願ヒタイ(御聽
キスル譯ニハ行カヌナト呼フ者アリ)ソレ
ガ嫌ヤナラ御退場ヲ願ヒタイ、共產黨ヲ殺
シテモ宜シイ、火焙リニシテモ宜シトイト云
フヤウナ無責任ナ言葉ヲ、議員ガ議席カラ
彌次レバコソ山本宣治君ハ殺サレタト、淺
原君ハ斯様ニ言テ居ル、共產黨ヲ火焙リニ
シテモ宜シイ、共產黨ヲ殺シテモ宜シトイト
言ツタノハ確ニコノ私デアル、誰カ之ヲ否定
スル者ガ日本國民トシテアルカ(拍手)吾々
ハソレコソ、度々生命ヲ賭ス、身命ヲ捨テ
ルト此壇上カラ言フ者ガアルガ、私ハ全ク
身命ヲ賭シテ共產黨トハ闘フノデアル(拍
手)共產黨ノヤウナモノハ――共產主義ノ
宣傳ヲ爲スガ如キ者ハ、サウシテ此主義ノ
實行ヲ爲スガ如キ者ハ、私ハ火焙リニシテ
モ、鋸引キニシテモ、八ツ裂キニシテモ、
何ニシテモ宜シイト思フ、是ハ我々ノ祖先
傳統ノ精神デアル、日本國民ノ大精神デア
ル、之ニ反抗セントスル者ガ民政黨ノ中ニ
アルノカ(此時發言スル者アリ)明ニ共產黨
トアル、諸君ハ議會ノ速記録ヲ御否定ナサ
ル御積リカ民政黨ノ諸君ハ議會ノ速記録ヲ
御否定ナサルカ、是ハ否定出來ヌデハナイカ
〔此時發言スル者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君) 静肅ニ願ヒマス

○津雲國利君(續) 然ラバ明ニ淺原健三君

ハ私が議席カラ彌次タコトガ理由デ、山本

宣治君ガ殺サレタトス様ニ言ツタノデアル、
詰リ山本宣治君ヲ殺ス煽動ヲ爲シタモノハ
不肖津雲國利デアルト、斯様ニ言ツタノデア

ル、(此時發言者多ク議場騒然)明白デハナ
イカ、明デハナイカ、モウ一度忿ノ爲ニ讀ミ
スル者多シ)○副議長(清瀬一郎君) 西方
利馬君ト津雲國利君トニ退場ヲ命ジマス
斯ウアル(其通り)「當リ前ダ」ト呼フ者ア
リ)諸君、當リ前ト御恩ヒニナル民政黨ノ
諸君ハ、更ニ靜ニ御聽キヲ願ヒタイ(御聽
キスル譯ニハ行カヌナト呼フ者アリ)ソレ
ガ嫌ヤナラ御退場ヲ願ヒタイ、共產黨ヲ殺
シテモ宜シイ、火焙リニシテモ宜シトイト云
フヤウナ無責任ナ言葉ヲ、議員ガ議席カラ
彌次レバコソ山本宣治君ハ殺サレタト、淺
原君ハ斯様ニ言テ居ル、共產黨ヲ火焙リニ
シテモ宜シイ、共產黨ヲ殺シテモ宜シトイト
言ツタノハ確ニコノ私デアル、誰カ之ヲ否定
スル者ガ日本國民トシテアルカ(拍手)吾々
ハソレコソ、度々生命ヲ賭ス、身命ヲ捨テ
ルト此壇上カラ言フ者ガアルガ、私ハ全ク
身命ヲ賭シテ共產黨トハ闘フノデアル(拍
手)共產黨ノヤウナモノハ――共產主義ノ
宣傳ヲ爲スガ如キ――名前コソ指シマセ
ヌガ、極メテ不穩當ナル言葉ヲ敢テ此壇上
カラ議席ニ向ツテ投付ケタ所ノ淺原健三君
ニ對シテハ、何等ノ御注意モ爲サラズニ、私
ニ對シテノミ直ニ退場ヲ命ジタル所ノ副議
長ノ御態度ガ、果シテ公平デアルト言ヘルデ
アリマセウカ(拍手起リ)「不公平」ト呼フ者
アリ)私ハ此副議長ノ態度ト云フモノハ甚
ダ遺憾デアルト斯様ニ考ヘル、即チ壇上カ
ラ吾々ノ憤慨ニ對シテ應酬ヲ爲シテ、サウ
シテ此無禮ナル暴言ヲ發シタル所ノ淺原君
ニ對シテハ、何等ノ注意ヲ爲サズ而シテ自
然ニ日本國民ノ至情トシテ當然起ルベキ腹
ノ底カラノ憤激ヲ、思ハズ發シタル所ノ私
シテハ、私ハ遺憾ナガラ是ハ副議長ノ不公
平不穩當ナル處置トシテ、之ヲ副議長ニ申
上げテ、私ハ其御答辯ヲ聽カナケレバナラ
ス、反省ヲ求メナケレバナラヌノデアリマ
ス、尙ホ私ハ更ニ淺原健三君ニ申上ゲル、
過般ノ對支外交ニ對スル質問ノ中ニ、淺原
君ハ殺サレタノデアル、斯ウ言ツテ居ル、
此彌次ハ私が飛バシタノデアリマス、是ハ
葉ヲ議員ガ議席カラ彌次レバコソ、山本宣
治君ハ殺サレタノデアル、斯ウ言ツテ居ル、
アル、私ガ信念ヲ以テ腹ノ底カラ叫ンダ彌
次デアル、是ハ私ノ憤激抑ヘルコトノ出來
ニ、反省ヲ求メナケレバナラヌノデアリマ
ス、尙ホ私ハ更ニ淺原健三君ニ申上ゲル、
過般ノ對支外交ニ對スル質問ノ中ニ、淺原
君ニ對シテ、滿蒙ニ於ケル特殊權益ヲ抛棄ス
ル意思ハナイカ、直

ニ抛棄スル意思ハナイカ、支那ヨリ租

借地ヲ――支那ニ於ケル和借地ヲ直ニ抛
棄スル意思ハナイカ、滿洲支那ニ滯在スル
所ノ日本ノ軍隊、軍艦ヲ直ニ撤退スルノ意
テモ宜シトイト云フヤウナ無責任ナル言葉ヲ議
員ガ議席カラ彌次レバコソ山本宣治君ハ殺サ
レタノデアルト、之ニ對シテ私が黙ツテ其
儘ニ濟マシテ居ラレルカ、詰リ私ガ山本宣治
君ヲ殺シタトス様ニ言フノデアル、私ガ其
場合ニ憤慨シテ此淺原君ノ言葉ニ對シテ怪
シカラヌ、馬鹿野郎怪シカラヌゾト言ツタコ
トハ、寧口當然デハナイカ(其通り)ト呼
フ者アリ)此不穩當ナル、私ガ殺人教唆ヲ
爲シタト云フガ如キ――名前コソ指シマセ
ヌガ、極メテ不穩當ナル言葉ヲ敢テ此壇上
カラ議席ニ向ツテ投付ケタ所ノ淺原健三君
ニ對シテハ、何等ノ御注意モ爲サラズニ、私
ニ對シテノミ直ニ退場ヲ命ジタル所ノ副議
長ノ御態度ガ、果シテ公平デアルト言ヘルデ
アリマセウカ(拍手起リ)「不公平」ト呼フ者
アリ)私ハ此副議長ノ態度ト云フモノハ甚
ダ遺憾デアルト斯様ニ考ヘル、即チ壇上カ
ラ吾々ノ憤慨ニ對シテ應酬ヲ爲シテ、サウ
シテ此無禮ナル暴言ヲ發シタル所ノ淺原君
ニ對シテハ、何等ノ注意ヲ爲サズ而シテ自
然ニ日本國民ノ至情トシテ當然起ルベキ腹
ノ底カラノ憤激ヲ、思ハズ發シタル所ノ私
シテハ、私ハ遺憾ナガラ是ハ副議長ノ不公
平不穩當ナル處置トシテ、之ヲ副議長ニ申
上げテ、私ハ其御答辯ヲ聽カナケレバナラ
ス、反省ヲ求メナケレバナラヌノデアリマ
ス、尙ホ私ハ更ニ淺原健三君ニ申上ゲル、
過般ノ對支外交ニ對スル質問ノ中ニ、淺原
君ニ對シテ、滿蒙ニ於ケル特殊權益ヲ抛棄ス
ル意思ハナイカ、直

○副議長(清瀬一郎君) 津雲君ノ發言中、
議長ノ措置ニ關シ陳述サレタ部分ニ關聯致
シマシテ、一言辯明致シマス、共產黨ニ對ス
ル御意見其他ニ付テハ、議長ヨリ辯明致ス
限デナイト思ヒマス、議長ハ職權ノ行使
ニ付テモ特ニ注意ヲ致シテ居ルノハ退場命
令デアリマス、一旦退場ヲ命ゼラレマスレ
バ、其議員ハ議事ニ參加スル權能ヲ失フノ
デ、他ノ警告、注意其他ヨリモ之ヲ重要ニ
考ヘテ居リマシテ、輕々ニ之ヲ使ハナイヤ
ウニ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ先刻
開會中ノ議案ハ何デアルカト申スト、同僚
議員ガ議會開會中ニ或者ノ爲ニ暗殺セラレ
タ、其葬式ニ關聯シタ問題デアリマス、問
フ者モ又際ヲ正シテ之ヲ問ヒ、答フル者モ
亦襟ヲ正シテ答ヘルノガ當然デアリマス、問
加之院外ノ形勢ニ鑑ミ、一ツノ問、一ツノ
答ハ國民ニ對シテハ相當ノ「センセーション」ヲ與ヘルモノト考ヘマシタ、夫故ニ問
フ者モ亦趣旨ヲ徹底セシメナケレバナリマ
セヌ、是ハ又政府委員ニ於テ答ヘラレルニ
付テモ、騷擾中ニ聽取シタコトヲ間違ヘテ
答ヘラレテハ、御迷惑ニ相成ル場合モアラウ
ト思ヒマス、夫故ニ議長ハ甚ダ遺憾ナガラ
津雲君、西方君ノ御兩君ニ向ツテ先ソ警告告
知シタノデアリマス、イキナリ退場ヲ命ジ
タノデアリマセヌ、靜肅ヲ求メタノデアリ
マス、然ルニ如何ニシテモ靜肅ニサレマセ
ス、其形勢ハ益追テ參リマス、之ヲ放任

スレバ議場ノ混亂ヲ生ジモスマジキ形勢アリマシタカラ、議院法第八十七條ニ依テ断然退場ヲ願シタ次第アリマス、併ナガラ御兩君ノ審議権ヲ重ンジ、此質問應答が濟ミマシタカラ、直ニ入場ヲ許シマシタ次第アリマス、之ヲ以テ御了解ヲ願ヒマス——浅原健三君

〔浅原健三君登壇〕

○浅原健三君 常ニ辛辣ナル彌次ヲ飛バシテ、此議場ニ一抹ノ活氣ヲ呈セラレル津雲

國利君ガ、不穏ナル言トシテ取消ヲ要求セラレタコトニ對シ、御無禮ナガラ奇異ノ感

ヲ持ツ者デアリマス、私ノ申上ダマシタ言葉ハ、速記録ニ依リマスト共產黨ヲ殺シテ

モ宜イ、火焙リニシテモ宜イト云フヤウナ無責任ナル言葉ヲ議員ガ議席カラ彌次レバ

コソ、山本宣治君ハ殺サレタノデアル、是ハ津雲君ガ御認メニナツタヤウデアリマス、火焙リニシテモ宜イト云フノハ俺ガ言タ

ト津雲君ハ此壇上カラ宣言セラレタ、殺シテモ宜イト言ッタト云フコトハ、自分が間違ヒナク言タト言ハレタ、若シ共產黨員ニシテ殺シテ宜イヤウナ罪ガアルナラバ、天皇

ノ名ニ於テ裁判所ガ之ニ判決ヲ下スノデアル、議員ガ……

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○副議長(清瀬一郎君) 静肅ニ願ヒマス

○淺原健三君(續) 議員ガ勝手ニ——勝手ニ——司法權モ持タナイ議員ガ(此時發言スル者多シ) 御黙リナサイ——デハ、アナタ方ガ御滿次リニナル間默ニテ居リマス

〔「共產黨カ」「共產黨カ」「共產黨ナラ即キ殺セ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君) 静肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス

○淺原健三君(續) 死刑ニ値ヒスル者ヲ——死刑ニ値ヒスル者ヲ、死刑ヲ決定スルモノ

ハ裁判所アルノミデアリマス、然ルニ——然ルニ議員ガ、然ルニ議員ガ、法國二於テ議場カラ殺シテモ差支ナド、云フ不穩當ナル言葉ヲ發

スレバコソ、黒田保久一ト云フガ如キ者ヲ

モ差支ナインド、云フ不穩當ナル言葉ヲ發

スレバコソ、デハナイカ「山本君ハ共產黨デハナイ

デハナイカ」共產黨ナラバ殺シテモ宜

イト云フコトガ山本君ヲ殺シテモ宜イ

ト云フ結論ニドウシテナルカ」ト呼ヒ

其他發言スル者多ク議場騒然〕

○副議長(清瀬一郎君) 静肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス

○淺原健三君(續) 故ニ苟モ權威アル帝國議會ニ於テ、議員ガ——議員ガ議席カラ勝

手ニ殺シテ宜イトカ、或ハ火焙リニシテ宜

イト云フガ如キ不穩當ナル言ヲ發スレバコソ、黒田保久一ノ如ク……

〔共產黨ヲ殺シテモ宜イト云フコトガ山本君ヲ殺シテモ宜イト云フコトニタルカ〕衆議院ハ全體トシテ遺憾トシテ居ル」貴様ノ方ガ山本君ノ死ニ對シテ汚點ヲ印シテ居ルトキハ之ニ對シ命令ノ定

他發言スル者多ク議場騒然〕

○副議長(清瀬一郎君) 矢野君、暫ク静肅ニ願ヒマス、矢野君ニ注意致シマス、静肅ニナサラスト議事ガ進行致シマセヌ

○淺原健三君(續) 故ニ私ハ少クトモ議員ガ議席ニ於テ(此時發言スル者多シ) 御騒ギニナルナラバ御鎮マリニナルマテ待テ居リマス(發言スル者多シ) 議員ガ議席ニ於テ居タル後再審ノ判決ニ因リ無罪ノ言渡アリタル場合ニ於テハ被告人生存スルトキ第一條ノ規定ニ依リ受クヘカリシ補償金ヲ其ノ父母、配偶者又ハ子ニ交付ス

〔「共產黨カ」「共產黨カ」「共產黨ナラ即キ殺セ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君) 静肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス

○淺原健三君(續) 死刑ニ値ヒスル者ヲ——死刑ニ値ヒスル者ヲ、死刑ヲ決定スルモノ

太イト云フガ如キ児行ヲ演ズルノ空氣

ヲ作ツテ行クモノデアル、故ニ斯ノ如キ不穩當タル言葉、斯ノ如キ不穩當ナル彌次ハ、

モ差支ナインド、云フ不穩當ナル言葉ヲ發

スレバコソ、黒田保久一ト云フガ如キ者ヲ

モ差支ナインド、云フ不穩當ナル言葉ヲ發

スレバコソ、デハナイカ「山本君ハ共產黨デハナイ

デハナイカ」共產黨ナラバ殺シテモ宜

イト云フコトガ山本君ヲ殺シテモ宜イ

ト云フ結論ニドウシテナルカ」ト呼ヒ

其他發言スル者多ク議場騒然〕

○副議長(清瀬一郎君) 静肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス

○淺原健三君(續) 故ニ苟モ權威アル帝國議會ニ於テ、議員ガ——議員ガ議席カラ勝

手ニ殺シテ宜イトカ、或ハ火焙リニシテ宜

イト云フガ如キ不穩當ナル言ヲ發スレバコソ、黒田保久一ノ如ク……

〔共產黨ヲ殺シテモ宜イト云フコトガ山本君ヲ殺シテモ宜イト云フコトニタルカ〕衆議院ハ全體トシテ遺憾トシテ居ル」貴様ノ方ガ山本君ノ死ニ對シテ汚點ヲ印シテ居ルトキハ之ニ對シ命令ノ定

他發言スル者多ク議場騒然〕

○副議長(清瀬一郎君) 矢野君、暫ク静肅ニ願ヒマス、矢野君ニ注意致シマス、静肅ニナサラスト議事ガ進行致シマセヌ

○淺原健三君(續) 故ニ私ハ少クトモ議員ガ議席ニ於テ(此時發言スル者多シ) 御騒ギニナルナラバ御鎮マリニナルマテ待テ居リマス(發言スル者多シ) 議員ガ議席ニ於テ居タル後再審ノ判決ニ因リ無罪ノ言渡アリタル場合ニ於テハ被告人生存スルトキ第一條ノ規定ニ依リ受クヘカリシ補償金ヲ其ノ父母、配偶者又ハ子ニ交付ス

〔「共產黨カ」「共產黨カ」「共產黨ナラ即キ殺セ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君) 静肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス

○淺原健三君(續) 死刑ニ値ヒスル者ヲ——死刑ニ値ヒスル者ヲ、死刑ヲ決定スルモノ

裁判所又ハ免訴ノ決定ヲ爲シタル豫審判事ノ屬スル裁判所決定ヲ爲ス此ノ決

定ニ對シテハ不服ヲ申立ソルコトヲ得

在リテハ被告人死亡ノ日ヨリ六十日内

二書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三條及第四條ノ場合ニ於テ申立人數人アルトキハ補償金ノ交付ヲ受クヘキ者ニ

者及其ノ數額ハ裁判所之ヲ定ム

本條ノ手續ニ付テハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第六條 被告人再審ノ請求又ハ刑事訴訟法第三百十七條ノ規定ニ依リ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テハ補償金付決定ヲ爲シ起ニ因リ有罪ノ言渡ヲ受クタルトキハ補償ノ決定ハ其ノ效力ヲ失フ

補償ノ決定ハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ場合ニ於テハ補償金付決定ヲ爲シタル裁判所ハ決定ヲ以テ支拂ヲ爲シタル

金額ヲ國庫ニ返還セシムコトヲ得

補償ノ申立ニ關スル事件繫屬中又ハ補償金付決定ヲ以テ支拂ヲ爲シタル

事訴訟法第三百十七條ノ規定ニ依リ受クヘシ

訴ノ提起アリタルトキハ其ノ裁判確定ニ至ル迄手續ヲ停止シ又ハ補償金ノ支拂ヲ中止スヘシ

第二項ノ決定ニ依リ返還セシムヘキ金額ノ取立ニ付テハ刑事訴訟法第五百五十三條ノ規定ヲ準用ス

第七條 補償ノ決定ハ其ノ要旨ヲ官報ニ掲載シテ公告スヘシ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

○副議長(清瀬一郎君) 宮古啓三郎君ニ發

者ノ申立ニ因リ無罪ノ判決ヲ爲シタル

○副議長(清瀬一郎君) 宮古啓三郎君ニ發

言ヲ許シマシタ、貴方ノハ後ニシテ下サ

イ——宮古啓三郎君

〔宮古啓三郎君登壇〕

〔清瀬副議長議長席ヲ退キ川原議長代

リ著席〕

○宮古啓三郎君 極メテ簡單ニ本案ノ提出

ノ趣旨ヲ申述べマスカラ御清聽ヲ仰ギマス、

本案ハ國家賠償法ノ一部デアリマシテ、刑

事ニ關スル部分デアリマス、同ジ人間ト致シ

マシテ、何等犯シタル罪ナクシテ牢獄ニ投

ゼラル、位不幸ナ者ハゴザイマセヌ、之ガ

爲ニ其名譽ハ毀損セラレ、其信用ハ失墜致

シ、且又其精神上ノ苦痛ト云フモノハ幾何

ナルヲ知ラヌノデアリマス、而シテ啻ニ其

本人バカリデハゴザイマセヌ、其親族、

即チ其配偶者、其親子、兄弟等マデモ、之

ガ爲ニ悲慘ナル憂目ヲ見ルト云フコトハ、

通常ノ狀態デアルノデアリマス、而シテ斯

ノ如キ結果ヲ來シタリト云フコトガ、官憲

ノ誤リタル認定ノ爲デアリマスル以上ハ、

此冤罪者ニ對シテハ、國家ニ於テ相當ノ損

害賠償ヲ致サナケレバナラヌト云フコト

ハ、當然ノ措置デアルト存スルノデアリマ

ス、文明國諸國ノ立法例ヲ見マシテモ、此種

ノ立法ノアリマスルモノガ少クナイノデア

リマス、然ルニ我ガ日本ニ於キマシテ今

日……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(川原茂輔君) 静肅ニ願ヒマス

○宮古啓三郎君(續) 此種ノ立法ノゴザイ

マセヌノハ、誠ニ遺憾極リナイト存ズルノ

デアリマス、ソレ故ニ此種ノ立法ヲ日本

ニモ制定ヲ致シタイト云フノガ、本案提出

ノ理由デアルノデアリマス、宜シク御審議

ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(川原茂輔君) 本案ニ付テハ質疑ガ

「一松定吉君登壇」

○一松定吉君 只今上程サレテ居リマスル

國家賠償法案ニ對シマシテ、提案者ニ少シ

ク御質問申上ゲテ見タイノデアリマス(簡

單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ勿論簡單ニヤ

リマス、私共ハ罪アリトシテ收監セラレ

タル者ガ、裁判ノ結果無罪ニナリマシタ場

ト云アコトハ、文明國トシテハ當然ノ事デ

アルトノ宮古君ノ御提案ノ理由ニハ、勿論

賛成致ス者デアリマスガ、唯此法案ノ中ニ

於ケル疑問ヲ二、三伺テ見タイノデアリマ

ス、第一ハ、第二條ニ勾留セラレタル者ガ

無罪ニナリタル場合云々トアリマスルガ、

此勾留セラレタル者ト云フ中ニハ、違警罪

即決例ニ依テ勾留セラレタル者ガ、正式裁

判ノ申立ヲナシタル結果、無罪ニナッタ者モ

包含スルノデアリマスカ、如何デアリマス

カト云フコトガ第一、第二ハ、賠償ヲ受ケ

マスル者ニ對シマシテ、第二條、第三條、

第五條ニ規定シテアル所ニ依レバ、其本人

ト云フ者ノ父母、配偶者、子、是ダケニ限シ

タノハ如何ナル理由デアリマセウカ、刑事

訴訟法ノ第四百九十二條ニ依リマスト、死

亡シタル者ノ再審ヲ求メ得ベキモノハ、其者

ノ家督相續人、並ニ直系親族、並ニ兄弟姉

妹ト、斯様ニ規定セラレテアルノデゴザ

イマスガ、本案ニ於テ之ヲ父母、配偶者、

子ニ限シタ譯ハ如何デアリマスカ、ソレカラ

第三ニハ、斯様ナモノガ競合シタ時ニ於テ

ハ、裁判所ガ其順序ヲ定メルト云フコトヲ第

五條ニ規定シテアリマスガ、寧口是ハ其順

序ヲ法文ニ規定サレタ方ガ宜ノデハアリ

マセヌカ、然ラザレバ本人ノ死亡後、親族

間ニ於テ互ニ争フ生ズルト云フコトニナリ

トニ致シタラ如何デアルカト云フノデアリ

マスルガ、本案デハ其處マデハ致シマセヌ

恩ハレマスガ如何デアリマスカ、ソレカラ

又第六條ノ規定ニ依リマスルト、此賠償ノ

決定ヲ取消ス所ノ決定ハ、其賠償ヲ與ヘル

所ノ裁判官ガ之ヲ爲スト云フコトニナッテ

居リマスガ、此場合何人ガ此事ヲ裁判所ニ

要求シ、何人が之ヲ裁判官ニ通知スルノデ

アリマスカ、私共ハ此場合ニハ檢事ヲシテ、

此取消決定ヲ請求セシムルヤウニシタ方ガ

宣イト思アノデアリマスガ、提案者ハドウ

云フ御考ニナッテ居ルノデアリマスカ、其次

ニ御尋致シタイコトハ、本法案ハ犯罪アリ

トシテ、裁判ガアッタ後ニ於テ、其犯人が死

亡シタ場合ノミニ限ルノデアリマスカ、裁

判進行中ニ於テ被告人ガ死亡セラレタ時ニ

於テモ、他ノ共犯者が無罪ニナッタト云フガ

如キ場合ニ於テ、死亡シナカツタナラバ、此

者モ當然無罪ニナルノデアルト云フガ如キ

場合ニ於テハ、是等ノ者ノ親族、配偶者等

ニモ本法ヲ適用シテ、補償金ヲ與ヘルト云

フコトガ宜イデハゴザイマセヌカ、此點ニ

第五條ニ規定シテアル所ニ依レバ、其本人

ト云フ者ノ父母、配偶者、子、是ダケニ限シ

タノハ如何ナル理由デアリマセウカ、刑事

訴訟法ノ第四百九十二條ニ依リマスト、死

亡シタル者ノ再審ヲ求メ得ベキモノハ、其者

ノ家督相續人、並ニ直系親族、並ニ兄弟姉

妹ト、斯様ニ規定セラレテアルノデゴザ

イマスガ、本案ニ於テ之ヲ父母、配偶者、

子ニ限シタ譯ハ如何デアリマスカ、ソレカラ

第三ニハ、斯様ナモノガ競合シタ時ニ於テ

ハ、裁判所ガ其順序ヲ定メルト云フコトヲ第

五條ニ規定シテアリマスガ、寧口是ハ其順

序ヲ法文ニ規定サレタ方ガ宜ノデハアリ

マセヌカ、然ラザレバ本人ノ死亡後、親族

間ニ於テ互ニ争フ生ズルト云フコトニナリ

トニ致シタラ如何デアルカト云フノデアリ

マスルガ、本案デハ其處マデハ致シマセヌ

トデアリマス、ソレモ敢テ惡イ事デハアリ

マスマイガ、最初ノ試ミデアリマスカラ、

其處マデハ擴ダナイコトニ致シタノデアリ

マス、ソレカラ第一ノ御質問ハ、本案ノ第三

條以下ニ書イテアリマスル此親族ダケデハ

少イデハナイカ、モット擴ダテハドウデアル

カト云フノデアリマスガ、是モ先づ父母ト

配偶者ト子供トニ賠償金ヲ與ヘルト云フコ

トニシテ宜カラウト云フ考カラ、之ニ止メ

マシタ次第デアリマス、ソレカラ第三ノ御

問ハ、親族ノ中ニ順序ヲ決メタラドウデア

ルカト云フノデアリマスカ、是モ其時ノ事

情ニ依テ色々相違ガゴザイマスルカラ、其

點ニ付テハ裁判所ニ任セルコトニ致シタノ

デアリマス、ソレカラ第四以下ノ御質問ニ對

シテハ、文面ニ書イテアル通り、先づ今

日ハ適當デアルト云フコトデ、斯様ニ致シ

タノデアリマス、後ノ詳シイ事ハ委員會ニ

於テ申上ダマス

○一松定吉君 自席カラ一寸一言デ

ス、只今ノ御答ノ中ニ、違警罪即決ニ關ス

ル御答辯ハ、私ノ尋ねタ趣旨ヲ誤解サレテ

居ルヤウデアリマスガ、私ノ御尋ハ、第二

條ニ拘留セラレタ者ガ無罪ニナッタ時ニハ

云々トアル、此拘留ノ中ニハ、違警罪即決

例ニ依テ罰セラレタ者ガ正式裁判ノ申立ヲ

爲シ、正式ノ訴訟手續ニ依テ無罪ニナッタ

者モ包含スルノカト云フコトヲ御尋シタノ

デアリマス、若シ此正式裁判ノ結果無罪ニ

ナッタ者ハ包含セヌト云フコトデアルナテ

バ、御提案ノ法文ダケデハ分ラナイノデア

リマスガ……

〔宮古啓三郎君登壇〕

○議長(川原茂輔君) 宮古啓三郎君——御

登壇ニナッテハ如何デスカ

○議長(川原茂輔君) 宮古啓三郎君——御

登壇ニナッテハ如何デスカ

○宮古啓三郎君 只今一松君ノ御質疑ニ對

シテ簡潔ニ御答ヲ致シタス、第一ノ御問ハ、

マセヌカ、然ラザレバ本人ノ死亡後、親族

間ニ於テ互ニ争フ生ズルト云フコトニナリ

トニ致シタラ如何デアルカト云フノデアリ

マスルガ、本案デハ其處マデハ致シマセヌ

ト正

式裁判ヲ仰イデ、而シテ後ニ無罪ニナフタト
云フ者ハ、此條文ニ這入ルノデアリマス

○一松定吉君 分リマシタ

○原物兵衛君 本案ハ牧野賤男君外二名提出、刑法中改正法律案外二件ノ委員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（川原茂輔君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程ノナスニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマス、日程第十四、陪審法中改正法律案、日程第十五、衆議院議員選舉法中改正法律案、日程第十六、衆議院議員黨籍變更ニ關スル法律案ノ三案ヲ一括シテ、其第一讀會ヲ開キマス、提案者ノ趣旨聲明ヲ許可致シマス——小久江美代吉君

第十四 陪審法中改正法律案（横山勝太郎君外三名提出） 第一讀會
陪審法中改正法律案
陪審法中左ノ通改正ス
第一條ノ二 陪審ノ評議ニ付スルコトヲ得ル犯罪ニ付告訴告發ニ係る場合ノ起訴不起訴處分ハ告訴人又ハ告發人ノ請求アルトキハ檢事ハ費用ヲ豫納セシメ之ヲ準用ス
第九十五條ニ左ノ一項ヲ加フ
裁判所陪審ノ答申ヲ不當ト認メ事件ヲ他ノ陪審ノ評議ニ付スルノ決定ヲ爲シタルトキハ全然構成ヲ異ニスル他ノ裁

判所ニ事件ヲ移スヘシ

第十五 衆議院議員選舉法中改正法律案（小久江美代吉君外四名提出）

衆議院議員選舉法中改正法律案 第一讀會

第六十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム
議員候補者タラムトスル者ハ選舉ノ期日前七日迄ニ其ノ旨並其ノ所屬ノ政黨、會派、無所屬又ハ中立ノ各所屬別ヲ選舉長ニ届出シヘシ

第十六 衆議院議員黨籍變更ニ關スル法律案（小久江美代吉君外四名提出）

衆議院議員黨籍變更ニ關スル法律案 第一讀會

第六條 信任投票ハ其ノ議員ノ選出選舉區ニ於テ黨籍變更ノ可否ヲ衆議院議員選舉人ニ求ムル爲之ヲ行フ

第七條 信任投票ハ衆議院議員選舉人投票用紙ニ自ラ黨籍變更ヲ可トスルモノハ可ト記載シ否トスルモノハ否ト記載シテ投票スヘシ

第八條 可トスル有效投票多數ナルトキハ議員資格ヲ保有シ否トスル有效投票多數ナルトキハ議員資格ヲ失フ

六十七條ニ依リ選舉長ニ届出又ハ衆議院ニ届出タル議員ノ所屬別ヲ謂フ

第二條 衆議院議員ハ召集ニ應スル前ノ所屬ノ政黨、會派、無所屬又ハ中立ノ各所屬別ヲ衆議院ニ届出ツルコトヲ要ス

第三條 衆議院議員黨籍ヲ變更シタルトキハ本人其ノ所屬政黨、會派ヨリ除名セラレタルトキハ其ノ政黨、會派ノ代表者ハ五日以内ニ衆議院ニ届出ツルコトヲ要ス

第四條 衆議院議員其ノ所屬團體解體ノ場合ヲ除キ其ノ他ノ事由ニ依リ黨籍ヲ離脱シタルトキハ衆議院議長ハ内務大

臣ニ通牒シ信任投票ヲ求ムベシ

第五條 内務大臣ハ衆議院議長ヨリ前條ノ通牒ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ地方長官ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ地方任投票ノ期日ハ地方長官少クトモ十四日前ニ之ヲ告布スヘシ

第十日以內ニ信任投票ヲ行ハシムヘシ信長官ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ二方長官ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ地方任投票ノ期日ハ地方長官少クトモ十四日前七日迄ニ其ノ旨並其ノ所屬ノ政黨、會派、無所屬又ハ中立ノ各所屬別ヲ選舉長ニ届出シヘシ

第十六 衆議院議員黨籍變更ニ關スル法律案（小久江美代吉君外四名提出）

衆議院議員黨籍變更ニ關スル法律案 第一讀會

第六條 信任投票ハ其ノ議員ノ選出選舉區ニ於テ黨籍變更ノ可否ヲ衆議院議員選舉人ニ求ムル爲之ヲ行フ

第七條 信任投票ハ衆議院議員選舉人投票用紙ニ自ラ黨籍變更ヲ可トスルモノハ可ト記載シ否トスルモノハ否ト記載シテ投票スヘシ

第八條 可トスル有效投票多數ナルトキハ議員資格ヲ保有シ否トスル有效投票多數ナルトキハ議員資格ヲ失フ

六十七條ニ依リ選舉長ニ届出又ハ衆議院ニ届出タル議員ノ所屬別ヲ謂フ

第二條 衆議院議員ハ召集ニ應スル前ノ所屬ノ政黨、會派、無所屬又ハ中立ノ各所屬別ヲ衆議院ニ届出ツルコトヲ要ス

第三條 衆議院議員黨籍ヲ變更シタルトキハ本人其ノ所屬政黨、會派ヨリ除名セラレタルトキハ其ノ政黨、會派ノ代表者ハ五日以内ニ衆議院ニ届出ツルコトヲ要ス

第四條 衆議院議員其ノ所屬團體解體ノ場合ヲ除キ其ノ他ノ事由ニ依リ黨籍ヲ離脱シタルトキハ衆議院議長ハ内務大

シタル起訴陪審ハ、告訴告發ニ基ク場合ニ於ケル起訴陪審デアルノデアリマス、告訴告發ニ依ル檢事ノ處分ニ付キマシテハ、吾

吾國民ノ承服スルコトガ出來ナイ場合ガ多

多アリマス、其最モ顯著ナル例ヲ申シマスレバ、最近ニ於ケル選舉法違反事件トシテ政府大官ヲ告發シタル場合デアリマス、此告發ニ對スル不起訴處分ニ付キマシテハ、吾國民ハ如何ニシテモ其處置ノ公正ナルコトヲ考ヘルコトガ出來マセヌ、是ニ於テ考

吾國民ハ如何ニシテモ其處置ノ公正ナルコトヲ考ヘルコトガ出來マセヌ、是ニ於テ考

吾國民ハ如何ニシテモ其處置ノ公正ナルコトヲ考

ハ現下ノ政情ニ鑑ミマシテ、最モ適切ナル
改正案ト考ヘルノデアリマス、曩ニ大竹貫
一君外數名ヨリ衆議院議員選舉法並ニ之ニ
關聯スル數法律案ノ御提出ガアリマシ
タ、矢張リ大竹君ノ御説明ニ依リマスルト、
現下ノ政情ニ鑑ミ此法律案ヲ提出スル必要
洵ニ緊切ナルモノト御説明ガアリマシタ、
此立法ノ趣旨ニ於キマシテハ、私ノ改正案モ
亦大竹君ノ改正案モ、其精神ハ一致スルモノ
ト私ハ思フノデアリマス、申ス迄モナク
今日ノ政治形態ハ、議員本位ニ非ズシテ政
黨本位デアル、殊ニ選舉ノ場合ニ於キマシ
テハ、候補者ノ本位ニ非ズシテ政黨本位デ
アルノデアリマス、固ヨリ候補者ノ學識、
人格、經驗ハ、選舉スベキ標準ニハナリマス
ルガ、主トシテ政黨が其標準ニナルノデア
リマス、故ニ議會ハ國民ノ總意ヲ代表スル
點ニ於キマシテハ、選舉直後ガ最モ眞ニ國民
ノ總意ヲ代表スルモノト吾々ハ考ヘテ居ル
ノデアリマス、然ルニ總選舉直後ニ於キマ
シテ、議員中ニハ屢々立候補當時ノ主張、政
見ヲ變更致シマシテ、他ノ黨派ニ入党シ、
若クハ其他ノ理由ニ於テ所屬黨派ヲ變更ス
ル者ガ多々アルノデアリマス、固ヨリ黨籍
ヲ離脱シ一黨ヲ組織シ、或ル黨派ニ入党シ、
相當ノ理由アルコトハ吾々ハ認ムルノデア
リマスルガ、其離脱ヲ合理化シマスルニハ、
此改正案ヲ最モ必要ト吾々ハ信スルノデア
リマス(拍手)是ニ於テカ若シ議員ガ選舉當
時ニ於ケル主義主張ヲ抛テ反對黨ニ入党
シ、若クハ立候補當時ニ於ケル政黨ヲ離脱
シテ無所屬ニ編入シタ場合ニ於テハ其離
脱、其人黨ヲ合理化スル爲ニ須ク選舉區ニ
歸テ、選舉民ノ意思ヲ問フテ、即チ信任投票ヲ求メマシテ、若シモ其進退ガ可ナリ得
アル場合ニ於テハ議員ノ資格ヲ保有シ、然
ラザル場合ニ於テ議員ノ資格ヲ喪失スルノ

ガ相當ト考ヘマシテ、本案ヲ提出シタノデ
アリマス、ドウゾ一ツ御贊成ノ程ヲ希望致
シマス(拍手)

○原惣兵衛君 日程第十四ハ牧野賤男君外
二名提出刑法中改正法律案外三件ノ委員ニ
併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議
ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○原惣兵衛君 日程第十五、第十六即チ兩
案ヲ一括シテ床次竹二郎君外十九名提出衆
議院議員選舉法中改正法律案外一件ノ委員
ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議
ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシ
タ——日程第十七、牧野法案ノ第一讀會ヲ
開キマス、提出者ノ趣旨聲明ヲ許シマス、
提出者中島鵬六君

第十七 牧野法案 (中島鵬六君外一名
提出)

第一條 牧野法案 (中島鵬六君外一名
第一讀會)

第二條 牧野法案 (中島鵬六君外一名
第一讀會)

第三條 牧野法案 (中島鵬六君外一名
第一讀會)

第四條 主務大臣ハ左ノ場合ニ於テハ市
町村、馬ニ關スル畜產組合及
ニ供用スル放牧地又ハ採草地タル林野
ヲ謂フ

第五條 牧野ニ關スル事項ヲ審議スル爲
地方ニ牧野委員會ヲ置ク

第六條 牧野ニ關スル事項ヲ審議スル爲
前項牧野委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ
以テ之ヲ定ム

第七條 牧野ノ貸借期間ハ契約ニ於テ別
處分ニ付テハ主務大臣ハ地方牧野委員
會ノ議ニ付スルヲ要ス

第八條 牧野ノ貸借期間ハ契約ニ於テ別
期間ヲ定メサリシトキハ十五箇年ト
ス

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得
トヲ得

第九條 牧野ノ保護管理及放
牧經營ニ關シ必要ナル命令ヲ發スル
コトヲ得

前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ必要ナル
補助金ヲ交付スルコトヲ得

第十條 牧野組合ハ營利ヲ目的トセサル
ルコトヲ得

第十一條 牧野組合ニ關スル規程ハ勅令
ヲ以テ之ヲ定ム

(中島鵬六君登壇)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

○中島鵬六君 簡單ニ議題ニ供セラレテ居
リマス牧野法ノ提案ノ理由ヲ説明致シマ
ス、馬ガ產業上、國防上非常ニ必要ナルコト
ハ皆サン御承知ノ通リデアリマス、然ルニ
近年ハ非常ニ馬ノ生産が減リマシテ、此儘
デ置クナラバ國防上ノ缺陷ヲ生ジ、或ハ又
産業上ノ缺陷モ生ズルコトニナリマス、ソ
レデ之ヲ何トカシナケレバナラスト云フノ
デ、農林省陸軍省デ大騒ギヲシテ居
ガ、牧野法ト云フモノガ制定ニナリマセヌ
以上ハ、是ハ何トモ出來マセヌ、ソコデ本
案ヲ出シタ譯デゴザイマスガ、此牧野法ト
云フノハ採草地、放牧地ヲ定メル法律デゴ
ザイマシテ、其詳シイコトハ委員會テ申上
ダマスカラ、御審議ノ上御贊成アランコト
ヲ御願致シマス(拍手)

○原惣兵衛君 本案ハ議長指命九名ノ委員
ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第
十八、健康保險法中改正法律案ハ提案者ヨリ
延期ノ申出ガアリマシタ、許可シテ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ許可致シマス、日程第十九、國定
教科書官給法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提

出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、提出者樋口秀雄君

「議長定足數ヲ缺イテ居リマス」ト呼

ヒ其他發言スル者アリ」

○議長(川原茂輔君) 缺イテ居リマセヌ、
静肅ニ——静肅ニ

第十九條 國定教科書官給法案(樋口秀
雄君外六名提出)

第一讀會

國定教科書官給法案

國定教科書官給法

第一條 市町村立尋常小學校兒童ノ要ス

ル國定教科書ハ全部之ヲ官給スルモノ

トス

第二條 本法ノ適用ニ付テハ市町村組合

ハ之ヲ市ト看做シ、町村組合及町村制ヲ

施行セサル地域ニ於ケル町村ニ準スヘ

キ公共團體、其ノ組合又ハ小學校設置

區域ハ之ヲ町村ト看做ス

本法ノ適用ニ付テハ市町村立尋常高等

小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授ク

ヘキ部分ハ之ヲ市町村立尋常小學校ト

看做ス

附 則

本法ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ

定ム

(樋口秀雄君登壇)

○樋口秀雄君 諸君、只今上程サレマシタ

靜養致シテ居タノデ非常ニ疲レテ居リマ

スカラ、極メテ簡単ニ申上ゲマス、何卒御

致シテ置キマスガ、私ハ昨日迄急病ノ爲ニ

了解ヲ願ヒマス、此案ハ所謂法三章デアリ

マシテ、附則迄併セテ三箇條スラナイノデ

アリマス、而モ法三章デアリマスガ、關ス

所ハ極メテ重大デアリマス、事ハ全國八

百十三万ノ義務教育ノ兒童ニ關シ、其背後

ニ於キマシテハ普選以來吾々が賴テ居リ

マス所ノ千二百四十万ノ選舉民全體ニ關ス

ル問題デアリマス、此案ノ趣旨ハ從來教科

書ハ教科書出版會社ニ出版ヲサセマシテ、

千人ト云フ者ハ、就學スルコトガ出來ナイ

ノデアリマス、中產以上ノ諸君ニ取りマシ

テハ夢ノヤウナ御話ニ御考ヘニナルカモ知

レマセヌケレドモ、其日稼ギノ日傭人等ニ

ナリマスト、到底一時ニ教科書ヲ供給スル

コト能ハズ、況ヤ貧乏人ノ子澤山、澤山ノ

兒童ガアリマスト遂ニ一人ヲ辛ウジテ就學

セシメ、一人ヲ延期スルト云フヤウナ狀態

ハ、獨リ都會ノ貧民窟ニ於テノミナラズ、

地方ノ農村、漁村ニ於テモ極メテ多イノデ

アリマス、ソレ故ニ從來ノ日本ノ教育界ニ

於キマシテハ、教員俸給ノ國庫負擔ハ隨分

力ヲ盡シテ居リマス、併シ教育ノ機會均等

ノ原則ニ從ヒマシタ學用品ノ給與ト云フコ

トハ未ダ其緒ニ就イテ居ラナイ、歐洲大戰

以後各國ノ狀態ヲ見マシテモ、何レモ學用

品ノ給與ニ依テ大ニ民衆的教育ヲ勃興セシ

メ、一面ニ於テハ國民教育ヲ充實シ、他ノ

一面ニ於キマシテハ此教育ノ機會均等ノ原

則ヲ完全ナラシメルト云フ昨今ノ流行ニ付

テハ、申上ダズトモ諸君御承知ノコト、存

ジマス、然ルニ識者中ニモ此案ニ付テ二ツ

ノ疑義ヲ持テ居ラル、人ガアリマス、其一

ツハ若シ一律ニ教科書ヲヤルトナルト、貧

民ノ子弟ハソレデ宜カモ知レヌケレド

モ、中產以上ノ者ノ子弟ニヤル必要ハナイ

モ、ナイト仰シャリマスガ、是ハ昨年ノ六月私

ノ如キ有様デアリマスルカラ、ドウゾ此法

案ニハ黨派ヲ超越シテ、何卒諸君ニ御盡力

ガ願ヒタイ、殊ニ私ノ法律ノ附則ニハ、昭

和五年四月一日ヨリ實行スルトアリマスル

シテ、兎ニ角約五百八十圓ノ金ヲ要スル、

其財源ヲ負擔シマス者ハ皆有產階級デアリ

マス、無產階級ハ成程間接稅ニ依テ負擔ハ

致シマセウタレドモ、主トシテ負擔ヲスル

ト同様ニ給與スルト云フコトハ、決シテ不

公公平デハナイト私ハ信ジテ居リマス、今一

ツノ御議論ハ、此六百万圓カラノ金ヲ要ス

ル問題ヲ、此財政窮乏ノ際ニヤルノハドウ

カクラ、尙又今ノ御話ノ貧民ニハヤツテ、

有產階級ノ方ハヤメルト云フ方法ヲ採レ

バ、經費ガ助カルガドウダラウト云フ御意

見デアリマス、是モ御尤ノヤウデアリマス、

只今極ク少數シカ御出デニナリマセヌガ、

無產黨ノ諸君ノ中ニハ、或ハ富豪ノ子弟迄

セシメ、一人平均七十六錢ノ教科書ニ付テ

乙ヲ設ケマシテ、アレハ有產階級ノ子弟デ

シ僅ニ一人平均七十六錢ノ教科書ニ付テ

丙ヲ設ケマシテ、アレハ有產階級ノ子弟デ

シ僅ニ一人平均七十六錢ノ教科書ニ付テ

丁ヲ設ケマシテ、アレハ有產階級ノ子弟デ

シ僅ニ一人平均七十六錢ノ教科書ニ付テ

○議長(川原茂輔君) 本案ハ議長指名九名ノ委員

ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議

議ナシト認メアリマス、仍テ動議ノ如ク決シマ

シタ——日程第二十及二十一ハ、一括シテ

議題ト爲スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メア

ス、日程第二十二、耕地整理法中改正法律案ノ兩案

ヲ一括シテ議題ニ供シ、第一讀會ヲ開キマ

ス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、提出者

池田龜治君

第二十 耕地整理法中改正法律案(三

輪市太郎君外十二名提出) 第一讀會

耕地整理法中改正法律案

第七十九條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加へ

第三項中「第一項」ヲ「第一項及第三項」ニ、

第四項中「前二項」ヲ「前四項」ニ改ム

市町村カ第一項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セサル、ハ組合長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第二十一 農會法中改正法律案（三輪市太郎君外十二名提出） 第一讀會農會法中改正法律案

市太郎君外十二名提出 第一讀會農會法中改正法律案

農會法中左ノ通改正ス

第三十條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第

四項中「前項」ヲ「前一項」ニ改ム

市町村カ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セサルトキハ會長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第

百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

〔池田龜治君登壇〕

○池田龜治君 只今上程サレテ居リマス所

ノ耕地整理法中改正法律案、農會法中改正法律案、此二案ノ趣旨辨明ヲ致シマス、此

法案ハ極く簡単十案アリマシテ、一見明瞭デアリマス、即ち耕地整理法ノ第七十九

條ニ組合員ガ組合費ノ納付ヲ怠タ場合ニハ、國稅滯納處分法ニ依テ市町村長ニ委託シテ、所謂強制徵收ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、農會法ノ三十條モ同一ノ趣旨

ニナアテ居リマスガ、從來ノ實績ニ鑑ミマスルト云フト、此全國ノ一万一千ノ市町村長ノ中デ、能ク誠實ニ熱心ニヤフテ吳レルノモ

中ニハゴザイマスケレドモ、大多數ハ自己ノ債務ノ整理ガ十分ニ行シテ居ラヌモノデアリマスル爲ニ、此農會若クハ耕地整理組

合カラ委託ヲシテモ、能ウヤツテ吳レナイト

云フヤウナ實績デアリマシテ、所謂強制徵

收ナルモノハ名ガア、テ實ハナイト、斯ウ云

ンバ耕地整理ノ組合長、若クハ農會長自身

ガ此強制徵收ノ權利ヲ得タイト云フヤウナ

コトデアリマスルガ、ソレデハ立法技術ノ

上ニ疑問ガアルト、斯ウ云フノデアリマス

ルカラ、主義トシテハ現行法ヲ認メマスル

ケレドモ、實際上其町村長カ時日遷延、事

務ノ處分ガ出來ヌ場合ニ於テハ、地方長官ノ

認可ヲ得テ、サウシテ此事務ヲ組合長或ハ

農會長自身ガヤル、斯ウ云フ案デアリマ

ス、ドウゾ御贊成ノ上ニ速ニ御協賛ヲ與ヘ

テレンコトヲ御願致シマス（拍手）

○原物兵衛君 兩案ヲ一括シテ中島鵬六君

外一名提出牧野法案ノ委員ニ併セ付託セラ

レンコトヲ望ミマス

○議長（川原茂輔君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十二、行政執行法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス提案者ノ趣旨辨明ヲ許シマ

スルコトヲ希望（拍手）

○議長（川原茂輔君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十三、膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一

讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辨明ヲ許シマス（松定吉君）

到ル所ノ警察署ニ於テ行ハレテ居ルノアリマス、行政執行法ノ第一條第二項ニ依リマスルト、此行政檢束八日後ニ至ルコトハ出來ナインデアリマスルガ故ニ、翌日ノ日沒前ニ釋放シナケレバナラニ拘ラズ、此法律上ノ精神ヲ無視致シマシテ、檢束者ヲ日没前ニ一回警察署ノ門外ニ連出シテ、再び門外カラ之ヲ拉致シテ又檻房ニ打込ンデ、サウシテ犯罪搜查ノ取調ヲ爲シ、翌日又再び斯ノ如ク警察ノ門ニ連出シテ、又引張り込ンデ犯罪ノ搜查ヲ爲スト云フコト、即チ鹽廻シト云フ方法カ非常ニ多ク行ハレテ居ルモノデアリマシテ、甚シキニ至リマシテハ三十日モ四十日モ此行政執行法ヲ濫用シ、人權蹂躪ヲ致シテ居リマスル事ハ、全國警察署ニ於ケル顯著ナル事實デアリマス、斯ノ如キ事ハ我ガ法治國ニ於テ看過スルコトハ出來ナイコトハ勿論吾々立法府ニ有スル者ガ、此不法ヲ傍観スルコトヲ許サナイコトハ論ズル迄モナインデアリマス、故ニ私ハ曩ニ違警罪即決例ノ改正法律案ヲ提案致シテ置キマシタカラ、此法律案ハ共ニ憲法ノ大精神ニ基キ、二者共ニ本案ヲ改正致シタイノデアリマス、故ニ第一條第二項ニ一旦釋放シタル所ノ被告人ヲ、再

付託セラレンコトヲ希望（拍手）

○議長（川原茂輔君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「贊成」ノ聲起ル〕

○議長（川原茂輔君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「贊成」ノ聲起ル〕

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十三、膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一

讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辨明ヲ許シマス（小谷節夫君）

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十三、膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實

施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一

讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辨明ヲ許シマス（小谷節夫君）

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十三、膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實

施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一

讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辨明ヲ許シマス（小谷節夫君）

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、同理由デ拘束スルコトノ出来ナイト云ノ制限ヲ設ケマスナラバ、此不法ヲ敢テスルコトヲ防遏スルコトガ出来ルノデアリマスカラ、諸君、人權擁護ノ趣旨ヲ體シ、本ラニコトヲ希望致シマス（拍手）

○原惣兵衛君 本案ハ牧野賤男君外二名提出、刑法中改正法律案外四件ノ委員ニ併セ

スカラ、諸君、人權擁護ノ趣旨ヲ體シ、本ラニコトヲ希望致シマス（拍手）

○議長（川原茂輔君） 本件ノ件名提

出、刑法中改正法律案外四件ノ委員ニ併セ

付託セラレンコトヲ希望（拍手）

○議長（川原茂輔君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「贊成」ノ聲起ル〕

○議長（川原茂輔君） 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「贊成」ノ聲起ル〕

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十三、膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實

施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一

讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辨明ヲ許シマス（小谷節夫君）

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十三、膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實

施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一

讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辨明ヲ許シマス（小谷節夫君）

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二

十三、膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實

施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一

讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辨明ヲ許シマス（小谷節夫君）

○議長（川原茂輔君） 御異議ナシト認メマ

ス、同理由デ拘束スルコトノ出来ナイト云ノ制限ヲ設ケマスナラバ、此不法ヲ敢テスルコトヲ防遏スルコトガ出来ルノデアリマスカラ、諸君、人權擁護ノ趣旨ヲ體シ、本ラニコトヲ希望致シマス（拍手）

○議長（川原茂輔君） 本件ノ件名提

出、刑法中改正法律案外四件ノ委員ニ併セ

付託セラレンコトヲ希望（拍手）

トヲ得

第二條 前條ニ規定スル補償金ノ總額ハ三百七十六万圓トス

第三條 補償金ハ主務大臣審査會ノ審査ヲ經テ之ヲ決定シ額面金額ニ依リ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス

補償審査會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依ル交付ニ必要ナル額ヲ限度トシ國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第五條 本法ニ依リ補償金ヲ交付スル場合ニ於テ政府ハ當事者ニ對シ補償ノ目的タル租借權ノ讓渡其ノ他必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得

附 則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔小谷節夫君登壇〕

○小谷節夫君 議場ノ空氣ニ察シマシテ、簡單ニ提案ノ理由ヲ説明致シマス、日獨戰爭ノ詰果、膠州灣即チ青島ガ我國ノ領有ニ歸シマシタ以來、歷代ノ軍司令官ガ頻ニ在留邦人ヲ慾思シマシタ爲ニ、在留民ハ總て永住的ニ施設經營ヲ致シ來ッタノデアリマスガ、華盛頓會議ノ結果、其占領地ヲ支那ニ還付スルコトニナリ、在留邦人ノ全部ガ所謂國策ノ犠牲ニ供セラレタノデアリマス、普通一般ノ在住民ガ拂ヒマシタ犠牲ハ、之ヲ評價スルニ困難デアリマス、獨逸カラ田ヤ農業ヲ經營シテ居タ者ノ損害ハ、實質的ニ之ヲ評價シ易イ、而モ鹽田ニ付テハ多少特殊ナ事情ガアツカ爲トハ申シナガラ、非常ニ有利ナル解決ヲ與ヘタノデアリマス、然ルニ農業團體ニ對シテハ、未ダ何等顧ラレテ居ラヌノデアリマス、獨逸カラ得タ賠償金ヲ以テ船舶業者ヲ救恤シ、又ハ南米航路ノ補助ヲ致シテ、日本人ノ海外發

展ニ資スルト云フ全ノ如キハ洵ニ結構デアリマスガ、前記ノ如キモノヲ打捨ア置クトヲ調達スルコトガ出來ナイデ、今日尙ホ懸居フコトハ、本末ヲ誤ツテ居ルトノ誇ヲ免レ得ザルモノト思ヒマス、只今議題トナッテヨ經テ之ヲ決定シ額面金額ニ依リ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス

補償審査會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

内陽三、岡田伊太郎、土井權大、神田正雄、西村丹治郎ノ諸氏ノ紹介ニ依テ請願委員會ニ提出セラレ、滿場一致採擇セラレ、更ニ第五十二議會ニ於テハ、柏田忠一氏ト清水市太郎氏ガ提案者トナラレタル建議案ガ、各派多數ノ贊成人ヲ得テ、超黨派的ニ卽決可決トナツテ居ルノデアリマス、今期議會ニハ前回ノ建議案提案者ガ議席ニ御在デニナリマセヌ關係上、サウシテ私ガ青島ニ關係アル人間ニアリマス關係上提案者トナッタ譯デアリマスガ、金額ハ固ヨリ總アノ條項ニ付テ委員會ニ於テ慎重ノ御審議ヲ願ヒマシタ上、何卒各位ノ御贊同ヲ願ヒタイモノデアルト存ジマス(拍手)

○議長(川原茂輔君) 質疑ヲ許シマス、小山倉之助君

〔小山倉之助君登壇〕

○小山倉之助君 只今ノ提案ニナリマシタ議案ニ付キマシテ、二三質問ヲ試ミタイト思フノデアリマス、第一ニ賠償ヲ求メマスル農場或ハ貝養地ハ、國武農場或ハ田中秀太郎氏ガ會テ議會ニ請願ヲ致シマシタ農場ヲ含ムノデアルカ、ドウカト云フコトヲ伺ヒタノデアリマス、御承知ノ如ク國武農場ノ外務當局自ラ此案ヲ除イテ居タモノヲ、支那カラ取レナイト云々テ、我日本帝國ニ對シテ賠償ヲ求メバ、支那官憲ニ對シテ當時ノ處ニ非常ニ誠意ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、當然支那ニ依テ損害ヲ受ケタノデアリマスケレバ、支那官憲ニ對シテ當時ノ外務當局ガ解決ヲ求ムベキデアルノニ、外務當局自ラ此案ヲ除イテ居タモノヲ、支那カラ取レナイト云々テ、我日本帝國ニ對シテ賠償ヲ求メルトハ何事デアリマスカ、私ハ此點ニ關シテ大ナル疑義ヲ有スル者デアリマス、而シテ外務當局ノ意見トシテ、私共ハ推察致シマスル所、條約ノ根本ニ基テ解釋致シマスル所ニ依レバ、到底此農場ハ我國ガ賠償スベキ性質ノモノデハナイト

斷定シ得ルノデアリマス、其理由ト致シテハ、元來是等ノ砂地ヲ買求メタノハ、思惑デ以テ何等カ土地ノ價格ノ騰クタ場合ニ轉賣シテ儲ケヤウト掛クタ人ニガ偶爾華盛頓條約ニ依テ日本ノ占領シタル土地ヲ還付致シマシタ結果、多少ノ影響ハ被クタノデアリマスルケレドモ、是ハ元來個人ノ企

業ニ屬スルモノニアリマスルカラ、個人トシテハ之ニ對シテ何等政府ノ賠償ヲ要求スベキ理由ガ無イト思フ、半面カラ論ジマスルナラバ、政府ガ當然賠償スペキモノニ付キマシテハ、即チ鹽田ニ對シマスルトカ、或ハ國武農場ニ對シマシテハ、政府ハ之ニ對シテ相當ノ處置ヲ執ッタノデアルガ、此田中秀太郎君關係ノ土地ニ對シテハ、政府ハ何等之ニ對シテ處置ヲ執ルコトヲ認メナカッタノデアル、聞く所ニ依レバ、政府ハ是等ノ此土地所有者ハ、支那官憲ニ對シテ借地料ヲ納メナシ居ナイト云フヤウナコトモ同ツテ居ルノデアル、若シ借地料ヲ納メテ居ナイト致シマスルナラバ、支那カラ沒收サレル結果ニナツテモ、之ニ對シテ何等抗議スベキ理由ガ無イノンデアル、然ルニ此間我ガ政府ハ此土地ヲ確保シテ、其所有權ヲモ、又其借地權ヲモ取ラレナイヤウニ、所有者ヲ援護シテ居ルト云フコトハ、私ハ是以上ノ救濟ノ方法、政府ノ援護ノ方法ガナイト思フノデアリマスルガ、政府ハ之ニ對シテ三百七十五万圓ノ金ヲ以テ、其損害ヲ補償スルト云フニ至リマシテハ、私ハ其理由ヲ發見スルコトガ出來ナイノデアリマスルガ、政府ニ果シテ其意思アリヤ否ヤト云フコトヲ同ヒタコトヲ同ヒタイノデアル（拍手）而シテ其理由ノ條約上ノ根據如何ト云フコトヲ同ヒタガ故ニ、之ニ對シテハ議員諸君ノ權能デ御捌キニナルコト、考ヘテ居リマス、只今御スル法律案ハ、議員提出ノモノニアリマスガ故ニ、之ニ對シテハ議員諸君ノ權能デ御捌キニナルコト、考ヘテ居リマス、只今御尋ニナリマシタ所ノ青島ニ於ケル所ノ農業地ニ對スル件デゴザイマスガ、是ハ御承知デモアリマセウケレドモ、歐羅巴戰爭ノ前ノ賠償ヲ求ムルト云フヤウナ噂ガアルノデニモナイ土地ガアリ、青島領事館ノ記録ニモナイト云フヤウナ土地ヲモ含メテ、政府ノ賠償ヲ求ムルト云フコトヲ、提案者アリマスルガ、果シテ其面積ハ如何デアルカ、其面積ハ所謂民政署土地臺帳ニモ記載サレ、或ハ青島領事館ノ記録ニモ存シテ居ナ疑ヲ持ツ所以ノモノハ、現内閣ニ依テ屢々對シテ同ヒタイノデアリマス、私ハ斯様

金錢ヲ支出シ、國費ヲ以テ私人或ハ會社ノ財產ヲ保障スルト云フヤウナ結果ニ陷ルヤウナ法律案ヲ出シマスノデ、國民ト共ニ吾々モ大ナル疑惑ヲ有シテ居ル際ニアリマスカラ（拍手）斯様ナ遠地デアル、即チ支那ノ土地デアル膠州灣ノ土地ノ問題ヲ會、捉ヘテ、其間更ニ政府ニ多額ノ補償ヲセシムルト云フヤウナコトハ、徒ニ國民ノ疑惑ヲ深クスルモノニアリマスカラ、本員ハ其疑惑ヲ解ク爲ニモ、提案者並ニ政府ノ所見ヲ伺ヒタノデアリマス、デ私ハ先程申上ダマシタ國武農場ト、所請鹽田保護以外ニハ、政府ハ之ヲ賠償シ、或ハ補償スペキ義務ヲ持ツモノデハナインデアッテ、農場ノ所有權或ハ借地權ヲ保全ヲシタバカリデモ、政府ト致シマシテハ相當ニ是等土地所有者ニ對シテ援助ヲ與ヘタ形デアルノニ、更ニ之ヲ擣外ニ持テ行キマシテ、外務省ハ之ヲ賠償スルノ意思アリヤ否ヤト云フコトヲ御伺致シタル御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス

〔政府委員植原悅二郎君登壇〕
○政府委員（植原悅二郎君） 小山君ノ御質問ニ御答致シマスガ、此問題トナツテ居リマスル法律案ハ、議員提出ノモノニアリマスガ故ニ、之ニ對シテハ議員諸君ノ權能デ御捌キニナルコト、考ヘテ居リマス、只今御尋ニナリマシタ所ノ青島ニ於ケル所ノ農業地ニ對スル件デゴザイマスガ、是ハ御承知デモアリマセウケレドモ、歐羅巴戰爭ノ前ノ賠償ヲ求ムルト云フヤウナ噂ガアルノデニモナイ土地ガアリ、青島領事館ノ記録ニモナイト云フヤウナ土地ヲモ含メテ、政府ノ賠償ヲ求ムルト云フコトヲ、提案者アリマスルガ、果シテ其面積ハ如何デアルカ、其面積ハ所謂民政署土地臺帳ニモ記載サレ、或ハ青島領事館ノ記録ニモ存シテ居ナ疑ヲ持ツ所以ノモノハ、現内閣ニ依テ屢々對シテ同ヒタイノデアリマス、私ハ斯様

マシテ、先刻御話ノ國武氏ノ農場ニ付キマシテハ、支那政府ガ之ヲ買收シタイト云フコトヲ申出マシタガ爲ニ、之ニ政府ハ交渉ヲ致シテ其話ヲ進メテ居ルガ、未ダニ纏ラナイデ居ルト云フ状態デアリマス、其他ニ付キマシテハ、小山君モ御承知ノ如ク、戰爭當時ニ於テ幾多ノ繼承シタモノガ、華盛頓條約ノ結果、山東ヲ支那ニ還付スルコトニナツテ、急激ノ變化デアッタガ爲ニ多大ノ損害ヲ被タモノガアル、之ニ對シテ政府カラ補償ヲシテ貴ハナケレバナラナイ、或ハ賠償ヲシテモノデアリマス、是等ノ兩議會ヲ通過シテ居リマスガ故ニ、政府ニ於テハ飽迄モ二議會ダト思ヒマス、是等ノ兩議會ヲ通過シテ居リマスガ、此問題トナツテ、先程申シマスル御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス

〔政府委員植原悅二郎君登壇〕
○政府委員（植原悅二郎君） 小山君ノ御質問ニ御答致シマスガ、此問題トナツテ居リマスル法律案ハ、議員提出ノモノニアリマスガ故ニ、之ニ對シテハ議員諸君ノ權能デ御捌キニナルコト、考ヘテ居リマス、只今御尋ニナリマシタ所ノ青島ニ於ケル所ノ農業地ニ對スル件デゴザイマスガ、是ハ御承知デモアリマセウケレドモ、歐羅巴戰爭ノ前ノ賠償ヲ求ムルト云フヤウナ噂ガアルノデニモナイ土地ガアリ、青島領事館ノ記録ニモナイト云フヤウナ土地ヲモ含メテ、政府ノ賠償ヲ求ムルト云フコトヲ、提案者アリマスルガ故ニ、支那デアルノデアリマス、鹽田ハ御承知ノ如ク、支那ノ鹽業專賣ニ關スルモノニアリマスガ故ニ、之ニ對シテ、相當ノ賠償ヲ還付セザルベカラザル理由ハ、大隈内閣ノ犠牲ニ依リマシテ、ト申シマスノハ、華盛頓會議デ青島ヲ還付シマシタノハ、政友會ノ内閣デゴザイマシタガ、之ヲノ責任デアルトモ、或ハ政友會ノ責任デアルトモ申ス譯ニ参リマセヌ、ト申シマスノハ、政友會ノ内閣デゴザイマシタガ、之ヲノ責任デアルトモ、或ハ政友會ノ責任デアルトモ申ス譯ニ参リマセヌ、ト申シマスノハ、日本國民ノ海外發展ヲ阻害スルコトニナリマスガ、併ナガラドウニカシテヤラナケレバ、日本國民ノ海外發展ヲ阻害スルコトニナリマスノデ、ソコデ私ハ二百五十三万坪、坪當リ一圓五十錢ト云フ算定ノ下ニ、大體

二百七十五萬圓ト云フ數字ヲ出シテ居リマスガ、此金額ハ拘泥シナイモノデアルト云フコトハ、先程提案ノ理由ヲ説明スル時分ニ、金額ハ勿論總テノ條項ニ付テハ、委員會ニ於テ慎重ニ御審議ヲ願ヒタク上、何卒諸君ノ御賛同ヲ願ヒタイト言ウテ居リマス、ドウカ後ハ總テ委員會御質問答ヲ願ヒマシテ、慎重ニ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名九名ノ委員

二付託セラレンコトヲ望ミマス

〔「賛成」議長發言ヲ求メテ居ル〕ト呼

ヒ其他發言スル者アリ]

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス

○原惣兵衛君 此際議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ政府提出ノ自作農案ヲ上程シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(川原茂輔君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ自作農創設維持助成資金特別會計

法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長松浦五兵衛君

(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

一 自作農創設維持助成資金特別會計法案
(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年三月十八日

委員長 松浦五兵衛
衆議院議長川原茂輔殿
希望條項

一政府ハ現在自作農ノ減退ヲ未然ニ防止スヘキ十分維持資金ノ融通ニ留意スルノミナラズ更ニ自作農維持ニ關シ適當ナル方法ヲ講セムコトヲ望ム

二簡易保險ノ資金ト本法ニ據る資金トノ間途ヲ講シ且合一處理ヲ爲シ以テ事務簡利率及償還年限等ニ尠カラサル差異アリ將來二者ノ平衡ヲ保セムカ爲適當ノ捷經費節約ノ趣旨ニ副ハムコトヲ望ム

三農地債券ハ本法實施ノ成績ニ徴シ更ニ其ノ得失ヲ研究シ萬已ムヲ得サル場合ノ外之ヲ發行セサルコトヲ望ム

〔「松浦五兵衛君登壇」

○松浦五兵衛君 只今議題ニナリマシタ自

作農創設維持助成資金特別會計法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上げマス、委員會ハ去ル十一日以來、昨日ノ日曜ヲ休ンダノミデ、本日迄引續イテ開キマシテ、極メテ錦密ニ微ニ入り細ニ至、質問應答ヲ重ねタノデアリマス、而シテ其質問應答ハ極メテ多岐ニ至ルコト居リマスカラ、中々此處デ簡単ニ御報告ヲ致シ兼ネマスニ依テ、詳シイコトハ速記録ニ譲ルコト、致シマシテ、兎ニ角最モ重要ナル點ノ一、三ニ付テ農創設維持ニ付テハ、簡易保險ノ積立金ヲ一應御報告ヲ申上ダマス、第一ハ既ニ自作農創設維持ニ付テハ、簡易保險ノ積立金ヲ以テ數年來實行シテ居ルニモ拘ラズ、今回特ニ特別會計ニ之ヲ規定スルト云フコトハ、ドウ云フ必要ガアルカラト云フノ質問ニアリマシタ、之ニ對シテハ從來ノ簡易生命保險ノ積立金ノ運用ハ還元主義ニ依テ成立シテ居テ、遞信省ノ委員會ニ於テ其用達ヲ決定シテ參タノデアルカラ、殊更ニ特別會計ニスル必要ハナカタガ、今回ハ特ニ三千万圓ノ限度ヲ以テ自作農創設維持ノ資金ヲ供給シテ參タノデアルカラ、殊更ニ特別會計ニスルコトニ相成ルノデアルカラ、隨テ是ハ長年度ニモ夏リ且ツ頗ル多岐ニ至ル計算デ

アルガ故ニ、其確實ヲ期スルガ爲ニ特別會計ニシタト云フノデアリマス、次ニ一箇年ノミナラズ更ニ自作農維持ニ關シ適當ナル方法ヲ講セムコトヲ望ム

スヘキ十分維持資金ノ融通ニ留意スルノミナラズ更ニ自作農維持ニ關シ適當ナル方法ヲ講セムコトヲ望ム

三農地債券ハ本法實施ノ成績ニ徴シ更ニ其ノ得失ヲ研究シ萬已ムヲ得サル場合ノ外之ヲ發行セサルコトヲ望ム

〔「松浦五兵衛君登壇」

○松浦五兵衛君 只今議題ニナリマシタ自

作農創設維持助成資金特別會計法案ノ委員會ハ去ル十一日以來、昨日ノ日曜ヲ休ンダノミデ、本日迄引續イテ開キマシテ、極メテ錦密ニ微ニ入り細ニ至、質問應答ヲ重ねタノデアリマス、而シテ其質問應答ハ極メテ多岐ニ至ルコト居リマスカラ、中々此處デ簡単ニ御報告ヲ致シ兼ネマスニ依テ、詳シイコトハ速記録ニ譲ルコト、致シマシテ、兎ニ角最モ重要ナル點ノ一、三ニ付テ農創設維持ニ付テハ、簡易保險ノ積立金ヲ一應御報告ヲ申上ダマス、第一ハ既ニ自作農創設維持ニ付テハ、簡易保險ノ積立金ヲ以テ數年來實行シテ居ルニモ拘ラズ、今回特ニ特別會計ニ之ヲ規定スルト云フコトハ、ドウ云フ必要ガアルカラト云フノ質問ニアリマシタ、之ニ對シテハ從來ノ簡易生命保險ノ積立金ノ運用ハ還元主義ニ依テ成立シテ居テ、遞信省ノ委員會ニ於テ其用達ヲ決定シテ參タノデアルカラ、殊更ニ特別會計ニスル必要ハナカタガ、今回ハ特ニ三千万圓ノ限度ヲ以テ自作農創設維持ノ資金ヲ供給シテ參タノデアルカラ、殊更ニ特別會計ニスルコトニ相成ルノデアルカラ、隨テ是ハ長年度ニモ夏リ且ツ頗ル多岐ニ至ル計算デ

アルガ故ニ、其確實ヲ期スルガ爲ニ特別會計ニシタト云フノデアリマス、次ニ一箇年ノミナラズ更ニ自作農維持ニ關シ適當ナル方法ヲ講セムコトヲ望ム

スヘキ十分維持資金ノ融通ニ留意スルノミナラズ更ニ自作農維持ニ關シ適當ナル方法ヲ講セムコトヲ望ム

三農地債券ハ本法實施ノ成績ニ徴シ更ニ其ノ得失ヲ研究シ萬已ムヲ得サル場合ノ外之ヲ發行セサルコトヲ望ム

〔「松浦五兵衛君登壇」

ベク其不公平ヲ來サヌヤウニ努メルト云フ
重要ナ問題ハ只今申上ダヤウナ程度ト存
ジマス、而シテ討論ニ移リマシテ、民政黨
ノ小山松壽君ヨリハ縷々三時間ニ亘シテ、本
案ノ不備缺點ニ付テノ非常ニ詳細ナル御議
論ガアリマシタ、其結果本案ハ頗ル不備デ
アルガ故ニ、之ヲ政府ハ宣シク撤回シテ、
組直シテ提出スペシト云フノ動議ガ出タノ
デアリマス、次ニ新黨俱樂部ノ東郷君ヨリ
ハ、本案ハ色々研究スルト尙ホ不完全ト思
フ點ガ少クナイ、甚ダ不滿ニ思フ點モアル
ケレドモ、併シ折角政府ガズマデ練リ上ダ、
而モ此案ガ多少不完全ナリト雖モ、無キニ
ハ優ルト信ズルカラシテ、自分ハ希望條件
ヲ附シテ之ニ贊成スルト云フ御意見デアリ
マシタ、而シテ其希望條件ハ「希望條項、
一、政府ハ現在自作農ノ減退ヲ未然ニ防止
スヘク十分維持資金ノ融通ニ留意スルノミ
ナラス更ニ自作農維持ニ關シ適當ナル方法
ヲ講セムコトヲ望ム、二、簡易保險ノ資金
ト本法ニ據ル資金トノ間利率及償還年限等
ニ尠カラサル差異アリ、將來二者ノ平衡ヲ
保セムカ爲適當ノ處ヲ講シ且合一處理ヲ爲
シ以テ事務簡捷經費節約ノ趣旨ニ副ハムコ
トヲ望ム、三、農地債券ハ本法實施ノ成績
ニ鑑シテ更ニ其ノ得失ヲ研究シ萬已ムヲ得
サル場合ノ外之ヲ發行セサルコトヲ望ム」、
斯ウ云フ附帶條項ヲ御提出ニナッタノデア
リマス、而シテ政友會ノ加藤君ヨリハ、原
案ニハ勿論贊成デアリ、且ツ東郷君ノ提案
ナガラ其規定ガ自分ノ理想ト適ハヌ點ガ數
ミテ本案ヲ提出シタト云フコトノ意思ニ對
サレタ希望條項ニモ贊成セラレルト云フコ
トデアリマシタ、而シテ次ニ鈴木文治君ヨ
リハ、政府ガ現在ノ日本ノ農民ノ實情ニ鑑
メテ本案ヲ提出シタト云フコトノ意思ニ對

項アルカラ、遺憾ナガラ反対ヲスルノデアルト云フ、斯ウ云フノデアリマシタ、而シテ採決ノ結果、民政黨ノ小山君ノ撤回動議ハ民政黨諸君ダケノ賛成デ少數デ倒レマシタ、次ニ東郷君ノ希望條項ヲ附シテノ本案全體ニ賛成ト云フ所ノ御発議ニ對シテハ、政友會ノ各委員並ニ東郷君ガ賛成サレテ、多數ヲ以テ原案ガ可決サレタノデアリマス、尙ホ民政黨諸君ノ希望モアリマシテ、念ノ爲メ反対ノ採決モシマシタガ、鈴木君ノ反対意見ニ對シテハ、民政黨ノ諸君ガ贊成シタノミデ、是亦少數デ成立チマセヌデシタ、故ニ本案ハ多數ヲ以テ可決サレタ次第デアリマス、此段御報告致シマス
○議長(川原茂輔君) 質疑ノ通告ガアリマス又カラ直ニ討論ニ入りマス、紫安新九郎

命保険積立金ニ依ル所ノ自作農創設ニ著手シテ今日ニ至レルコトハ、諸君ノ普ク知ラレル所アリマス、吾々ガ本案ヲ審議スルニ當ッテ、第一ニ遺憾トスル點ハ、政府方ガ當日此法案ヲ提出スルナラバ、少ナクトモ小作法ヲ同時ニ提出シナケレバナラナイト但フノデアリマス、何トナレバ、今日ハ地主ト小作トノ關係ガ紛争ノ真最中デアルト謂ハナケレバナラナイノデアリマス、隨テ小作權ナルモノガ確立セラレテ居ナイノデアル、地主ト小作トノ權利義務ノ基準ト云フモノガ立ッテ居ナイノデアル、隨テ地主ト小作人トノ關係ガ公平ニ裁斷セラレテ居ナイマス、此時ニ當ッテ小作法ノ制定ナクシテ、本案ノミ施行セラル、ト云フコトハ、其結果ニ於テ地主ト小作人トノ關係ガノデアリマス、此時ニ當ッテ小作法ノ制定ナ

命保険積立金ニ依ル所ノ自作農創設ニ著手シテ今日ニ至レルコトハ、諸君ノ普ク知ラレル所デアリマス、吾々ガ本案ヲ審議スルト小作トノ關係ガ紛争ノ真最中デアルト謂ハナケレバナラナイノデアリマス、隨テ小作權ナルモノガ確立セラレテ居ナイノデアル、地主ト小作トノ権利義務ノ基準ト云フコトモノガ立ツテ居ナイノデアル、隨テ地主ト小作人トノ關係カ公平ニ裁斷セラレテ居ナイノデアルマス、此時ニ當ツテ小作法ノ制定ナクシテ、本案ノミ施行セラル、ト云フコトハ、其結果ニ於テ地主ト小作人トノ關係ナ圓滿ニ公平ニ到達スルモノデアルヤ否ヤトモ云フコトヲ虞ル者デアリマス、本員等ガ本案ニ對シテ反対スル第一ノ理由ハ、本案ニ依リテ自作農ニ貸付ケ……（簡単ト呼ぶ）
フ者アリ簡單トハ何ダ、此重大法案ニ對シテ……（生意氣ナコトヲ言フナ、謹聽）
聽「分ラヌ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ（謹聽セ謹聽セ、御前等ノ耳ニハ分ラヌノダ、鋪理ナル點デアル、現行法ニ依ルナラバ、鋪易生命積立金ヨリ、毎年二千万圓ヲ限度トシ、四分八厘ノ利子デ借受ケ、之ニ對シテ國庫ガ一分三厘ヲ補給シ、三分五厘デ自作農ニ貸付ケチ居ルノデアルガ、此法案ニ依ルト、預金部カラ四分八厘ノ利子デ、三千万圓ヲ限度トシテ借入レ、若シ三千万圓ヲ借入レラレザル場合ニハ、其不足額ダト謂農地債券ヲ發行シテ自作農ニ貸付ケ、其利子ハ五分トスル、其差額ニ二厘ハ國庫ガ負担ケル、其結果浮ビ上ル所ノ五千五百万圓ヲ急以テ、自作農ガ年賦償還ヲ怠リ、又ハ不可

抗力三依テ、自作農地カ荒廢ニ歸シタル場合ノ國家ノ損害ヲ補填スル立前トナツテ居ルノデアリマス、是ガ爲ニ自作農ガ負擔スル利子カ、現行ノ三分五厘トノ間ニ、一分五厘ノ開キガアルノデアル、本案ニ依ル自作農ハ現行法ニ依ル所ノ自作農ヨリモ、ソレダケ高利ノ資金ヲ借受ケルト云フコトニナルノデアル、又償還年限ハ現行法デハ二十五年デアルガ、本案デハ三十五年デアル、政府當局ノ言フ所デハ、本案ハ現在ノ小作料ヨリモ高クナイ程度デ計畫シタト申スノデアリマスルカラシテ、結局本案ニ依ル自作農ハ、現行法ニ依ル自作農ヨリモ十箇年長ク掛ケテ償還スルノデアリマス、換言スレバ、現行法ニ依ル自作農ヨリモ、本案ニ依ル所ノ自作農ハ十年間長ク國家ノ小作人ニナルト云フコトニナルノデアル、ソコデ若シ本案ニシテ實行セラル、ノ暁、今後ニ依ル者ヨリモ、信用ノ薄弱ナル者ガ本案ニ依ル所ノ資金ヲ借受ケルコトニナルノデアル、其結果ハ勢ヒ年賦償還ヲ怠ル者ガ續出シテ、政府ガ利潤二厘カラ儲ケタ五千万百万圓ト云フモノハ、到底國家ノ損失ヲ補填スルコトガ出來ナイ破目ニ陥ルデアラウト思フノデアリマス(拍手)斯ク申シマスレバ、本案ヲ支持スル人達ハ言フデアリマセウ、現行法ハ保險加入者ニ限ラレテ居ルノデアル、又是ハ還元主義デアルト申ヌデアリマセウ、併ナガラ、人情ノ自然トシテ、本員ガ今言フカ如キ結果ヲ招來スルト云アコトハ、恐クハ間違ナシト云フコトヲ斷言シテ憚ラザル者デアリマス、元來國家ガ、其國策トシテ自作農ヲ創設セントスルニ當ラテ其法ヲ一二ニシ、國家ノ恩惠ヲ受クル

者ヲシテ厚薄アラシメルト云フコトハ、立憲國トシテ體ヲ成サミルモノデアルト謂ハザルヲ得ナイノデアリマス（拍手）次ニ本案ニ反對スル理由ハ、農地債券ヲ發行スルコトデアリマス、所ガ此農地債券ヲ果シテ發行スル理由ガアルノデアルカ、此點ニ於テハ農林當局ノ言ウ所ト、大藏當局ノ言フ所トハ大分違テ居ルノデアリマス（定數ヲ缺イデ居ル）「勘定ヲ願ヒマス」「缺イテ居ラヌ」「ト呼フ者アリ）三土大藏大臣ハ委員會ニ於テ斯様ナ説明ヲシタノデアリマス、毎年三千萬圓ノ資金ハ預金部ヨリ十分ニ現金貸付ガ出來ルノデアル、又預金部ヨリ貸付ケテ居ル米作者應急資金、養蠶救濟資金等ハ順次償還シ來ルノデアル、預金部手持公債ヲ鐵道等ノ運用會計ニ賣ルコトモ出來ル、又自作農創設ニ貸付ケタル資金モ順次償還セラル、カラ、隨テ農地債券ヲ發行スル必要ガナイト明言シタノデアリマス、更ニソレニ對シテ委員ノ質問ニ對シテ、預金部ニ於テ確實ニ本案ニ言ウ所ノ三千萬圓ヲ貸出スコトヲ證明スル爲ニ、第一年カラ第三十五年ニ亘リマシテ、預金部負擔年額三千万圓ノ債券調ト云フモノヲ提供シタノデアリマス、而シテソレナラバ何ノ必要ガアッテ、農地債券發行ヲ現定シタノデアルカト云フコトニナルノデアリマスルガ、ソレニ對シテ政府ハ、農地債券發行ノ規定ハ本案ニ確實性ヲ帶バシムル爲デアル、斯ウ云フノデアリマス、併ナガラ今本員ガ言ウ如ク、サウスルト云フト、此農地債券發行ト云フ實ニ引受ケル其債券ハ斯様デアルト言ハテ、債券ノ見積表ヲ出シテ來タノデアリマス、コトハ殆ド是ハ無用ノ長物ト謂ハザルヲ得ヌノデアリマス、又却テ此規定ノ存スルト云フコトハ、本案ノ恒久性ヲ疑ハシムル一

因ヲ爲スモノデアルト云フモ決シテ過當ニアラズト私ハ信ズルモノデアリマス（拍手）唯此點ニ付テ私共ガ此農地法案ニ對シテ政府ノ中ニ二ツノ潮流ガアッタト云フコトヲ明ニ認メルノデアリマス、農林省ハ最初ヨリ此農地債券ノ發行ヲ切ニ希望シテ居タ云フコトハ、當時新聞ニ傳ヘラレタル所ニ依テモ明白デアリマス、又大藏省ハ之ヲ好マナカタト云フコトモ新聞ノ傳フル所デアリマス、此二ツノ潮流ガ現政府ノ中ニ隨分盛ナ争ヒト致シテ居タノデアリマス、此二ツノ潮流ガ盛ナ争フシテ居ル事柄ハ、委員會ニ於テ最モ明白ニ暴露スルニ至タノデアリマス、是ハ私ハ此點ニ對シテハ、山本アリガ、併ナガラ大藏省ガ預金部ニ於テ、確實ニ第一年ヨリ第三十五年ニ至ル間ニ於テ、間違ナク引受ケルト云フノデアルカラシテ、是ハ大藏省ノ言フ所ノ信用スルノガ當然デアラウト私ハ思フノデアリマス、又國策トシテ自作農ヲ創設セントスルニ當リマシテハ、何レノ内閣タルヲ問ハズ、一般會計ヨリモ多クノ金額ヲ擁シテ居ル所ノ預金部ヨリ、三千万圓位ノ貸付ヲ爲シ得ナイト云フナラバ、其内閣ノ財政當局者ハ、其地位ヲ恥カシメルモノデアルト言ハナケレバナラナイノデアリマス、第三ニ本員等ノ反對スル理由ハ、此法案ノ施設ニ付テ、其歲入歳出ヲ一般ノ會計ト區別シ、特別會計ヲ置カントスルコトデアリマス、申ス迄モナク特別會計ハ單一豫算主義ニ對スル例外的經理方法デアリマス、特殊ノ事情已ムヲ得ザル場合ニ、初メテ設置セラルベキモノデアリマス、本案ニ於テ特別會計ヲ何ノ理由ヲ以テ置クノデアルカト云フコトヲ、委員會ニ於テ農林大臣ニ質問スルニ當リマシテ、農林大臣ハ斯様ナ答辯ヲシテ居ルノデアリマス、

ス「其預金部ノ金ノ廻リガ不足スルト云フヤウナ場合ガ生ジタ時、其時ニ三千万圓ト云フ基礎ヲ動カサナイ爲ニ債券ヲ發行スルト云フコト、三千万圓ヲ必ズ出スト云フコトアリマス、所デ其實際ハドウナルカト申シマスト云フト、此資金ハ大藏省預金部ヨリ借入レテ、又預金部ニ返スノデアッテ、此預金部ト本案ニ謂フ所ノ特別會計ノ間ニ、唯貸借關係ヲ持ヘテ、帳簿ヲ複雜ニスルニ過ギナイノデアリマス、唯帳簿上ノ特別會計ニ過ギナイトアリマス、現ニ簡易保険ニ依ル所ノ自作農創設ノ爲ニ運用シテ居ル所ノ資金ニ對シテハ、別ニ特別會計ヲ設ケテ居ナインデアリマス、此無用ノ長物デアル特別會計ヲ設置スルガ爲ニ、經常費トシテ官吏ノ俸給、事務費、是等ヲ併セテ、初年度ニ於テモ五十一万圓ヲ要スルコトニナッテ居ルノデアリマス、我ガ濱口氏ガ大藏大臣タリシ當時ニ於テハ、特別會計ノ多ク存在スルコトヲ以テ、財政ノ整理上宜シクナイト致シマシテ、出來ルダケ之ヲ整理シタノデアリマスルガ、現内閣ハ此特別會計ヲ何程デモ設置スルコトヲ希望セラレテ居ルヤウデアリマス、現ニ今回ノ議會ニ於キマシテモ、朝鮮簡易生命保険特別會計法、家畜再保險特別會計法、又肥料管理特別會計法、

ハ、何等ノ計畫スル所ガナインデアリマス、此事ニ付テ委員會ニ於テ質問ノ起リマシタ時、山本農相ハ之ニ對シテ斯様ナ答辯ヲシテノコトハ困難デアル、ソレハ別ニ考慮シテル所ノ中農以下ノ自作農ト認ムル者ガ、一村ノ狀況ヲ見マスルト云フト、土地ノ兼併ガ行ハル、ト共ニ、農村ノ中堅ヲナシテ居ル所ノ中農以下ノ自作農ト認ムル者ガ、一經濟上ノ關係ヨリ、一ハ都會ニ出ルコトヲ好ムノ風潮ヨリ致シマシテ、其農作地ヲ維持スルコトノ困難ナル事情ガ、漸次多カラントシテ居ルノデアリマス、然ルニ現内閣ガ國策トシテ施行セントスル所ノ自作農ノ創設ニ當リマシテ、其法案ノ題目ニ、維持ト云フコトヲ掲ゲナガラ、之ニ對シテ何等維持ニ付テ計畫スル所ナイト云フコトハ、其題目ト内容ヲ異ニスルモノデアッテ、是ハ本員等ノ最モ遺憾トスル所デアリマス、私等が本案ニ對スル意見ヲ茲ニ要約ラシテ、其條項ヲ舉グマス、一、本員等ハ自作農ノ益、多ク創設セラレシコトヲ希望スル者デアリマス、二、其資金ハ全部預金部ヨリ貸出スルコトデアリマス、三、其利子ハ現行法ノ如ク三分三厘ニスルコトデアリマス四、貸付コトデアリマス、合計一億六千三百萬圓デアリマス、平均一年三百三十三萬圓ニ過ギナインデアリマス、現政府ハ國際汽船會社ヲ救濟スルガ爲ニデサヘモ、三千万圓ヲ投ズルヤウ大膽ナルコトヲスルノデアリマス、此

政府ニシテ人口ノ六割ヲ占メテ居ル所ノ農
村振興ノ爲ニ、一箇年三百三十五万圓位ヲ
投ズルコトニ吝ナルト云フコトデハ、眞ニ
農村振興ノ誠意アリヤ否ヤト云フコトヲ、
吾々ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、以
上述べタル所ヲ以テ、本員等ハ本案ヲ政府
ニ還付シ、政府ハ更ニ編成ヲ改メテ提出セ
ンコトヲ、要望スルモノデアリマス(拍手)

ニ致シタコトハ宜シクナイ、斯様ニ申サレル、唯帳簿上ノ手續ヲ煩瑣ニスルダケデ、何モ必要ハナイト、斯ウ云フ御議論デアリマス、又特別會計ハ特別ノ事情ノ存スル場合ニ已ムヲ得ズヤルナド、申サレタノハ、少シ穩デナイ御議論ト拜聴スルノデアリマスガ、ソレハ兎モ角トシテ、是ハ國策ノ重要ナル事項ヲ取扱フノデアリマスカラ、之ヲ特別會計ト致シ、殊ニ計畫ガ長年月三瓦

二十五年ト三十五年ト比較ヲセズシテ、之ヲ一緒ニシテ色トナ數字ナドヲ御舉ゲニリマシテ、一億六千万圓足ラズノ計畫ナドト言ヒマスケレドモ、其三十五年ト云フ十年ダケ多ク金ヲ貸ス所ノ計畫デアルト云フ事ニ付テ、十分考ヘナケレバナラヌ、此ノ點ハ誤解ノナイヤウニ、私ハ一言申シテ置キマス、ソレカラ自作農維持創設ト云フ創定ハ此案デ取扱フガ、維持ニ付テハ一向考ヘナイ、農家ノ現狀ニ照シ、農村ヲ振興セシムベカラズ、改舊ニシテノミカラグノト

ニ、此三十五箇年間、單ナル償還期間ヲ合セテ七十箇年ト云フ長キニ夏ンテ此運用ラスル計畫デアルノデアリマスカラ、ソレデ大事ヲ取ッテ石橋ヲ金鎌デ敲イテ渡ルヤウナ健實ナル政友會ノ傳統的政見ニ基イテ斯ウ云フモノニシタノデアル(拍手)ピン~シタ紫安君ノヤウナ立派ナ御體デモ、生ルヤウナモノトスウ思召下スシタナラバ、大ト」ノ大廈高樓デアッテモ、火災保險ヲ付ケテ置クトカ、鐵筋「コンクリー

陳述スル者ニアリマス、反對黨ノ紫安君ハ
簡単ニ御切上ニナツカラシテ、私ハ同氏
ヒマス、暫時御辛弊ヲ煩ハシタイト思ヒマ
ス、自作農創定ノ必要デアルコトハ、今更
申上グル必要モナイノデアリマス、一部ノ
人ニヲ除イテハ、天下悉ク之ヲ要望シテ居
ルノデアリマスカラ、私が管ニシク申上グ
ル必要モナイノデアリマス、殊ニ反対黨ノ
方ニモ、是ニハ異存ハナイ、唯、只今問題ニ
ナツテ居ル法案ノ主旨ニハ頗ル賛成ヲシ、其
努力ニハ敬意ヲ表スルケレドモ、其組立ニ
聊カ物足ラヌト致シテ、反對ヲセラレルノ
デアル、更ニ積極的ニ之ヲ組立ッテ來イナド
ト云フ面倒ノ注文モ致サレルノデアリマ
ス、ソレデアリマスカラ吾々ハ此問題ニ付
テハ、モ少シ丁寧ニ片付ケタイノデアリマ
スケレドモ、既ニ會期モ切迫致シテ居リ、
今日ハ又時間モ移ッテ居リマスカラ、同氏ニ
敬意ヲ表スル意味ニ於テ、又之ヲ簡単ニ片
付ケルノデアリマスカラ、其點モドウゾ御
了知ヲ願、テ置キタイト思フノデアリマス、
ソレデ色ニノ點ヲ擧グラレテ撤回ヲ要求ス

ルモノニアリ、又農家が能ク之ヲ負擔シ得
ルヤ否ヤト云フコトサヘ疑問ガアルノニアリ
マスカラ、親切懇切ニ之ヲ取扱フ必要ガ
アルノデアルカラ、之ヲ特別會計ト致シテ、
サウシテ殊ニ此案ニハ二分ノ利鞘ト云フモ
ノガアッテ、色ニ此會計ヲ調節スル有用ナ勧
ヲ致スノデアリマス、此二分ノ利鞘ヲ積立
ラ、一般會計ト之ヲ引離シテ特別會計ニ致
ス、之ヲ運用スルト云フコトハ、是ハ中ニ
複雜シタル相當ニ大キナ問題、テアリマスカ
ラ、ソレ云フコトハ、何等不都合ガナイノミナ
ラズ、大ニ吾々ハ歡迎シナケレバナラヌ會
計ノ組立法ナリト考ヘルノデアリマス（拍
手）ソレカラ三分五厘ノ利率ト云フノハ、
現今施行サル、簡易保険ノ積立會ノ運用ニ
依ル自作農創定維持ノ仕方デアル、然ルニ
今度ハ五分ノ利率デアルカラ一分五厘ノ高
イ負擔ヲ農家ニ負ハセルモノデアル、是ハ
宜シクナイト云フノデアリマスルケレド
モ、勿論安クスルノハ結構デアリマスケレ
ドモ、今マデノ計畫ハ二十五年間ト云フモ
ノヲ三十五年ト云フ、十年モ餘計ニ金ヲ貸
レデアルカラ農家ハ餘程我慢ヲシテ宜カラ
シテ自作農耕地ヲ殖サウト云フノデアリマ
シテ、斯ウニ云フ膽玉ノ太イ提案デアル、ソ
ノヲ三十五年ト云フ、十年モ餘計ニ金ヲ貸
レデアルカラ農家ハ餘程我慢ヲシテ宜カラ
ウトスウ考ヘルノデアリマス（拍手）ソレヲ

ニ於キマシテ、寧ロ現今ノ自作農ヲ維持スル爲ニ力ヲ致サナケレバナラヌヤナインカ、然ルニ之ヲ顧ザルハ何事デアルカト云フ御議論デアル、併シ農林大臣モ言ハレタ、其ノ事ハ農村金融ト云フモノヲ改善ヲ致シ、何等カノ方法ヲ之ニ講ジテ、其方面デイカラ、サウ云フ大キナ問題ハ即チ數十億之ヲ匡救スルヨリ外ニ道ハナイ、今ハ財政計畫——僅カ三千万圓ト云フ簡保ノ運用資金デヤルト云フ自作農計畫デハ手ガ及バナニカラスル、農家ノ負債ノ整理ハ別ノ金融ノ機關ニ依ラナケレバナラヌト云フコトデ、之ヲ別個ノ機關施設ニ於テヤルト云フノデアルカラ、何モ彼モ此ノ施設デヤッテシマハナケレバナラヌト云フ必要ハナカラウト考ヘルノデアル（拍手）ソレカラ農地債券ト云フモノハ大藏大臣ノ説明ニ依ルト云フト、發行ノ必要ガ起ルマイト云フヤウナ御説明モアツタ、併ナカラ是ハ預全部ノ資金ノ運用ト云フモノハ年々方針ガ變ル、有利確實ト云フコトナラバ如何ナルモノニモ放棄ヲスルノデアル、サウ云フ萬一ノ場合ノ用意ノ爲モノニ財源ヲ求メルノデアルカラシテ、國策ノ遂行ノ上ニ如何ナル支障ガ生ズルカラシテ、

體分ルデアラウト思フノテアリマス(拍手)レナド、云フノデアリマスケレドモ、耕作権ノ確立ナド、云フモノハ中々面倒ダ、一部ノ人ガ仰シヤル如ク所有權ニ近イ耕作権ノ確立ナドハ、所有權否認ト云フヤウナヤカマシイ問題ニナル、無償或ハ無償ニ近ク、此所有權ニ近イモノヲ得ヤウナド、云フコトハ、社會正義ノ觀念ノ上ニ於テ如何カト吾々ハ考ヘル、斯ウ云フ方面カラサウ云フコトハ少シ後廻シニシテ、深切ニ取扱タ方ガ宜カラウ、先ツ何ヨリモ善ハ急グト云フノデ此案ヲ拵ヘタト云フコトニ御理解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス(拍手)此意味ニ於キマシテ、吾々ハ希望條件モ附ケマシテ、政府ノ意嚮モ内々伺ツテ見マスト、ソレニハ考慮ヲ拂ハウト云フ御意思ニ承知ヲ致シテ居リマシタノデアリマスカラ、本案ニハ満場一致ヲ以テ、野暮ナコトヲ言ハズシテ、農村振興ノ爲ニ此案ニ贊成セラレンコトヲ偏ニ望ンデ降壇ヲ致シマス(拍手)○原惣兵衛君 本案ニ對スル討論ハ之ヲ以テ終局セラレンコトヲ望ミマス

卷之三

昭和四年三月十九日

衆議院議事速記錄第三十五號

自作農創設獎持助成資金特別會計法案 第一

第一讀會ノ續

○原總兵衛君 本日ハ此程度ヲ以テ散會セラレントラミマス

○議長(川原茂輔君) 御異議アリマセヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長(川原茂輔君) 御異議ナシト認メマス、次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後八時二十五分散會